



**用 Lenovo Configuration Pack
Microsoft System Center Configuration Manager
ユーザーズ・ガイド**

バージョン 6.0



**用 Lenovo Configuration Pack
Microsoft System Center Configuration Manager
ユーザーズ・ガイド**

バージョン 6.0

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、119 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

版についての注意事項

本版は、Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager バージョン 6.0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright Lenovo 2014, 2015.

Portions © Copyright IBM Corporation 2014.

目次

図	v
表	vii
本書について	ix
規則および用語	ix
情報リソース	xi
PDF ファイル	xi
World Wide Web リソース	xi
第 1 章 Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager の概要	1
概要	1
Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager による Lenovo システムのサポート方法	2
Advanced Settings Utility (ASU)	2
第 2 章 Lenovo Configuration Pack <!--v6.0-->の取り付け	5
Lenovo Configuration Pack のアンインストール	11
第 3 章 Lenovo Configuration Pack および Microsoft System Center Configuration Manager の操作	13
構成データを伴う Lenovo Configuration Pack の使用	13
Lenovo Configuration Pack エディター の起動	14
設定コレクション	16
の作成設定コレクション	16
の表示設定コレクション	24
構成項目	29
構成項目の作成	30
構成項目の表示	35
構成項目の変更	37
構成項目の複製	41

構成項目の削除	42
構成記述ファイルに構成データをエクスポート	43
構成記述 XML ファイルのインポート	46
ライセンス検証状況の検査	48
Lenovo Configuration Pack CAB ファイル	50
Lenovo Configuration Pack CAB ファイルへの構成項目のエクスポート	50
SCCM への構成項目のエクスポート	53
Microsoft System Center Configuration Manager 2007 コンソールを使用した Lenovo Configuration Pack の適用	57
構成データの DCM へのインポート	57
構成項目プロパティの表示	64
基準の作成	66
コレクションへの基準の割り当て	70
エンドポイントの基準の評価	72
ホーム・ページの概要作成の実行	78
Microsoft System Center Configuration Manager 2012 コンソールを使用した Lenovo Configuration Pack の適用	80
構成データの DCM へのインポート	80
構成項目プロパティの表示	87
基準の作成	89
コレクションへの基準の割り当て	92
エンドポイントの基準の評価	95
Lenovo Configuration Capture の実行	100
第 4 章 ハードウェアおよびソフトウェアのサポート	111
第 5 章 トラブルシューティング	115
特記事項	119
商標	120
重要事項	120
索引	121



1. InstallShield ウィザード・ウェルカム・ページ	5
2. ソフトウェアの使用許諾契約書	6
3. 「試用バージョン」ページ	7
4. 「Destination Folder」ページ	8
5. 「Ready to Install the Program (プログラムをインストールする準備完了)」ページ	9
6. インストール状況ページ	10
7. 「InstallShield Wizard Completed」ページ	11
8. ライセンスが見つかりません	14
9. Lenovo Configuration Pack エディターホーム・ページ	15
10. 「一般情報」ページ	16
11. 「Setting Collection Information (設定コレクション情報)」ページ	17
12. 「Property Thresholds」ページ	18
13. 「Setting Editor (設定エディター)」ページ	19
14. 「Property Thresholds」ページ	24
15. 設定コレクションのリスト	25
16. 設定コレクションのプロパティ	26
17. 「一般情報」ページ	27
18. 「Property Thresholds」タブ	28
19. 設定コレクション複製機能	29
20. 「複製」ダイアログ・ウィンドウ	29
21. 「一般情報」ページ	30
22. IMM Information (IMM の情報) ページ	31
23. Asu.exe 検出通知ウィンドウ	32
24. 構成項目ページ	33
25. 「Add Setting Collections (設定コレクションの追加)」ページ	34
26. 設定コレクションリストの追加	35
27. 構成項目リスト	36
28. 構成項目のプロパティ	36
29. Configuration Pack Editor - 「General Information (一般情報)」ページ	37
30. 「IMM Account (IMM アカウント)」タブ	38
31. Asu.exe 検出通知ウィンドウ	39
32. 「設定コレクション」タブ	40
33. 「Add Setting Collections (設定コレクションの追加)」選択ページ	41
34. 構成項目複製機能	42
35. 「複製」ダイアログ・ウィンドウ	42
36. 構成ファイルへの構成データのエクスポート	43
37. Export to Configuration Description (.xml) (構成記述 (.xml) にエクスポート) ページ	44
38. 「Export configuration description file (構成記述ファイルのエクスポート)」の「Save as (名前を付けて保存)」ウィンドウ	45
39. 「Export Succeeded (エクスポートが正常に完了しました)」メッセージ	46
40. 「Import Configuration File (構成ファイルのインポート)」メニュー	47
41. 「構成 XML ファイルのインポート」ウィンドウ	47
42. 設定コレクションの「Confirm Replace」ウィンドウ	48
43. 「License (ライセンス)」メニュー・オプション	49
44. 「License Entitlement」ウィンドウ	49
45. 「Export to Lenovo Configuration Pack for SCCM 2007 (SCCM 2007 用 Lenovo Configuration Pack にエクスポート)」ページ	51
46. 「Export to Lenovo Configuration Pack for SCCM 2012 (SCCM 2012 用 Lenovo Configuration Pack にエクスポート)」ウィンドウ	52
47. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ	53
48. 「Select the Configuration Item (構成項目の選択)」ページ	54
49. 「SCCM Console position information (SCCM コンソール位置情報)」ページ	55
50. 「Configuration Items Information (構成項目情報)」ページ	56
51. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ	57
52. 「Import Configuration Data (構成データのインポート)」の選択	58
53. 構成データのインポート・ウィザード	59
54. .cab ファイルの選択	60
55. 「Skip Authenticode Signature Check? (Authenticode 署名の確認をスキップしますか?)」ウィンドウ	61
56. 選択した .cab ファイルのインポート	62
57. インポートされた構成項目	63
58. 正常終了ページ	63
59. Configuration Manager Console でのインポートされた構成項目	64
60. 「設定」タブ	65
61. 「検出方法」タブ	66
62. 新しい構成基準機能	67
63. 「構成基準の作成」ウィザード	67
64. 「アプリケーションと一般」リンク	68
65. 「Choose configuration items (構成項目の選択)」ページ	69
66. 「Applications and general (アプリケーションと一般)」リンクの構成項目	70
67. 「コレクションに割り当てる」機能	71
68. 「Choose Collection (コレクションの選択)」ページ	71
69. 「Set Schedule (スケジュールの設定)」ページ	72
70. 「コントロール パネル」フォルダー内の Configuration Manager	73
71. アクションが開始されたことを示すウィンドウ	74

72. 「構成」タブ	75	93. 「構成ベースラインの割り当て (Assign Configuration Baseline)」機能	94
73. SCCM クライアント・エージェントの状況	76	94. 「コントロール パネル」フォルダー内の Configuration Manager	95
74. 「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使用可能になっている「構成」タブ	77	95. アクションが開始されたことを示すウィンドウ	96
75. 値を返さない評価対象の設定値	78	96. 「構成」タブ	97
76. Windows イベント ビューアーのログ	78	97. 「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使用可能になっている「構成」タブ	98
77. 「ホーム ページの概要作成の実行」機能	79	98. 評価された結果の要約	99
78. 基準レポート	80	99. Windows イベント ビューアーのログ	99
79. 「構成データのインポート」機能	81	100. 修復された規則	100
80. ファイルの選択機能	81	101. ウェルカム・ページ	101
81. エクスポートされた .cab ファイルの選択	82	102. ASU ファイルの選択	102
82. 「Publisher Check (パブリッシャー検査)」ウィンドウ	83	103. 「一般情報」ページ	103
83. 選択した .cab ファイルのインポート	84	104. 情報の収集	104
84. 構成データの確認	85	105. IMM 設定	105
85. 正常終了	86	106. uEFI 設定	105
86. インポートされた構成項目	87	107. UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値	106
87. 「設定」タブ	88	108. 「IMM Account」が正しくない	107
88. 「検出方法」タブ	89	109. 「Export」ページ	108
89. 「Create 構成基準 (構成基準の作成)」機能	90	110. エクスポートが正常に完了しました	108
90. 構成項目の追加	91	111. Lenovo Configuration Pack エディター - 「Setting Editor (設定エディター)」ページ	117
91. 構成項目リスト	92		
92. 「コレクションにデプロイ (Deploy to a Collection)」機能	93		

表

- | | | | |
|---------------------------------|-----|----------------------------------|-----|
| 1. 戻りの型別の比較演算子 | 20 | 3. サポートされる Lenovo システム | 112 |
| 2. サポートされている IBM システム | 111 | | |

本書について

本書では、Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager をインストールし、これを使用してお客様の環境で Lenovo 構成データを作成および管理する手順について説明します。

規則および用語

本書で使用されている注意書き

以下の注意書きは、重要な情報を強調するために使用されています。

注: この注記は、重要なヒント、ガイド、またはアドバイスを提供します。

重要: これらの 特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。

注意: また、これらの特記事項は、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる 損傷を示します。損傷が起りうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

本書で使用されている用語

次のリストは、本書で使用されているいくつかの用語、頭字語、および省略語を説明したものです。

ASU Lenovo Advanced Settings Utility

構成項目

設定コレクションのグループ化は、Lenovo Configuration Pack によって定義および管理されます。

DCM 必要な構成管理

DCM 構成基準

他の構成項目から構成されている 1 つの構成基準。基準は、SCCM クライアント・コレクションに割り当てることができます。それらの基準をエンドポイントで評価できます。

DCM 構成項目

必要な構成管理 システムの基本的な構造単位を指します。

DCM 構成設定

他の 構成設定から構成されている 1 つの構成設定。それぞれの構成設定で評価条件と重大度を定義できます。

ダイジェスト・スキーマ

必要な構成管理 (DCM) で、ダイジェスト定義 XML スキーマ定義 (XSD) は DCM ドキュメント (構成項目) を定義します。これには、要素に課されている制約、表示できる属性、それら属性の相互の関係、および属性に含め

ることができるデータ型が含まれます。Lenovo Configuration Pack XML ファイルは、DCM サーバーにインポートできるダイジェスト・スキーマの標準に沿っている必要があります。

Lenovo Configuration Capture

このツールは Lenovo サーバーから IMM/uEFI/uEFI (Romley プラットフォーム) 設定値をキャプチャーし、キャプチャーした設定値を Lenovo システム構成記述にエクスポートできます。

Lenovo 構成データ

Lenovo システム構成項目構成項目、Lenovo システム設定コレクション、および Lenovo システム設定はまとめて Lenovo 構成データと呼ばれます。

Lenovo Configuration Pack

Lenovo Configuration Pack は 1 つの .cab ファイルであり、構成項目と基準を含んでいます。Lenovo Configuration Pack を DCM サーバーにインポートすることにより、構成項目とベースラインをインポートすることができます。

Lenovo Configuration Pack エディター

Lenovo 構成項目および設定コレクションを作成、編集し、Lenovo 構成データを Lenovo 構成記述にエクスポートできるエディター。

Lenovo システム構成記述

Lenovo 構成項目 および設定コレクションを含む XML ファイルです。

Lenovo システム構成項目

他の Lenovo 設定コレクションから構成されている 1 つの構成項目。

Lenovo システム構成設定

1 つの Lenovo 構成設定は IMM/uEFI の 1 つのプロパティとその予期値を定義しており、そのプロパティが予期値に準拠していない場合はエラーを返します。

Lenovo システム構成設定コレクション

1 つ以上の Lenovo システム構成設定を含む設定コレクションです。このリリースでは、1 つのコレクションは IMM または uEFI のファームウェア・タイプを備えています。

SCCM Microsoft System Center Configuration Manager

情報リソース

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager の追加情報は、WWW 上で入手することができます。

PDF ファイル

PDF 形式で提供されている資料を表示および印刷できます。

Adobe Acrobat Reader のダウンロード

PDF ファイルを表示または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。コピーを Adobe Reader Web サイトからダウンロードできます。

PDF ファイルの表示と印刷

Lenovo System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions ポータル Web サイトにある PDF ファイルは、すべて個別に表示または印刷が可能です。資料ごとの製品ページを見つけるには、用意されているリンクをクリックしてください。

PDF ファイルの保存

PDF ファイルを保存するには、以下の手順を実行します。

1. ブラウザーで PDF へのリンクを右クリックします。
2. 次のどちらかのタスクを実行します。

Web ブラウザー	Command (コマンド)
Internet Explorer の場合	「対象をファイルに保存」をクリックします。
Netscape Navigator または Mozilla の場合	「名前を付けてリンク先を保存」をクリックします。

3. PDF ファイルを保存するディレクトリーにナビゲートします。
4. 「Save (保存)」をクリックします。

World Wide Web リソース

以下の Web ページには、IBM® System x、Lenovo BladeCenter® ブレード・サーバー、およびシステム管理ツールの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが用意されています。

Lenovo XClarity ソリューションでのシステム管理

この Web サイトは、システム管理機能を提供するために System x M5 および M6、および Flex System に統合された Lenovo XClarity ソリューションの概要を示します。

Lenovo XClarity Integrator for Microsoft System Center

ここでは、Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager の最新のダウンロードを見つけることができます。

IBM サポート・ポータル

Lenovo ハードウェアおよびシステム管理ソフトウェアのサポートを見つけます。

IBM ServerProven® ページ

IBM ServerProven: System x ハードウェア、アプリケーション、およびミドルウェアの互換性 ページ

Lenovo ServerProven: BladeCenter 製品の互換性 ページ

IBM System x、Lenovo BladeCenter、および IBM IntelliStation® ハードウェアとのハードウェア互換性に関する情報を入手します。

TechNet ライブラリー: Configuration Manager 2007 ページ

System Center Configuration Manager のサポートを見つけます。

第 1 章 Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager の概要

このセクションのトピックでは、Lenovo Configuration Pack v6.0 の概要について説明します。

概要

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager は、以下のサポートを提供します。

試用ライセンス・サポート

この製品のインストール時に製品ライセンスがアクティブ化されていない場合は、試用ライセンス・サポートが自動的にアクティブ化されます。完全な試用ライセンス・サポートを確実に受けるには、システム時刻を正確に設定します。試用ライセンスの有効期限が切れた後は、製品ライセンスまたは無効になっているプレミアム・フィーチャーをアクティブ化する必要があります。製品ライセンスの入手については、お住いの地域の Lenovo 営業担当員またはビジネス・パートナーにお問い合わせください。

フリー (無料) フィーチャー

このリリースには、以下の機能が含まれています。

IMM/uEFI/uEFI (Romley プラットフォーム) 設定のキャプチャー

Lenovo Configuration Capture は Lenovo サーバーから IMM/uEFI/uEFI (Romley プラットフォーム) 設定をキャプチャーし、キャプチャーした設定を Lenovo システム構成記述ファイルにエクスポートできます。エクスポートした構成記述ファイルは、Lenovo Configuration Pack エディター にインポートできます。

プレミアム・フィーチャー

以下のフィーチャーは有料の機能であり、v4.0 以降の有効な製品ライセンスによって使用可能になります。

SCCM コンソールへの Lenovo システム構成項目のエクスポート:

構成項目を SCCM コンソールにインポートし、それらを SCCM クライアント・コレクションに割り当てる機能です。

以下のフィーチャーは有料の機能であり、v3.0 以降の有効な製品ライセンスで使用可能になります。

Lenovo システム構成データの作成:

Lenovo システム構成データは、Lenovo 構成項目、Lenovo 構成 設定コレクション、および Lenovo 構成設定から構成されています。このリリースでは、Lenovo システム構成データの範囲は IMM/uEFI 設定です。

IMM/uEFI 共通設定のサポート:

Lenovo Configuration Pack エディター は、Lenovo システム構成設定の作成に役立つ IMM/uEFI のいくつかの共通設定をサポートしています。

Lenovo システム構成データの Lenovo Configuration Pack へのエクスポート:

Lenovo Configuration Pack は、DCM 規格で確認された .cab ファイルに構成項目および設定コレクションを含んでいます。Lenovo Configuration Pack は DCM サーバーにインポートできます。

Lenovo システム構成データの構成記述へのエクスポート:

構成記述 XML ファイルにエクスポートされた構成データを共有および編集できる機能です。構成記述ファイルには、1 つ以上の Lenovo 構成項目および設定コレクションを保存できます。

Lenovo システム構成記述のインポート:

構成記述 XML ファイルを Lenovo Configuration Pack エディターにインポートできます。

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager による Lenovo システムのサポート方法

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager には、Lenovo システムにおいて IMM/uEFI 設定を検査する機能が用意されています。エンドポイントで検証用の設定を作成するには、Lenovo Configuration Pack エディター を使用します。

Lenovo 構成データは Lenovo Configuration Pack エディター によって Configuration Pack (.cab) ファイルにエクスポートされます。.cab ファイルはその後 System Center Configuration Manager (SCCM) にインポートされ、必要な構成管理 機能で使用できます。

管理者は、構成データを SCCM で特定のコレクションに割り当てることができません。構成データには Visual Basic スクリプトが含まれており、ASU.exe ツールを実行してエンドポイントの準拠性を検証します。

Advanced Settings Utility (ASU)

Lenovo Advanced Settings Utility (ASU) を使用すれば、Red Hat Enterprise Linux、Solaris Unix、Microsoft Windows、および WinPE などの、複数のオペレーティング・システム・プラットフォームでコマンド行からファームウェア設定を変更できます。

ASU は、BIOS コード、Remote Supervisor Adapter および Remote Supervisor Adapter II ファームウェア、ベースボード管理コントローラー ファームウェア、統合管理モジュール その他をサポートしています。

Configuration Pack 構成データには ASU.exe は含まれていません。Lenovo システム・エンドポイントで ASU (v3.60 以降) を連携させて Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager を使用するには、ここにあるステップを実行します。

1. Lenovo_Support ASU システム・ディレクトリー・フォルダーにある ASU.exe ファイル (32 ビット OS の場合) または ASU64.exe ファイル (64 ビット OS の場合) をコピーします。例えば、C: Lenovo_Support ASU asu.exe および C: Lenovo_Support ASU asu64.exe です。
2. HKEY_LOCAL_MACHINE SOFTWARE (Wow6432Node) Lenovo ASU にあるストリング・キー *Location* を更新して、レジストリーの ASU.exe のロケーションを手動で記録します。

ASU について詳しくは、Lenovo x86 サーバーの Advanced Settings Utility (ASU) サポート・ポータルを参照してください。

第 2 章 Lenovo Configuration Pack <!--v6.0-->の取り付け

以下の手順では、Configuration Pack のインストール方法について説明しています。

手順

1. Lenovo Configuration Pack v6.0 インストーラー (.exe ファイル) を ダブルクリックします。 Lenovo Configuration Pack のウェルカム・ページが開きます。

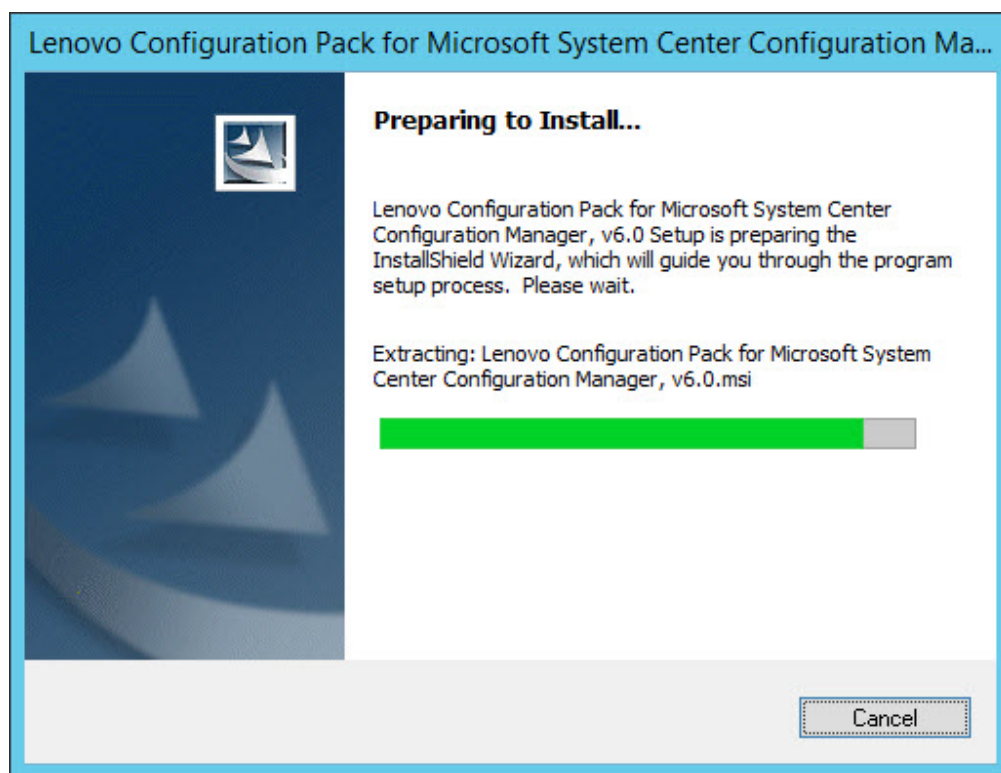


図 1. InstallShield ウィザード・ウェルカム・ページ

2. 「次へ」をクリックして、「使用許諾契約書」ページに進みます。

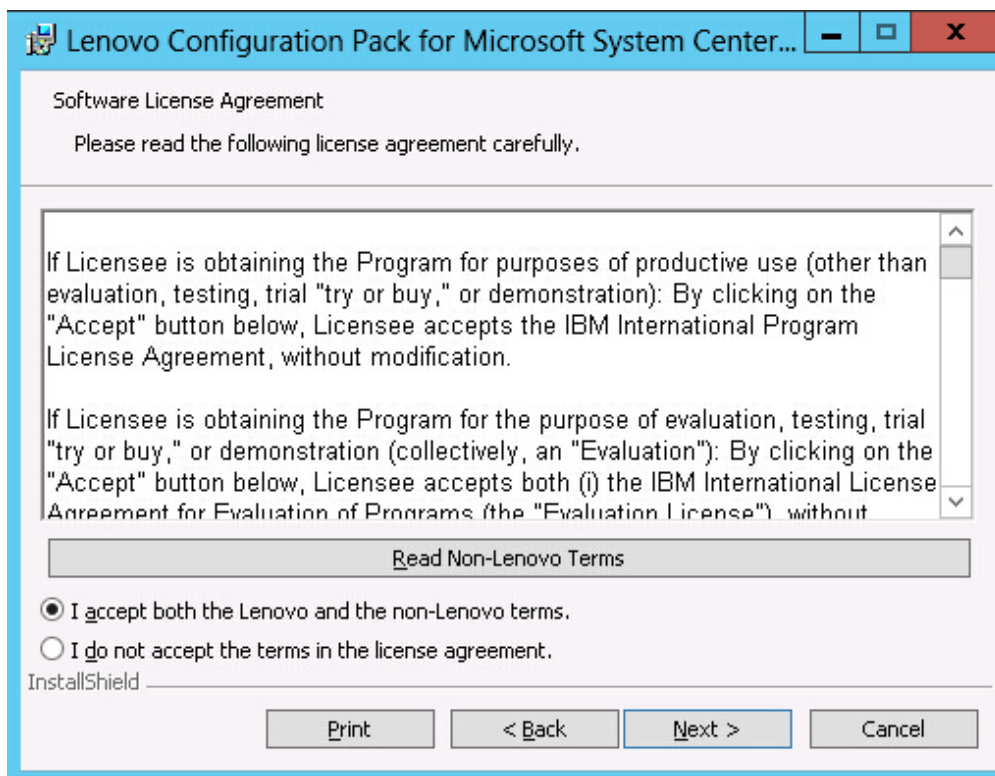


図2. ソフトウェアの使用許諾契約書

3. 「**I accept both the Lenovo and non- Lenovo terms** (Lenovo の条件および Lenovo 以外の条件のどちらにも同意する)」をクリックしてご使用条件に同意します。
4. 「次へ」をクリックします。 製品ライセンスがアクティブ化されていない場合は、「Trial Version (試用バージョン)」ページが開きます。それ以外の場合は、「Destination Folder (宛先フォルダー)」ページが開きます。
5. 「Trial Version (試用バージョン)」ページで「**Contact Lenovo** (Lenovo に問い合わせる)」をクリックして有効な製品ライセンスを入手するか、または「**Next** (次へ)」をクリックすれば、「Destination Folder (宛先フォルダー)」ページに進むことができます。

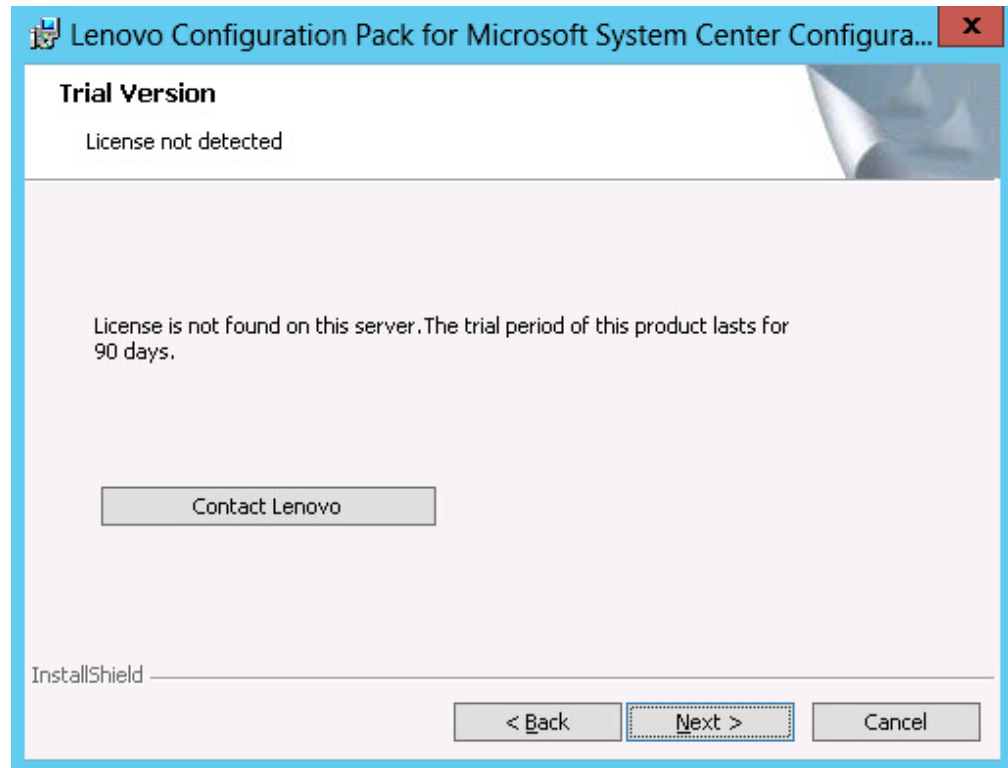


図 3. 「試用バージョン」 ページ

6. 「Destination Folder (宛先フォルダー)」 ページで「**Change** (変更)」をクリックすれば、Lenovo Configuration Pack をインストールするディレクトリーを変更できます。

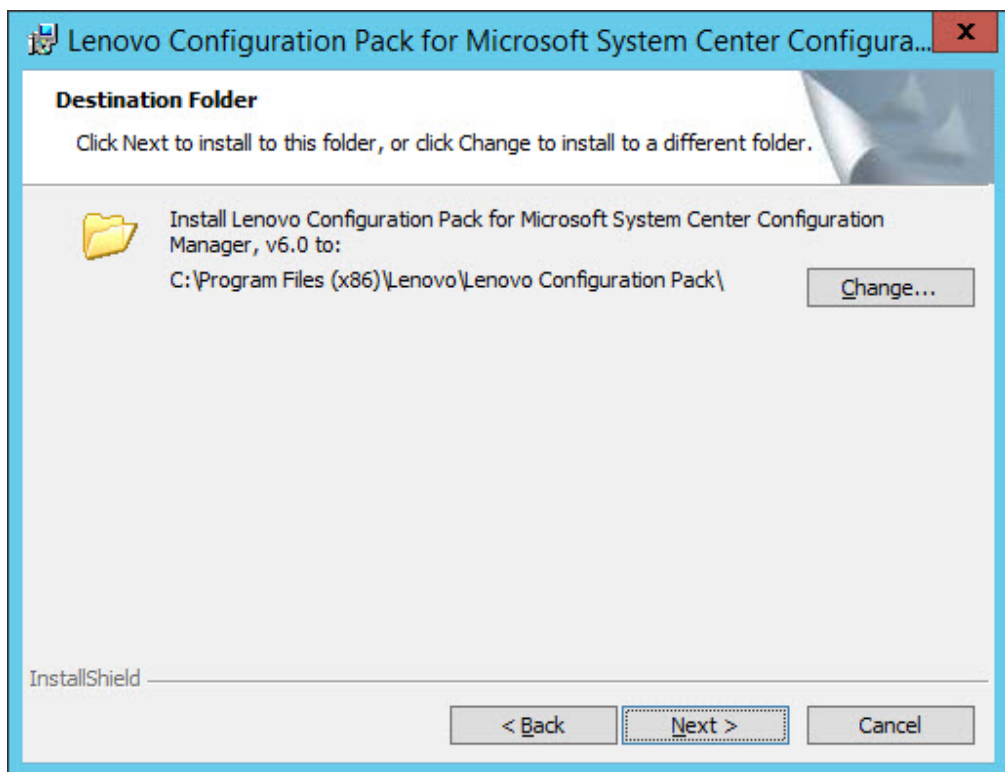


図4. 「Destination Folder」 ページ

7. 「次へ」をクリックして、「Ready To Install the Program (プログラムをインストールする準備完了)」ページに進みます。

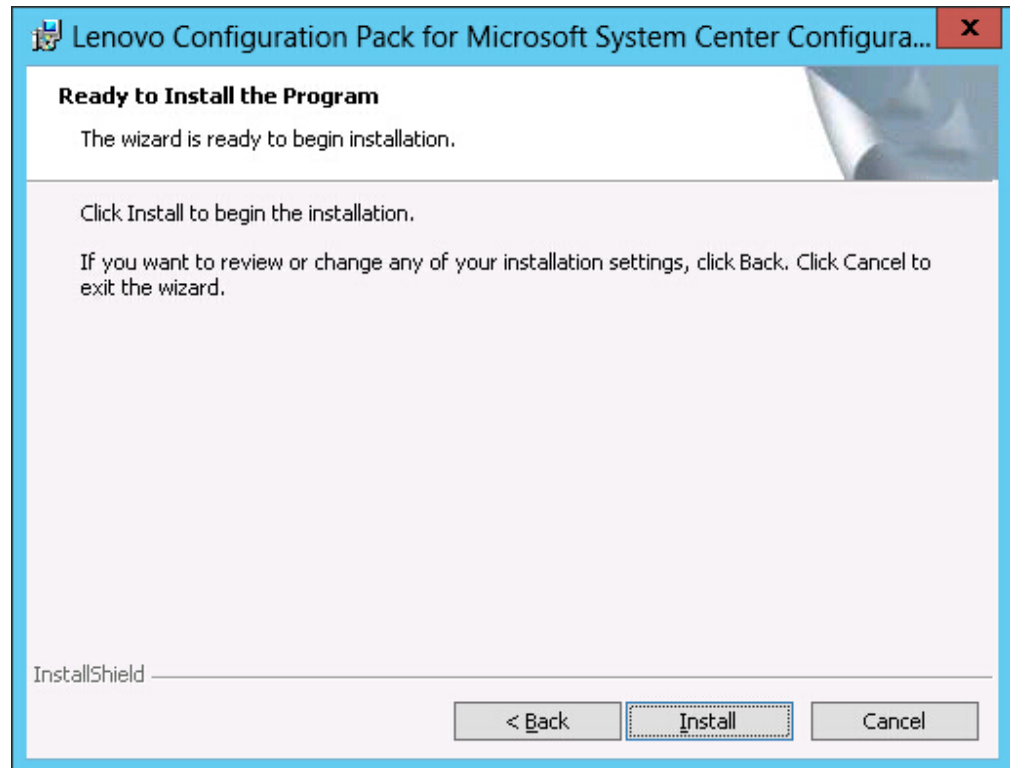


図 5. 「Ready to Install the Program (プログラムをインストールする準備完了)」 ページ

8. 「インストール」 をクリックしてインストール・プロセスを開始します。

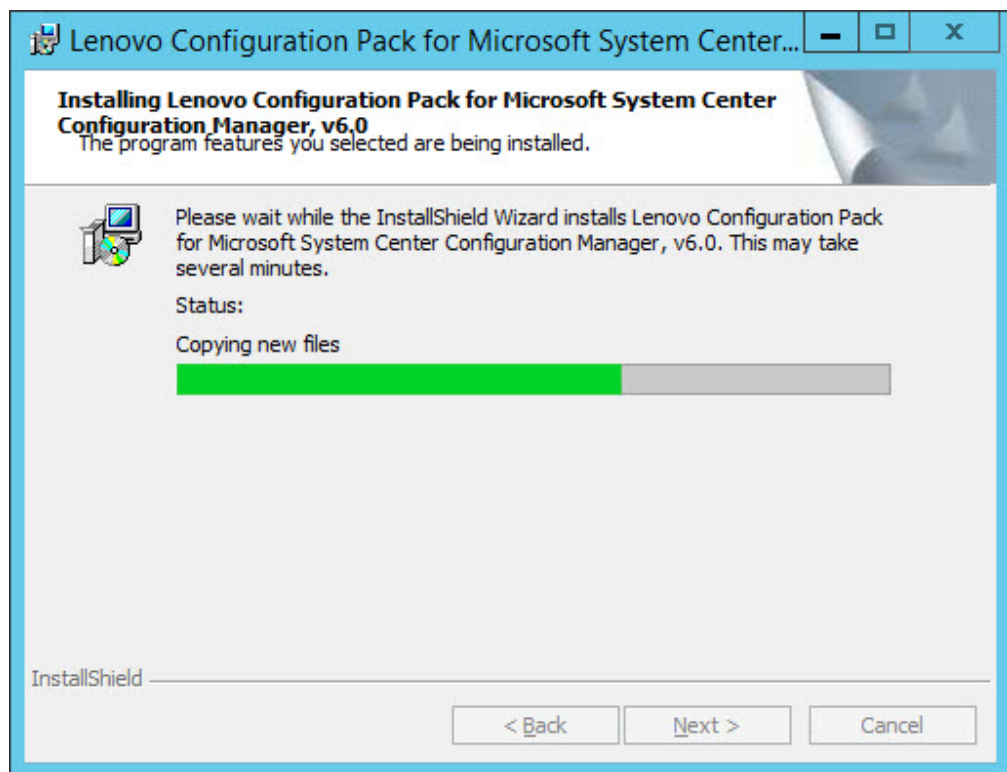


図6. インストール状況ページ

9. 「**Finish**」をクリックして、インストールを完了します。

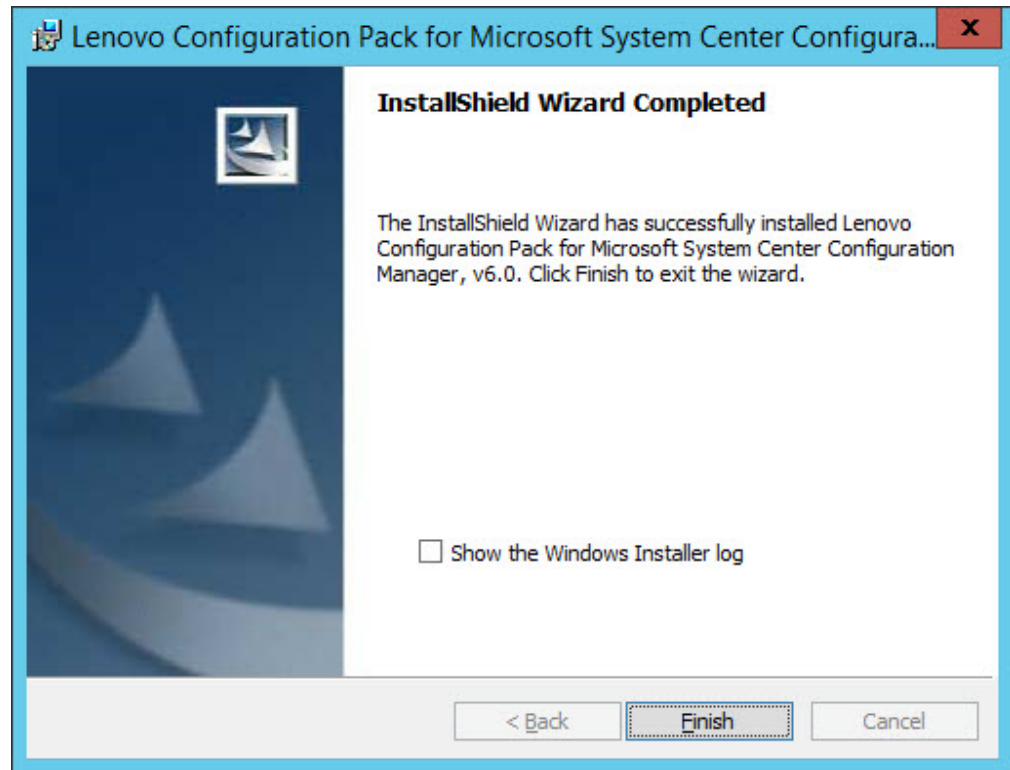


図 7. 「InstallShield Wizard Completed」 ページ

Lenovo Configuration Pack のアンインストール

Lenovo Configuration Pack をアンインストールするには、4 つの方法があります。

手順

- この方法を推奨します。(.exe ファイル) をダブルクリックして、Lenovo Configuration Pack インストーラー・プログラムを開始します。「**Remove** (削除)」オプションを選択します。
- 「**Add or Remove Programs** (プログラムの追加と削除)」オプションまたは Microsoft Windows Server 2008 の場合は、「**Programs and Features** (プログラムと機能)」オプションを使用します。
- 「**Start** (スタート)」メニューでアンインストール・ショートカットを使用します。
- Lenovo XClarity Integrator Installer を使用したアンインストールについて詳しくは、*Lenovo XClarity Integrator Installer (Lenovo XClarity Integrator Installer User's Guide)* を参照してください。

次のタスク

構成データを作成してある場合は、アンインストール・プロセスで構成データのフォルダーを削除するかどうかの通知を受けます。

第 3 章 Lenovo Configuration Pack および Microsoft System Center Configuration Manager の操作

このセクションのトピックでは、Microsoft System Center Configuration Manager 2007 および Microsoft System Center Configuration Manager 2012 を使用して Lenovo Configuration Pack を使用方法について説明します。

構成データを伴う Lenovo Configuration Pack の使用

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v6.0 を使用すると、System Center Configuration Manager (SCCM) 必要な構成管理 (DCM) サーバーにインポートできる構成データを簡単に作成できます。SCCM DCM サーバーは構成データをクライアントに割り当てて、そのクライアントが準拠しているかどうかを評価します。

このタスクについて

以下の手順では、SCCM DCM サーバーで Lenovo Configuration Pack を使用して構成データを扱う方法について説明します。

手順

- 評価する構成データを作成します。構成データは、以下のいずれかの方法で作成できます。

- Lenovo Configuration Pack エディター を使用して構成データを作成します。

詳しくは、16 ページの『の作成設定コレクション』と 30 ページの『構成項目の作成』を参照してください。

- 統合管理モジュール、uEFI モジュール、または uEFI (Romley プラットフォーム) モジュールがある Lenovo サーバーから構成データをキャプチャーします。

詳しくは、100 ページの『Lenovo Configuration Capture の実行』を参照してください。

- 作成した構成データを SCCM DCM サーバーにエクスポートします。

詳しくは、50 ページの『Lenovo Configuration Pack CAB ファイルへの構成項目のエクスポート』と 57 ページの『構成データの DCM へのインポート』を参照してください。

- 構成データを SCCM クライアントに割り当て、評価します。

詳しくは、70 ページの『コレクションへの基準の割り当て』と 72 ページの『エンドポイントの基準の評価』を参照してください。

Lenovo Configuration Pack エディター の起動

Lenovo Configuration Pack エディター は、必要な構成管理 用にエクスポートできる構成データの作成や管理に役立ちます。

始める前に

Lenovo Configuration Pack エディター の起動には製品ライセンスが必要です。製品ライセンスをアクティブにする必要がある場合は、Lenovo Configuration Pack エディター を起動した後、手順 2 を実行します。

手順

1. 「**Start** (スタート)」メニューから Lenovo Configuration Pack エディター のショートカットをクリックして Lenovo Configuration Pack エディター を起動します。

試用ライセンスの有効期限が切れて、製品ライセンスが Lenovo System Configuration Server でアクティブにされていない場合は、製品ライセンスをアクティブにするように求めるウィンドウが開きます。

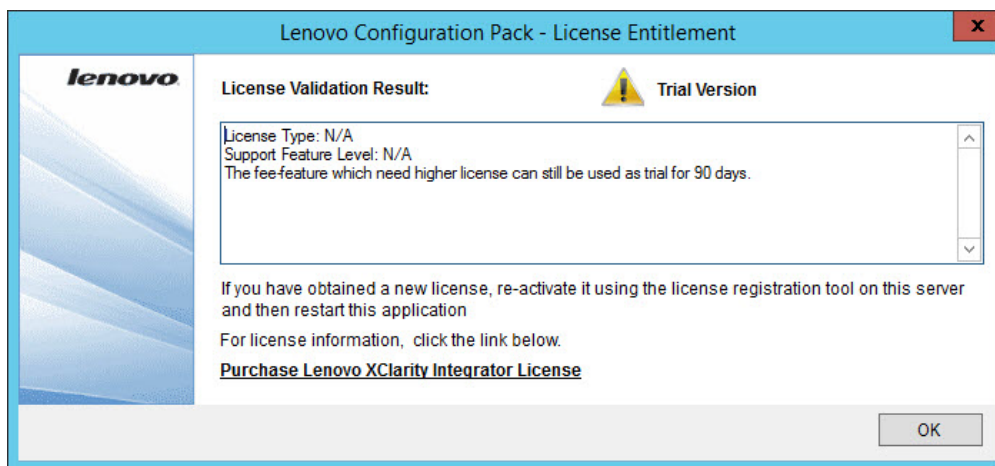


図8. ライセンスが見つかりません

2. オプション: 以下のいずれかの操作を選択して続行します。
 - 「**OK** (OK)」をクリックしてライセンス・ツールで製品ライセンスをアクティブにし、Lenovo Configuration Pack エディター を再起動します。
 - 「**Purchase Lenovo XClarity Integrator License** (Lenovo XClarity Integrator ライセンスを購入してください)」をクリックします。製品ライセンスを購入した後、ライセンス・ツールで製品ライセンスをアクティブにし、Lenovo Configuration Pack エディター を再起動します。
3. オプション: 初めて Lenovo Configuration Pack エディター を使用する場合は、「はじめに」セクションを読んでから、「**Create Setting Collection** (設定コレクションの作成)」をクリックしてファームウェア設定コレクションを作成し、その後で構成項目に設定コレクションをグループ化します。

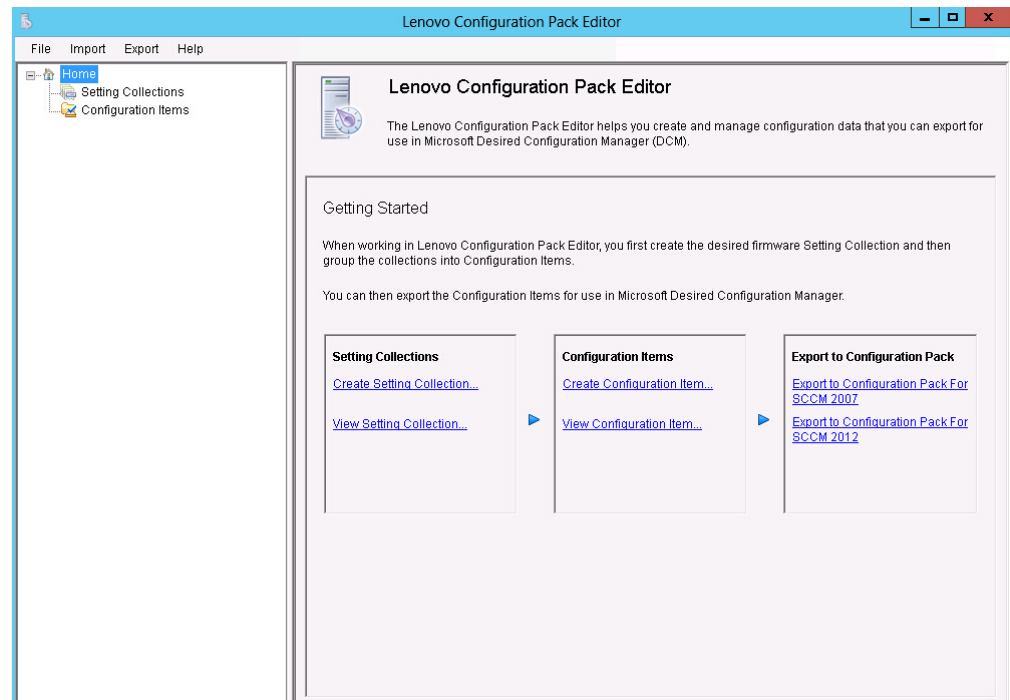


図 9. *Lenovo Configuration Pack* エディターホーム・ページ

Lenovo Configuration Pack エディター ホーム・ページには次の項目があります。

ホーム・ナビゲーション・ペイン

ナビゲーション・ペインには、設定コレクションノードおよび構成項目ノードのリストが示されます。

ナビゲーション・ペインで、設定コレクションまたは構成項目の選択、それらのアプリケーション・ウィンドウでの表示、または右クリックでの選択、および以下のリストにある機能の実行ができます。

Lenovo Configuration Pack エディター アプリケーション・ウィンドウ

アプリケーション・ウィンドウには、3 つの機能領域があります。

設定コレクション

設定コレクションの作成

設定コレクションの表示

構成項目

構成項目の作成

構成項目の表示

Configuration Packへのエクスポート

SCCM 2007 用*Configuration Pack*へのエクスポート

SCCM 2012 用*Configuration Pack*へのエクスポート

設定コレクション

設定コレクションは、サーバー上の必要なオブジェクト、設定、または値を表します。設定コレクションを作成、表示、または変更できます。

Lenovo Configuration Pack エディター ホーム・ページの設定コレクションペインには 2 種類のオプションがあります。

- 「**Create Setting Collection** (設定コレクションの作成)」は Lenovo Configuration Pack エディター ウィザードを開き、IMM/uEFI 設定コレクションの作成に役立ちます。
- 「**View Setting Collection** (設定コレクションの表示)」は設定コレクションのリストを表示し、既存の設定コレクションの選択、表示、変更、削除ができます。

の作成設定コレクション

以下の手順では、設定コレクションの作成方法について説明します。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディター ホーム・ページで、「**Create Setting Collection** (設定コレクションの作成)」をクリックします。設定コレクションの作成手順を案内する Lenovo Configuration Pack エディター ウィザードが開きます。
2. 新規設定コレクションの「**Name** (名前)」と「**Description** (説明)」を入力し、「**Next** (次へ)」をクリックします。名前は必須ですが、説明はオプションです。

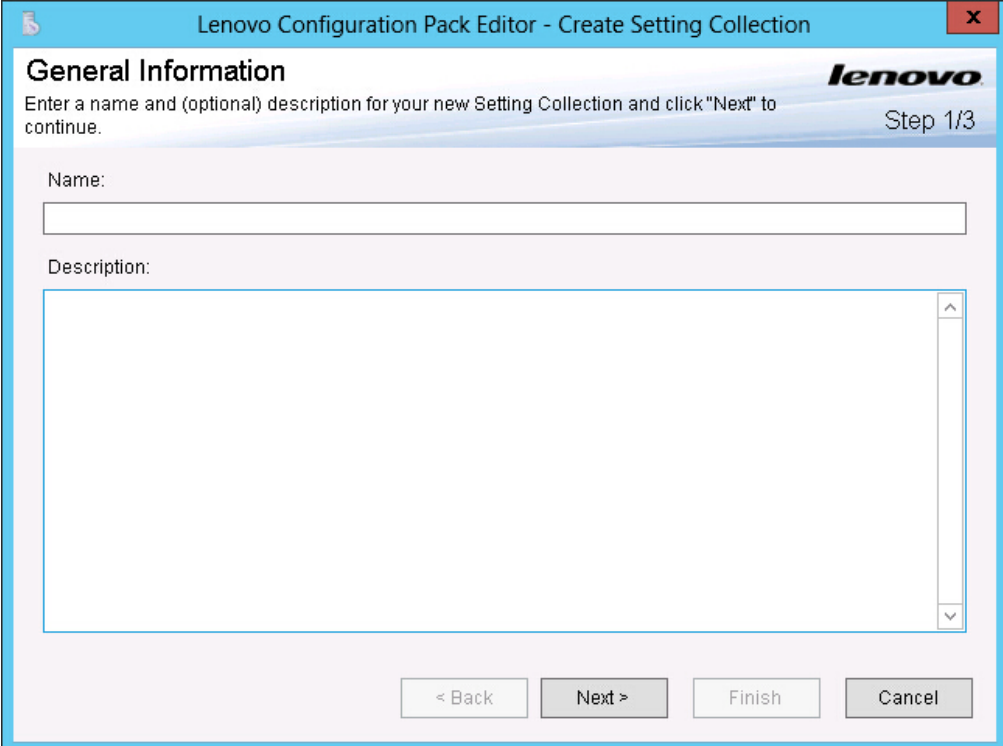


図 10. 「一般情報」 ページ

3. 「**Setting Type** (設定タイプ)」リストで、新しい設定コレクションで使用する設定タイプを選択します。 設定値の型は、作成後に変更することはできません。

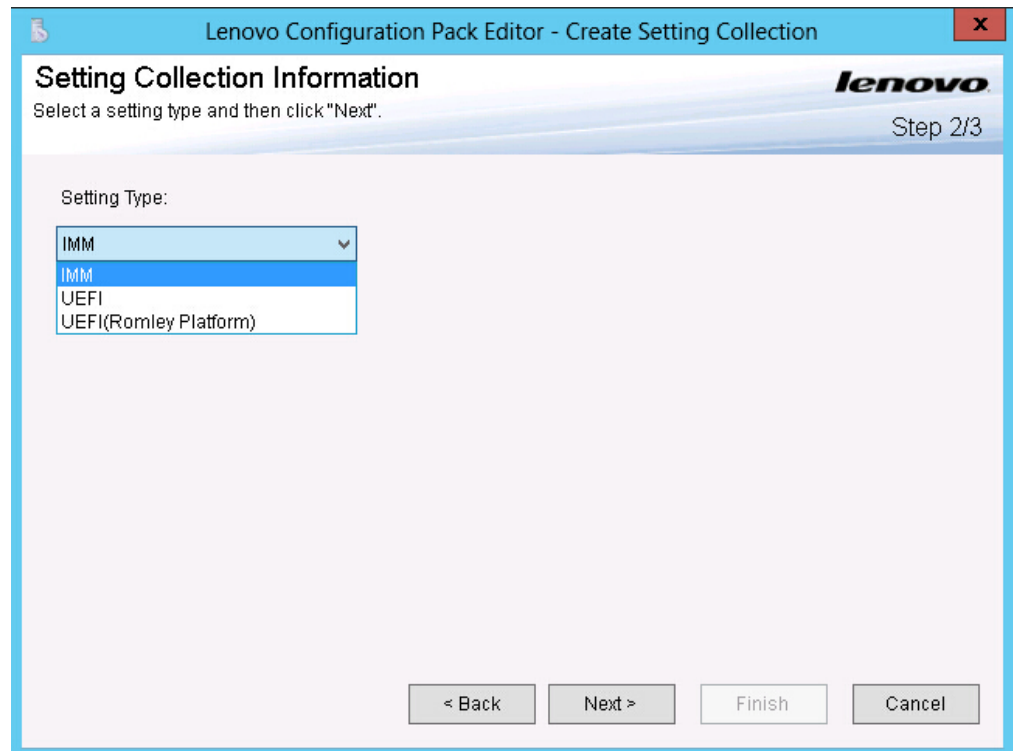


図 11. 「Setting Collection Information (設定コレクション情報)」 ページ

4. 「次へ」をクリックします。「プロパティーしきい値」 ページが開きます。

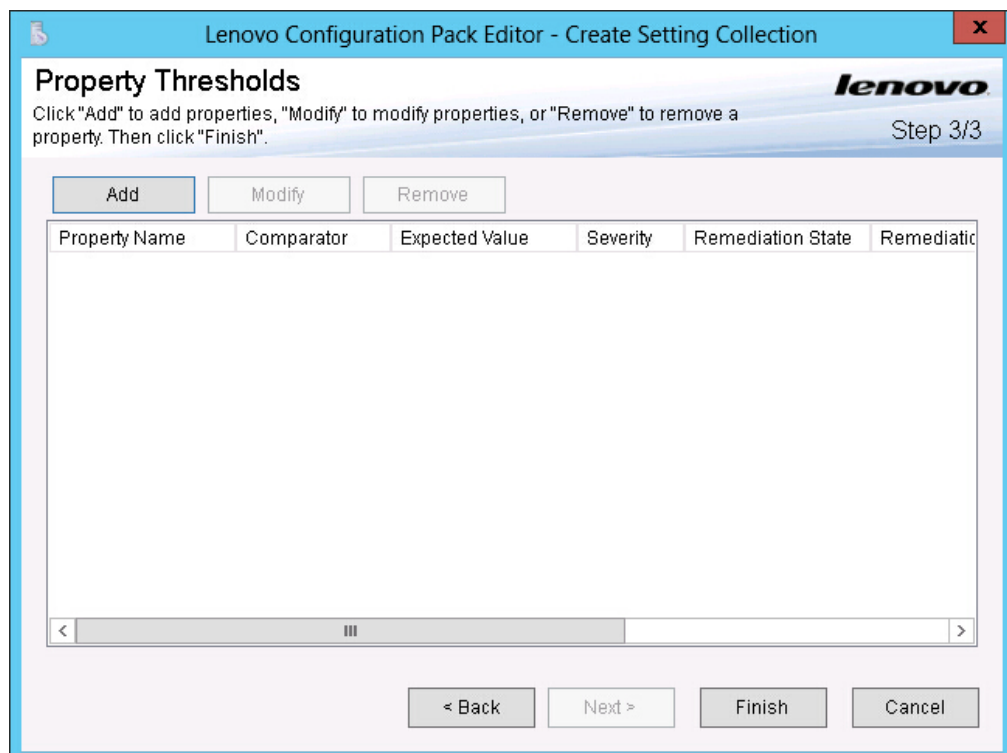


図 12. 「Property Thresholds」 ページ

5. 「**Add**」をクリックして新しいプロパティしきい値を追加します。「Setting Editor (設定エディター)」 ページが開きます。

Lenovo Configuration Pack Editor - Setting Editor

Select the property that you wish to monitor for compliance. If the property list does not include the desired property, type it in the Property Name field.

Property Name:

Description:

Comparator: Value:

Severity:

☐ Remediate noncompliant IMM/UEFI setting values on client automatically. The remediation action may be failed if the target setting is readonly.

Expected Value:

i When the property "BootModes.SystemBootMode" "Equals" "UEFI and Legacy", the property is compliant on the endpoint. Otherwise, the property is non-compliant and returns a severity of "Information".

OK Cancel Apply

図 13. 「Setting Editor (設定エディター)」 ページ

6. 以下のフィールドに入力します。

- **Property Name** (プロパティ名): 「Selecting Collection Information (コレクション情報の選択)」 ページの 「**Setting Type** (設定タイプ)」 で以前に選択した内容に応じて、特定の IMM、uEFI、または uEFI (Romley プラットフォーム) 設定を選択します。
- **Comparator** (コンパレーター): リストの各プロパティ名には、String、Integer、Version、データ時間などの戻りの型が関連付けられます。そのため、次の表に示されているリスト項目からコンパレーターを選択する必要があります。

表 1. 戻りの型別の比較演算子

戻りの型	コンパレーター	説明
String	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	含む	評価プロパティーが Expected Value を包含している場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	いずれか	評価プロパティーが「予測値」にリストされているいずれかの値である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。

表 1. 戻りの型別の比較演算子 (続き)

戻りの型	コンパレーター	説明
Integer	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	小	評価プロパティーが Expected Value より小さい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	以下	評価プロパティーが「予測値」以下である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	より大	評価プロパティーが Expected Value より大きい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	以上	評価プロパティーが Expected Value 以上である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。

表 1. 戻りの型別の比較演算子 (続き)

戻りの型	コンパレーター	説明
バージョン	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	小	評価プロパティーが Expected Value より小さい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	以下	評価プロパティーが「予測値」以下である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	より大	評価プロパティーが Expected Value より大きい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	以上	評価プロパティーが Expected Value 以上である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。

表 1. 戻りの型別の比較演算子 (続き)

戻りの型	コンパレーター	説明
データ時間	等しい	評価プロパティーが Expected Value に等しい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	等しくない	評価プロパティーが Expected Value に等しくない場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	小	評価プロパティーが Expected Value より小さい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	以下	評価プロパティーが「予測値」以下である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	より大	評価プロパティーが Expected Value より大きい場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。
	以上	評価プロパティーが Expected Value 以上である場合、そのプロパティーはエンドポイントで準拠しています。そうでない場合、そのプロパティーは準拠していません。

- **Severity** (重大度): 3 つのレベルのいずれかを選択してください。

- 情報
- 警告
- エラー

設定がエンドポイント上の予測値に準拠していない場合は、その設定から、選択された重大度レベルが返されます。

設定の定義後、「Selection Summary (選択の要約)」において、対応する「**property** (プロパティ)」フィールド、「**value** (値)」フィールド、「**comparator** (コンパレーター)」フィールド、および「**severity** (重大度)」フィールドが自動的に入力されます。

注: プロパティ・サポート・リストに存在しないプロパティを入力できますが、Lenovo Configuration Pack エディターはそのプロパティの戻りの型を String 型であるとみなします。つまり、「Comparator (コンパレーター)」には、「Equals (等しい)」、「Not Equals (等しくない)」、「Contains (含む)」、および「One Of (いずれか)」のみがリストされます。その場合でも、プロパティの予測値を入力する必要があります。

さらに、「設定コレクション」には、重複する値を設定できます。

7. 新しいプロパティしきい値の追加が完了したら、「**Add** (追加)」をクリックします。

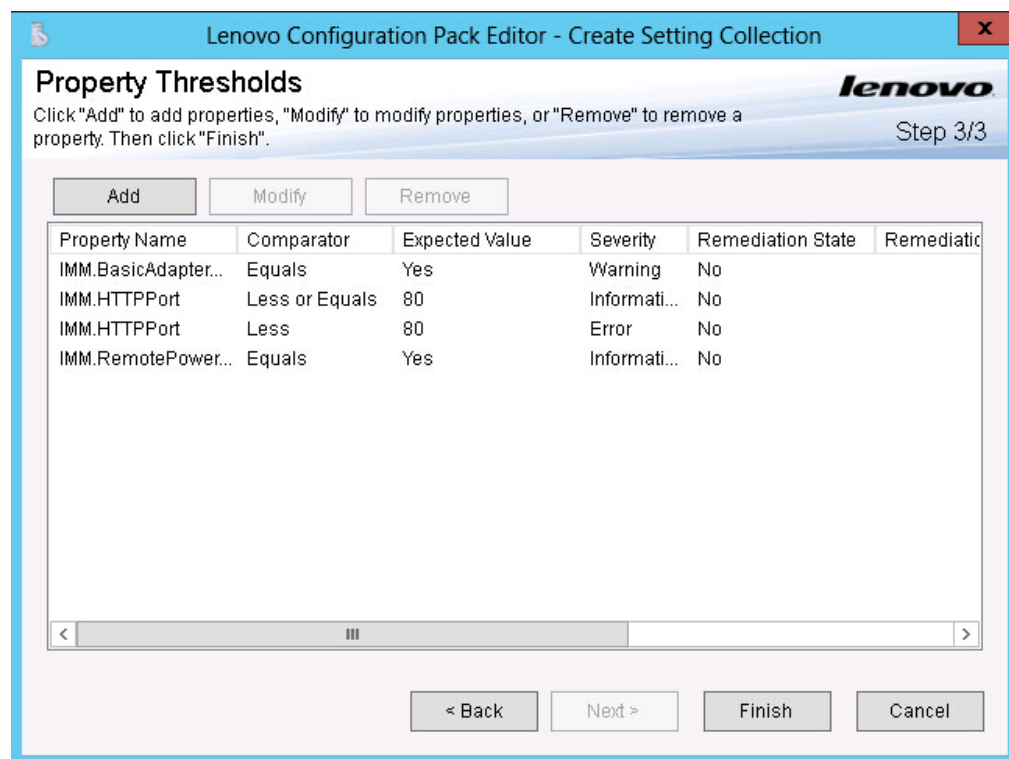


図 14. 「Property Thresholds」 ページ

8. オプション: 設定を変更するには、設定名を選択して「**Modify** (変更)」をクリックするか、設定名をダブルクリックして「**Modify** (変更)」をクリックします。
9. オプション: 設定を削除するには、1 つ以上の設定を選択して「**Remove** (削除)」をクリックします。

の表示設定コレクション

以下の手順では、設定コレクションの表示方法について説明しています。

手順

- ホーム・ページで、「**View Setting Collection** (設定コレクションの表示)」をクリックします。 設定コレクションのリストが表示されます。

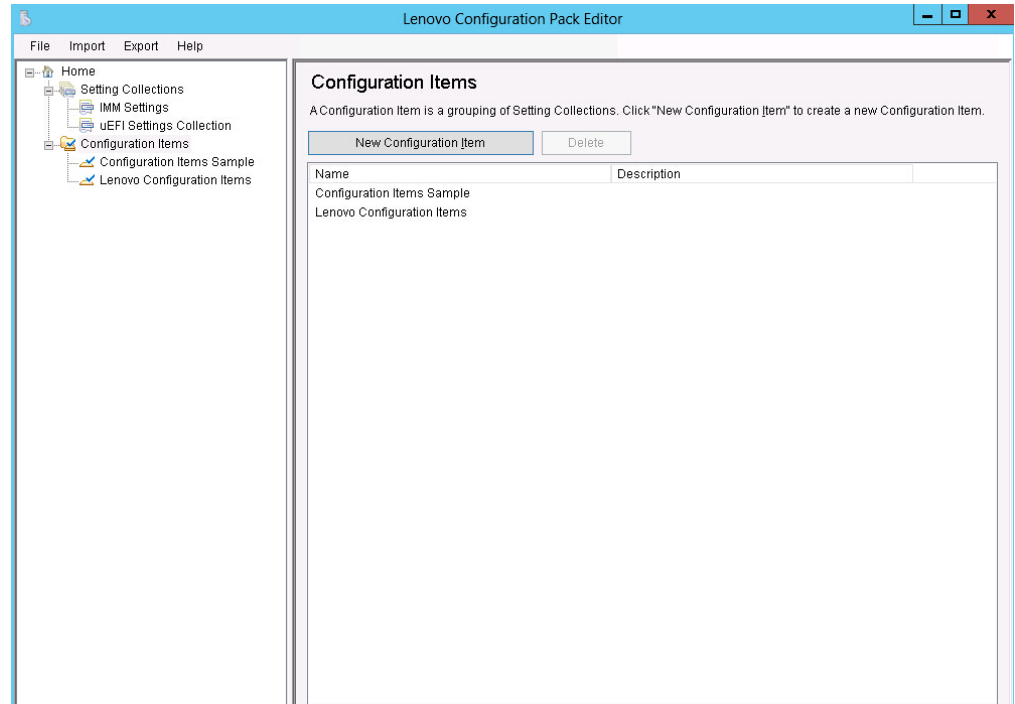


図 15. 設定コレクションのリスト

- 設定コレクションの名前をクリックして、そのプロパティーを表示します。

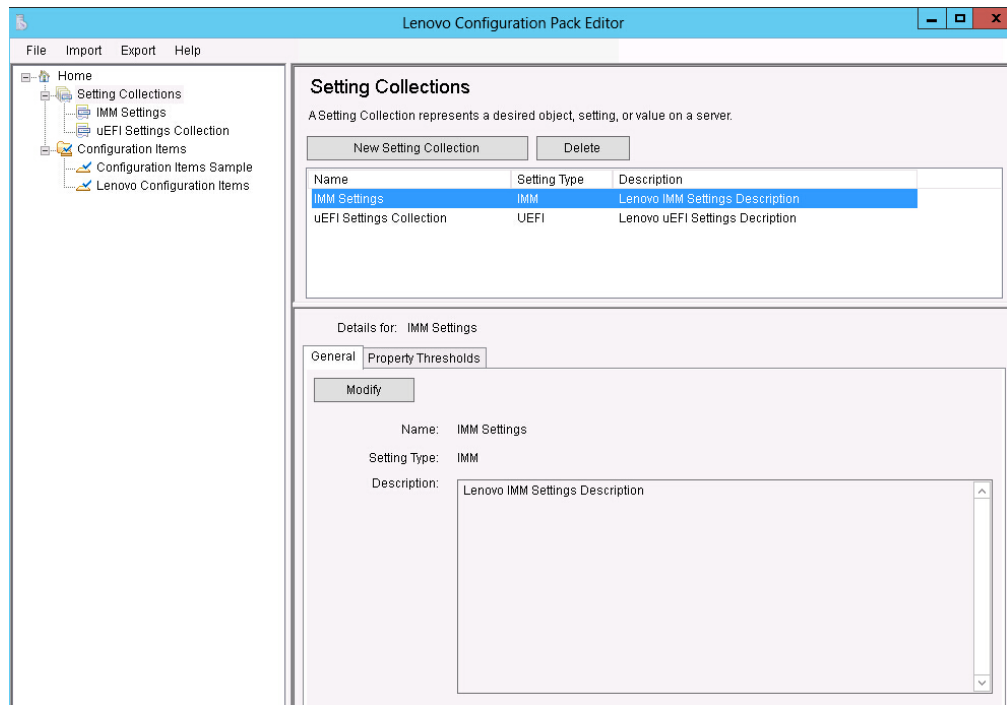


図 16. 設定コレクションのプロパティ

- 設定コレクションを削除するには、リストにある 1 つ以上の項目を選択して、「削除」をクリックするか、または **Delete** キーを押します。

の変更設定コレクション

以下の手順では、設定コレクションの変更方法について説明します。

手順

- 「Setting Collections (設定コレクション)」ページの「**General** (全般)」タブで、「**Modify** (変更)」をクリックします。「General Information (一般情報)」ページが開きます。

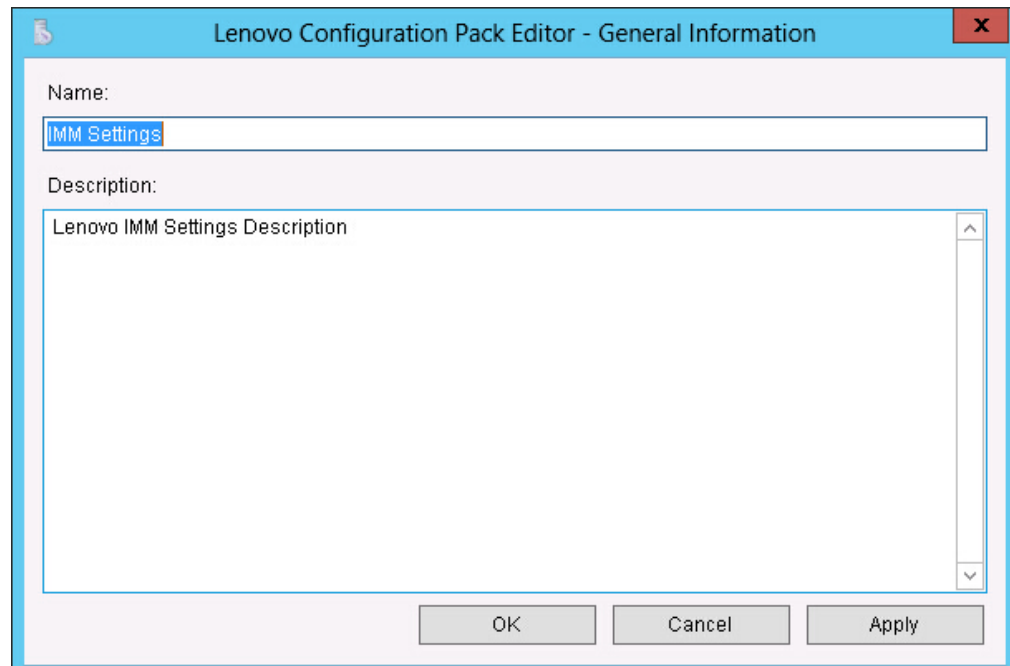


図 17. 「一般情報」 ページ

2. 設定コレクションの「**Name (名前)**」フィールドと「**Description (説明)**」フィールドを編集して、「**Apply (適用)**」の次に「**OK (OK)**」をクリックして変更を保存します。コレクションの「**Name (名前)**」および「**Description (詳細)**」は変更できますが、「**Setting Type (設定タイプ)**」は変更できません。
3. 「**Property Thresholds (プロパティしきい値)**」タブをクリックして既存のプロパティしきい値のリストを表示します。

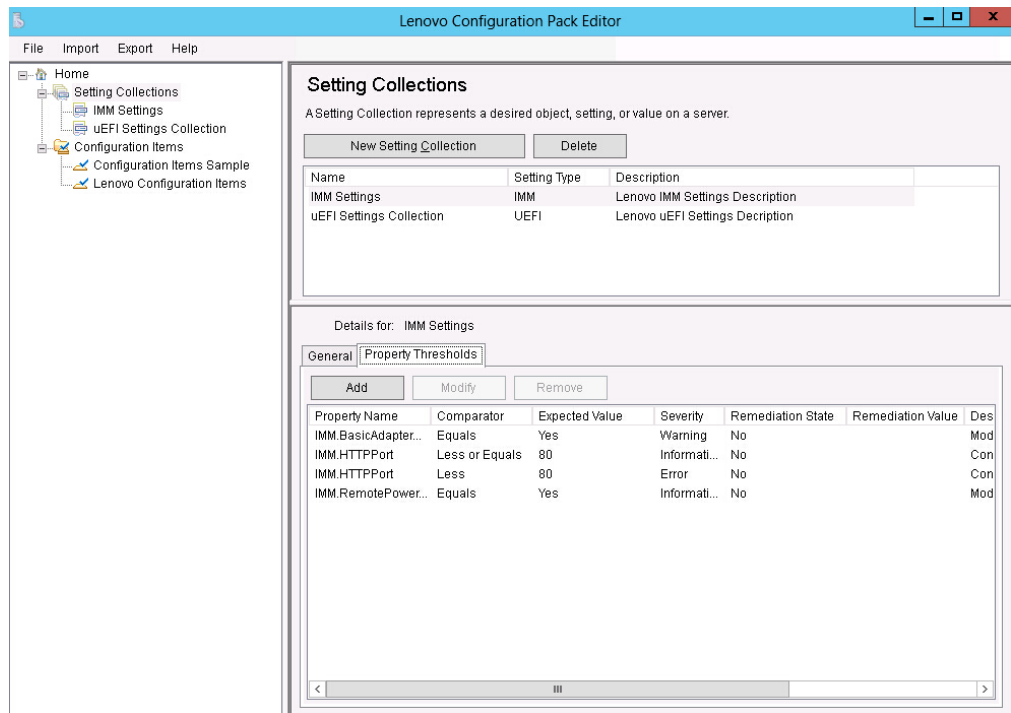


図 18. 「Property Thresholds」 タブ

4. 該当する編集オプションを選択します。

- プロパティしきい値に設定を追加するには、「追加」をクリックします。
- 選択したプロパティしきい値を編集するには、「変更」をクリックします。
- 選択したプロパティしきい値を削除するには、「除去」をクリックします。

注: 他の構成項目でも使用されている設定コレクションを削除すると、他のすべての構成項目からも除去されます。

の複製設定コレクション

以下の手順では、設定コレクションの複製方法について説明します。

手順

1. ナビゲーション・ペインまたは設定コレクションリストで、設定コレクションを右クリックし、「**Duplicate** (複製)」をクリックします。

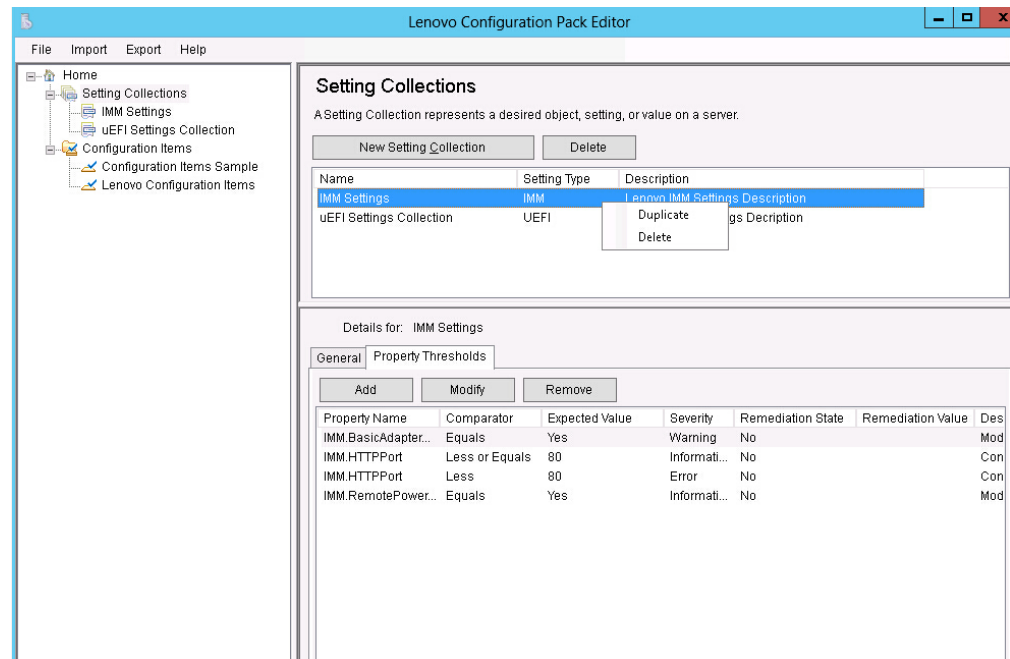


図 19. 設定コレクション複製機能

2. 「Duplication Dialog (複製ダイアログ)」ウィンドウで、複製する設定コレクションの「**New Name** (新しい名前)」を入力し、「**OK (OK)**」をクリックします。

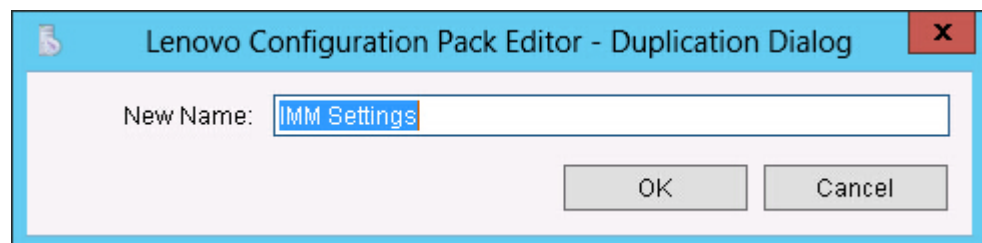


図 20. 「複製」ダイアログ・ウィンドウ

注: 複製する設定コレクションの名前は既存の設定コレクションと同じ名前でもかまいません。ただし、複製する設定コレクションに固有の名前を使用することをお勧めします。また、他の構成項目で使用されている設定コレクションを複製しても、新たに作成された複製設定コレクションは、その構成項目から参照されません。

構成項目

構成項目は、Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager によって定義され管理される設定コレクションをグループ化したものです。構成項目を作成、表示、または変更できます。

Lenovo Configuration Pack エディター ホーム・ページの「Configuration Item (構成項目)」ペインには 2 種類のオプションがあります。

- 「**Create Configuration Item** (構成項目の作成)」は Lenovo Configuration Pack エディター ウィザードを開き構成項目の作成に役立ちます。

- 「**View Configuration Item** (構成項目の表示)」は「**configuration item** (構成項目)」リストを表示し、既存の構成項目を選択して表示できます。

構成項目の作成

以下の手順では、構成項目の作成方法について説明します。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディター ホーム・ページで、「**Create configuration item** (構成項目の作成)」をクリックします。 構成項目の作成手順を案内する Lenovo Configuration Pack エディター ウィザードが開きます。

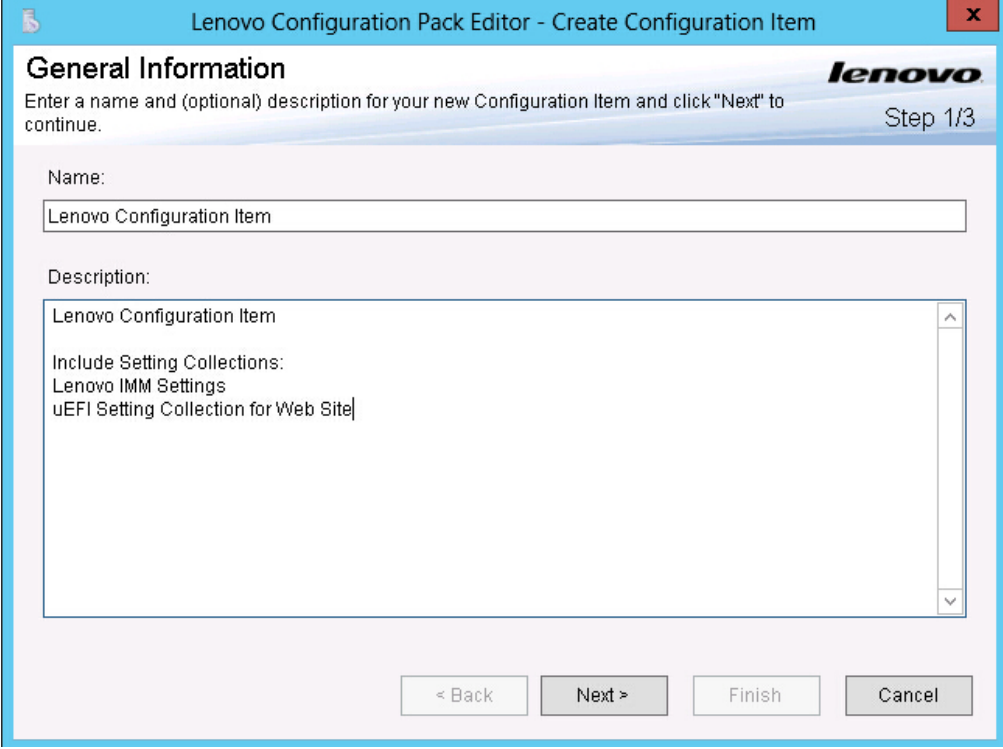


図 21. 「一般情報」 ページ

2. 新規構成項目の「**Name** (名前)」と「**Description** (説明)」を入力して、「**Next** (次へ)」をクリックします。 名前は必須ですが、説明はオプションです。
「IMM Information (IMM の情報)」ページが開きます。

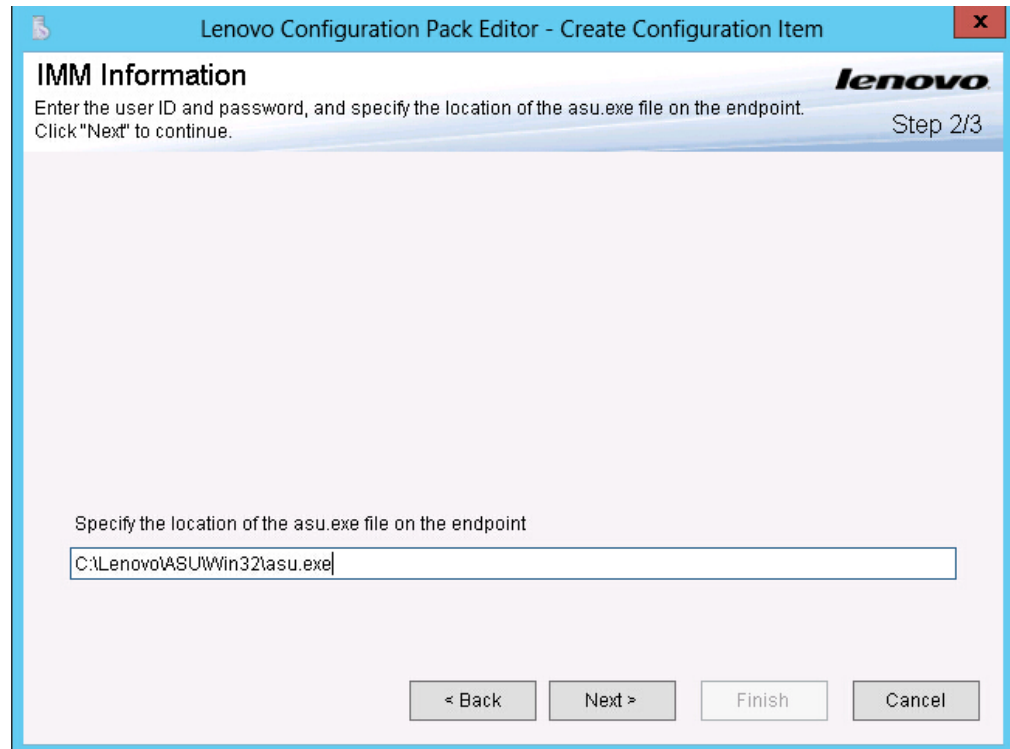


図 22. IMM Information (IMM の情報) ページ

3. 「**UserID** (ユーザー ID)」および「**Password** (パスワード)」を入力し、次にターゲット・サーバーで IMM の「**Confirm the Password** (パスワードの確認)」をします。ターゲット IMM でデフォルト・アカウントが使用されている場合、ユーザー ID とパスワードは必須ではありません。Lenovo Configuration Pack エディター は「**UserID** (ユーザー ID)」フィールドおよび「**Password** (パスワード)」フィールドに入力された情報の正確性を確認しません。
4. 「**Specify the location of the ASU.exe file on endpoint** (エンドポイントでの ASU.exe ファイルのロケーションを指定します)」フィールドに、ターゲット・サーバー上の ASU.exe ファイルへの絶対パスを入力します。ASU.exe ファイルを起動して設定を検出するために、このパスがコレクションの設定で使用されます。正しいパスが入力されない場合は、次の図のように ASU.exe ファイルは検出できません。

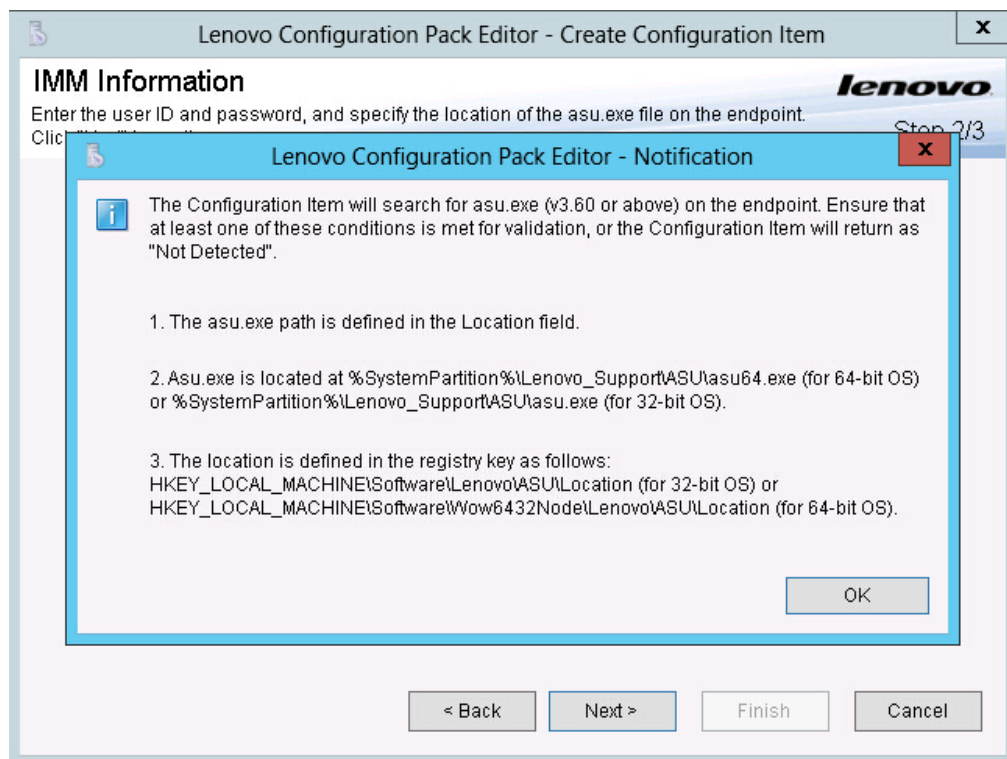


図 23. Asu.exe 検出通知ウィンドウ

5. オプション: 「Notification (通知)」 ウィンドウを終了するには、「**OK (OK)**」をクリックします。
6. 「次へ」をクリックします。「Configuration Items (構成項目)」ページが開きます。

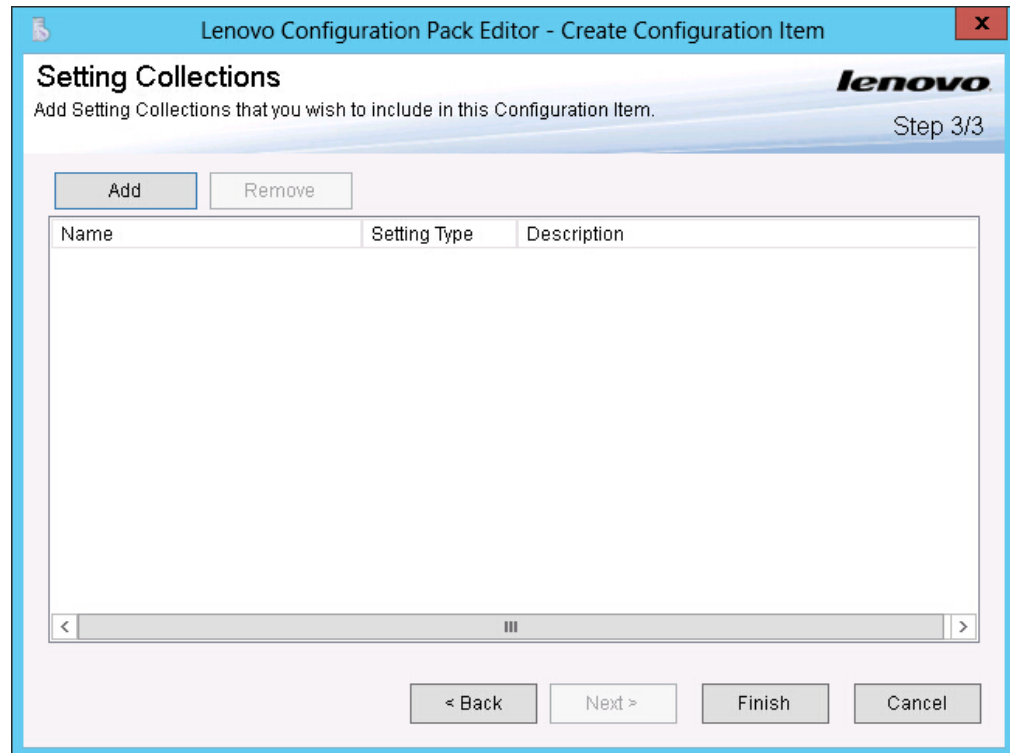


図 24. 構成項目ページ

7. 「**Add** (追加)」をクリックして、既存の設定コレクションを構成項目に追加します。「Add Setting Collections (設定コレクションの追加)」ページが開きます。

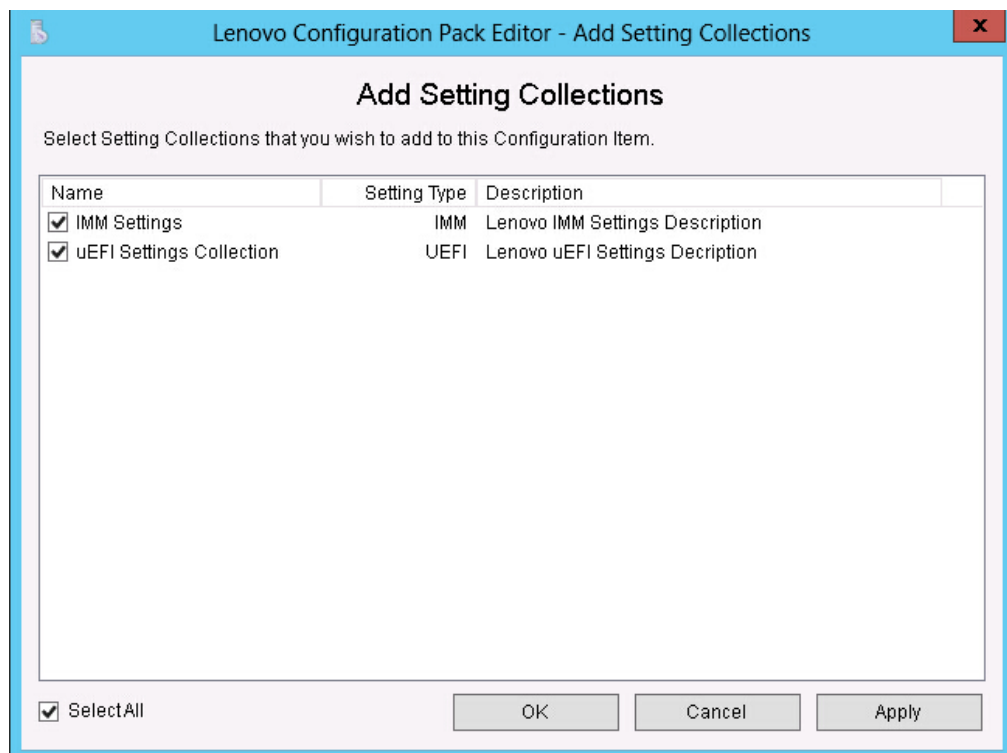


図 25. 「Add Setting Collections (設定コレクションの追加)」 ページ

8. 構成項目に追加する設定コレクションを選択し、「**OK (OK)**」をクリックします。設定コレクションは複数の構成項目で使用できます。

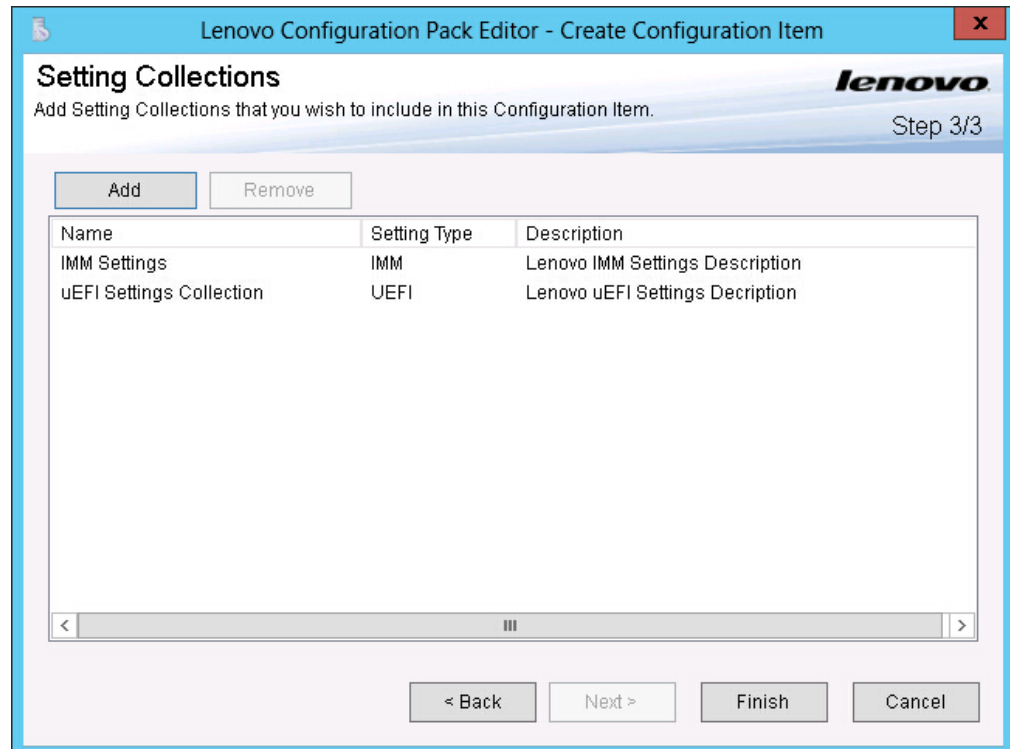


図 26. 設定コレクションリストの追加

9. 設定コレクションを構成項目から削除するには、リストで 1 つ以上の設定コレクションを選択し、「**Remove** (削除)」をクリックします。「**Remove** (削除)」機能は選択された設定コレクションを現行の構成項目から削除しますが、設定コレクションはこのリストから削除しません。
10. 「完了」をクリックします。

構成項目の表示

以下の手順では、構成項目の表示方法について説明しています。

手順

- ホーム・ページで、「**View configuration item** (構成項目の表示)」をクリックします。「Configuration Items (構成項目)」リストが表示されます。

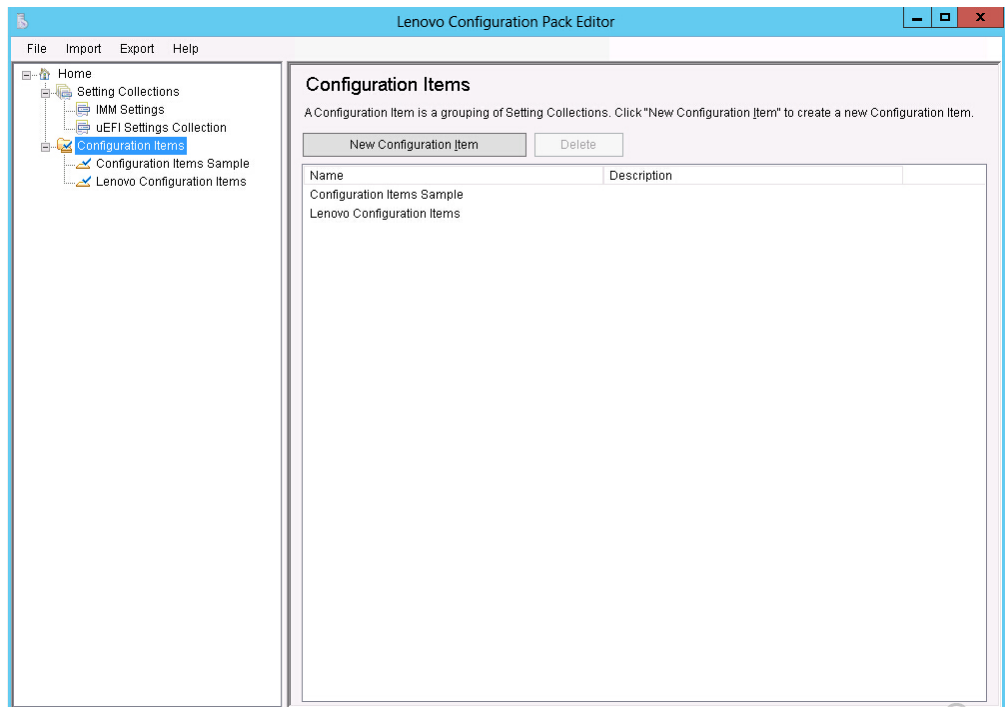


図 27. 構成項目リスト

- 構成項目の名前をクリックして、プロパティを表示します。

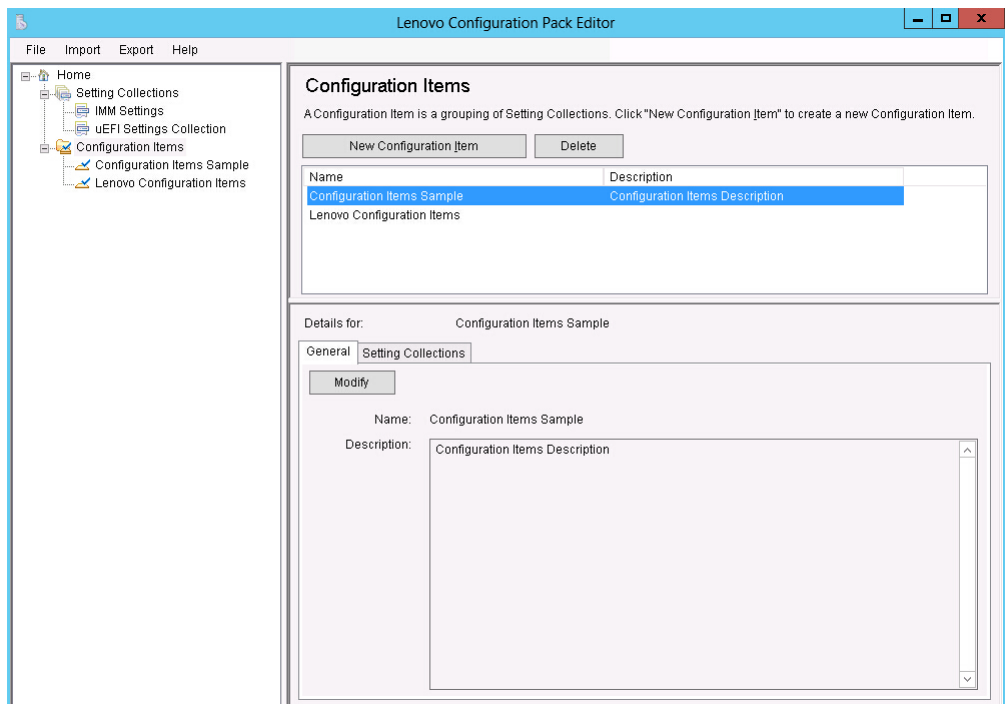


図 28. 構成項目のプロパティ

構成項目の変更

以下の手順では、構成項目の変更方法について説明します。

手順

1. 「Configurations Items (構成項目)」ページの「**General** (全般)」タブで、「**Modify** (変更)」をクリックします。「General Information (一般情報)」ページが開きます。

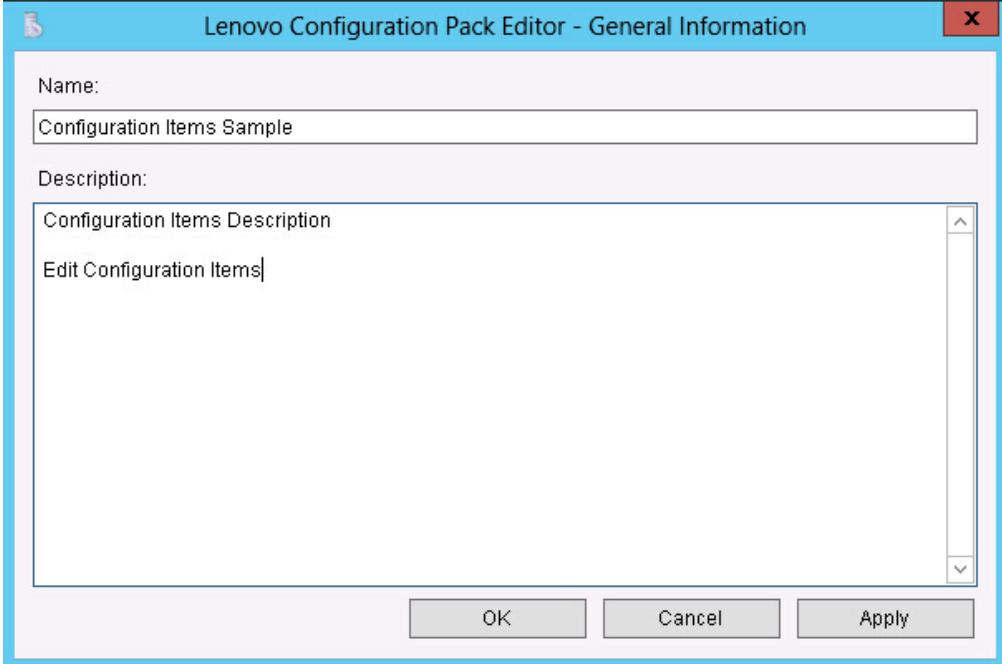


図 29. Configuration Pack Editor - 「General Information (一般情報)」ページ

2. 構成項目の「**Name** (名前)」フィールドと「**Description** (説明)」フィールドを編集して、「**Apply** (適用)」の次に「**OK** (OK)」をクリックして変更を保存します。
3. IMM アカウント情報を表示するには、「**IMM Account** (IMM アカウント)」タブをクリックします。

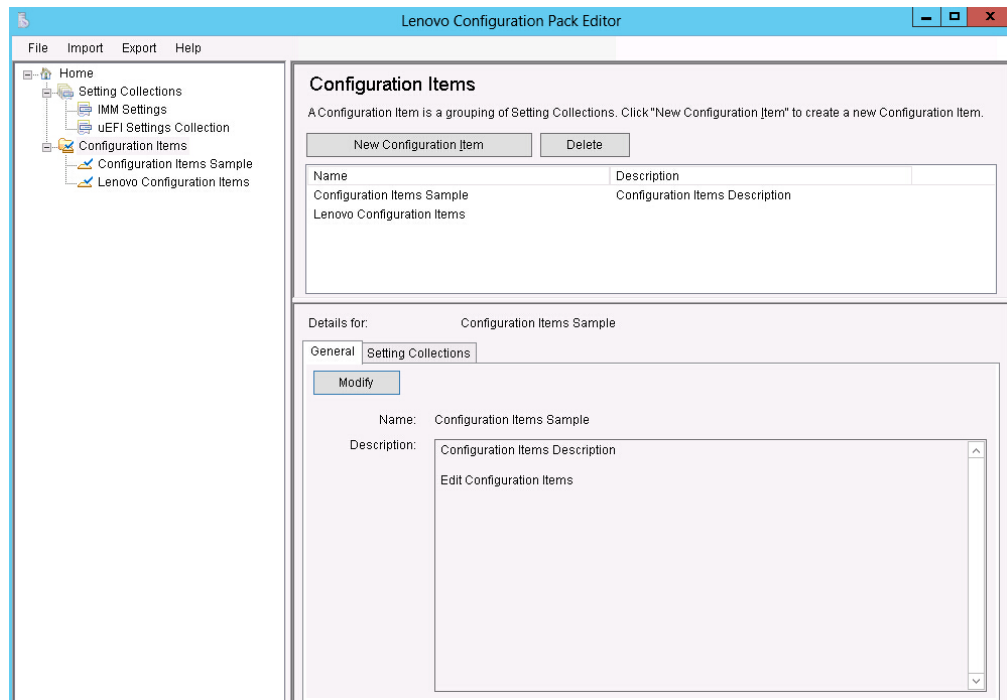


図 30. 「IMM Account (IMM アカウント)」タブ

4. 「**Modify (変更)**」をクリックして、ターゲット・サーバーの IMM 用の「**UserID (ユーザー ID)**」または「**Password (パスワード)**」を入力します。

注: Lenovo Configuration Pack エディター は、「**UserID (ユーザー ID)**」フィールドと「**Password (パスワード)**」フィールドが正しいかどうかを検査しません。エラーをなくすために、デフォルト・アカウントを使用することをお勧めします。

5. 「**Specify the location of the ASU.exe file on endpoint (エンドポイントでの ASU.exe ファイルのロケーションを指定します)**」フィールドに、ターゲット・サーバー上の ASU.exe ファイルへの絶対パスを入力します。ASU.exe ファイルを起動して設定を検出するために、このパスがコレクションの設定で使用されます。正しいパスが入力されなかった場合は、下の図に示されたウィンドウで指定されているように、設定により ASU.exe ファイルの検出が試みられます。

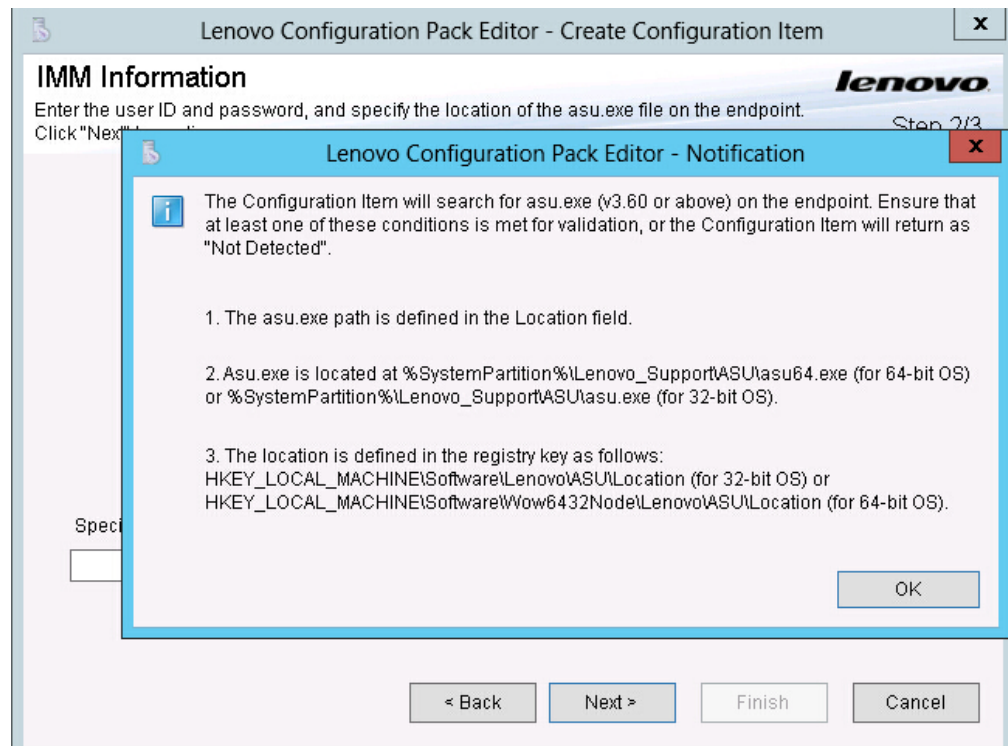


図 31. Asu.exe 検出通知ウィンドウ

6. オプション: 「Notification (通知)」 ウィンドウを終了するには、「**OK (OK)**」をクリックします。
7. 「設定コレクション」タブをクリックします。

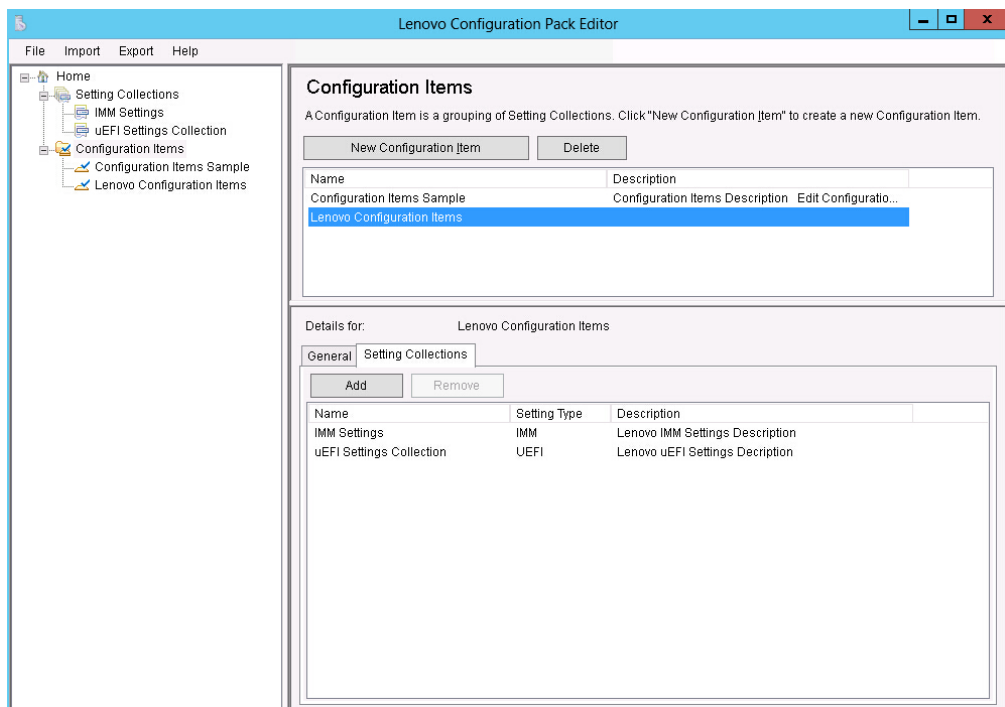


図 32. 「設定コレクション」タブ

8. 「**Add** (追加)」をクリックして、既存の設定コレクションを構成項目に追加します。「Add Setting Collection (設定コレクションの追加)」ページが開きます。

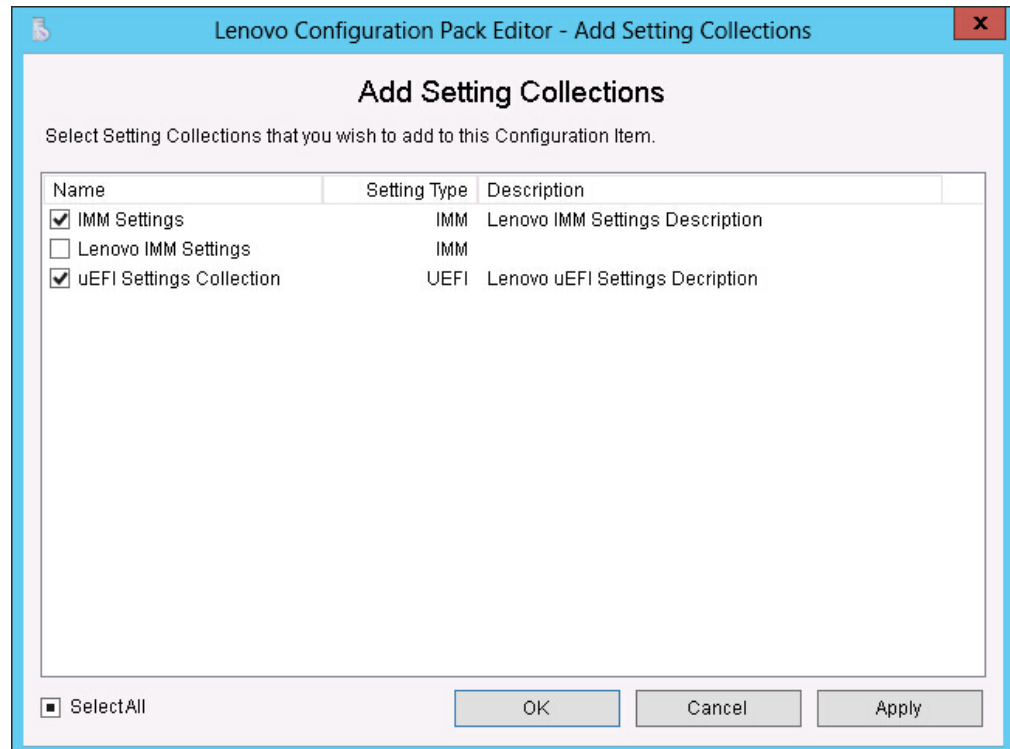


図 33. 「Add Setting Collections (設定コレクションの追加)」 選択ページ

- 構成項目に追加する設定コレクションを選択し、「**OK** (OK)」をクリックします。

注: 複数の構成項目を設定コレクションで使用できます。

- 設定コレクションを構成項目から削除するには、リスト表示で 1 つ以上の設定コレクションを選択し、「**Remove** (削除)」をクリックします。

注: 「**Remove** (削除)」をクリックすると、選択された設定コレクションは現行構成項目から削除されますが、他の構成項目の設定コレクションは削除されません。

構成項目の複製

以下の手順では、構成項目の複製方法について説明します。

手順

- ナビゲーション・ペインまたは構成項目リストで、構成項目を右クリックし、「**Duplicate** (複製)」をクリックします。

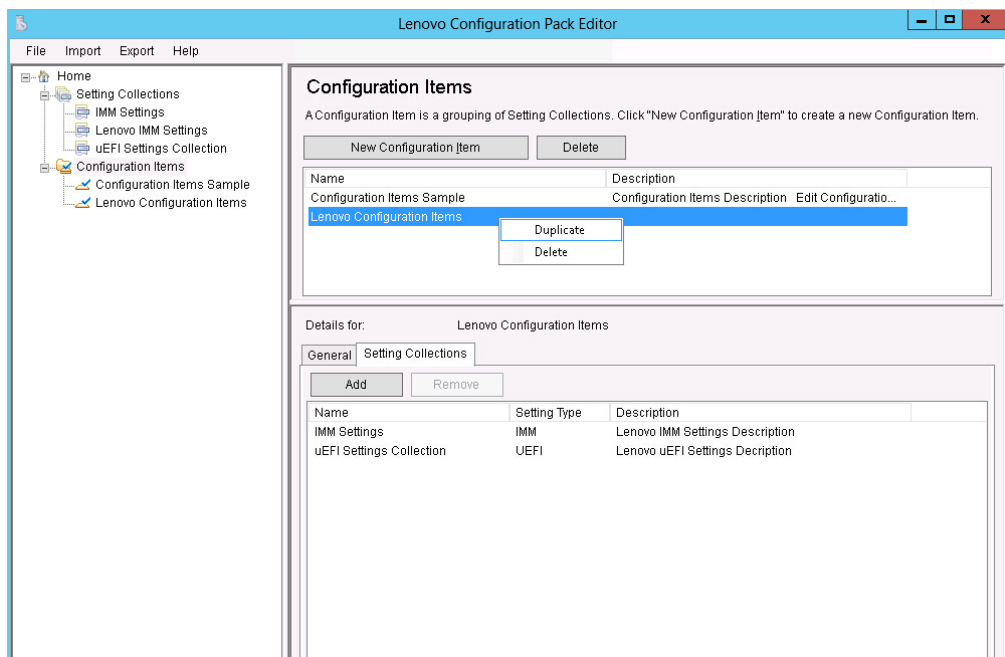


図 34. 構成項目複製機能

「Duplication Dialog (複製ダイアログ)」ウィンドウが表示されます。

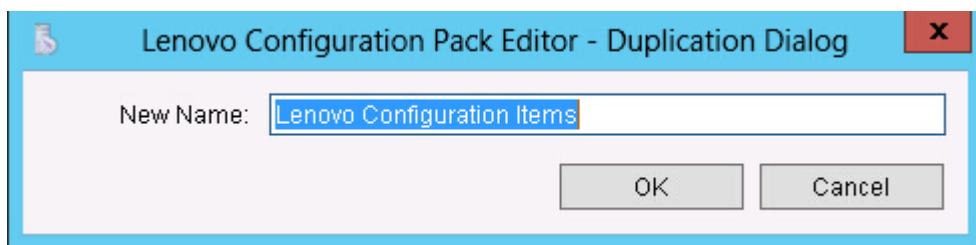


図 35. 「複製」ダイアログ・ウィンドウ

2. 「Duplication Dialog (複製ダイアログ)」ウィンドウで、構成項目の「**New Name** (新しい名前)」を入力して「**OK (OK)**」をクリックします。複製構成項目の名前は既存の構成項目と同じにすることができますが、別の名前を使用することをお勧めします。

注: 構成項目を複製後、新しい複製の構成項目は、ソース構成項目の同じ設定コレクションを参照します。

構成項目の削除

以下の手順では、構成項目の削除方法について説明します。

手順

1. ナビゲーション・ペインまたは構成項目リストで、構成項目を右クリックし、「**Delete** (削除)」をクリックします。「**Deletion Dialog** (削除ダイアログ)」ウィンドウが表示されます。

2. 「**OK (OK)**」をクリックして構成項目の削除を続行するか、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックしてこの操作を終了します。

注: 削除対象構成項目の子設定コレクションは削除されません。

構成記述ファイルに構成データをエクスポート

管理者が構成データを作成して共有できるようにするには、構成項目とその子である設定コレクションを構成記述 .xml ファイルにエクスポートします。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディター メニューから、「**Export (エクスポート)**」 > 「**To Configuration File (構成ファイルへ)**」をクリックします。

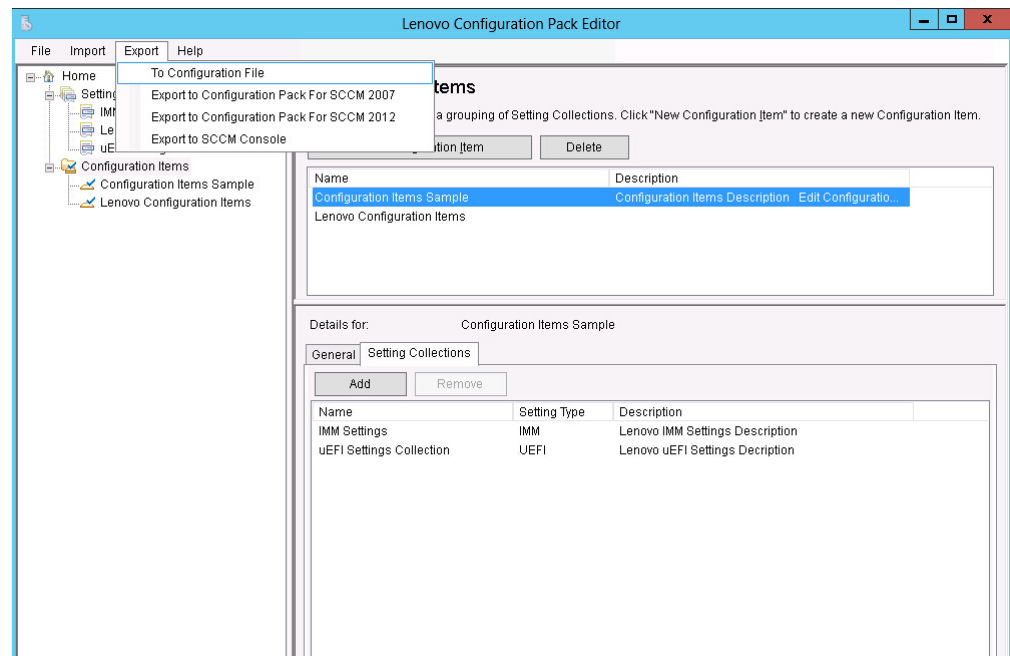


図 36. 構成ファイルへの構成データのエクスポート

「Export to Configuration Item (.xml) (構成項目 (.xml) にエクスポート)」ページが開きます。

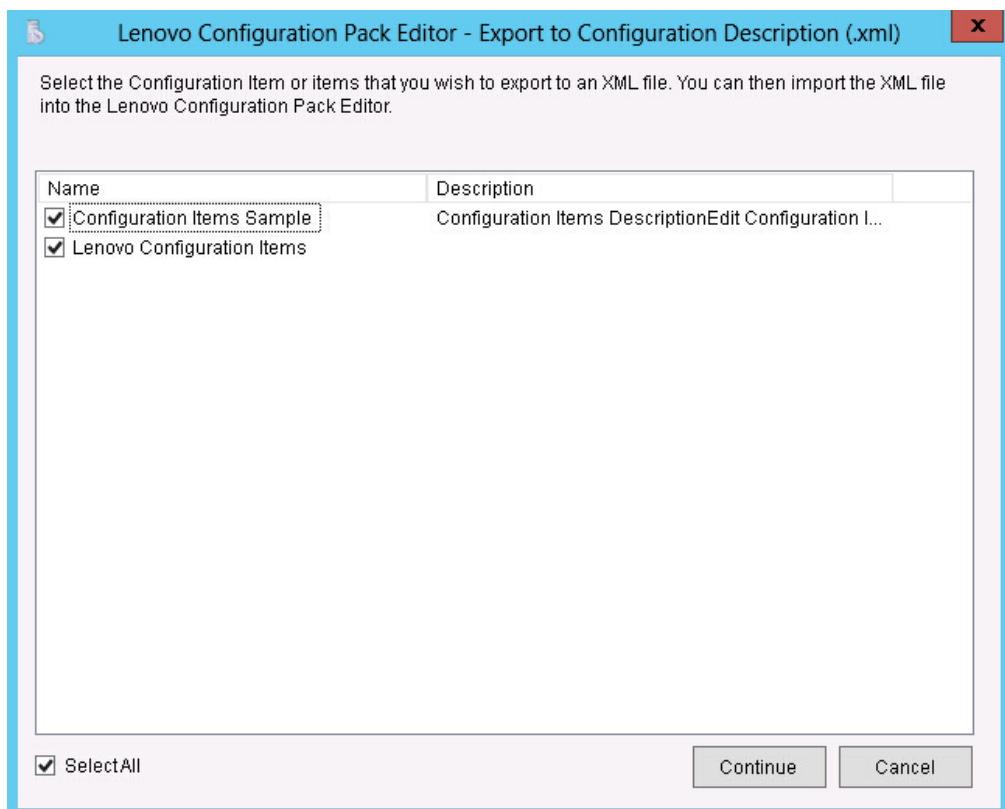


図 37. *Export to Configuration Description (.xml)* (構成記述 (.xml) にエクスポート) ページ

2. エクスポートする構成項目を選択し、「**Continue** (続行する)」をクリックします。「Export configuration description file (構成記述ファイルのエクスポート)」の「Save as (名前を付けて保存)」ウィンドウが開きます。

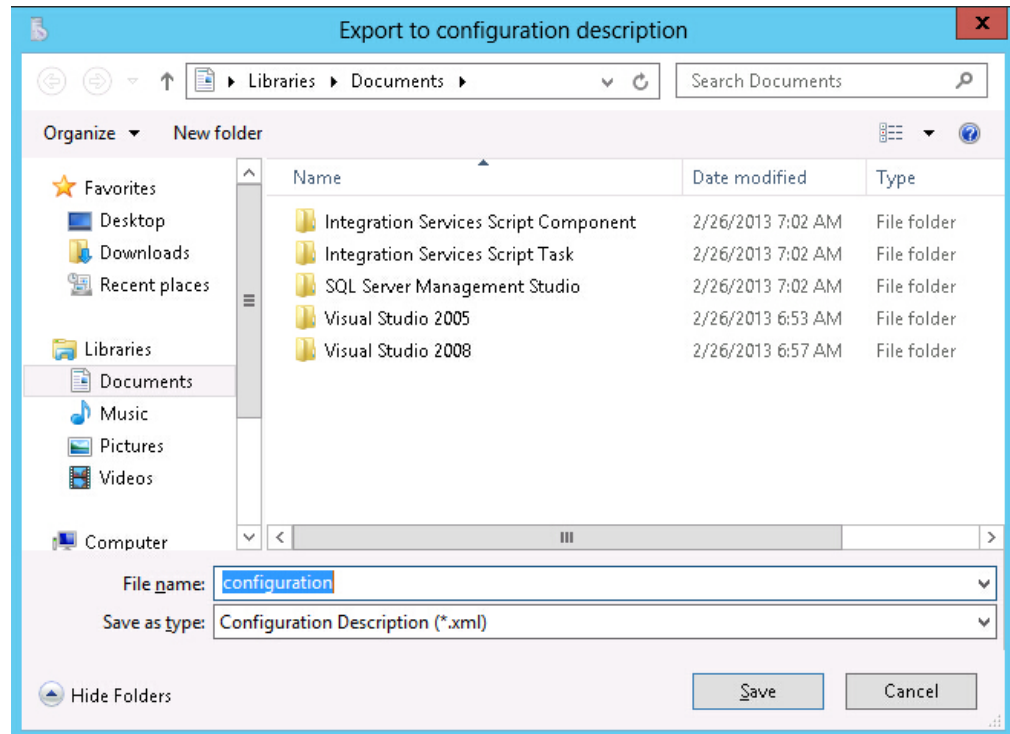


図 38. 「Export configuration description file (構成記述ファイルのエクスポート)」の「Save as (名前を付けて保存)」ウィンドウ

3. 「**File name** (ファイル名)」フィールドに名前を入力して「**Save as type** (名前をつけて保存するタイプ)」リストからファイル・タイプを選択し、「**Save** (保存)」をクリックします。 選択された構成項目の子設定コレクションも自動的にエクスポートされます。 エクスポートに成功したことを示すメッセージが表示されます。

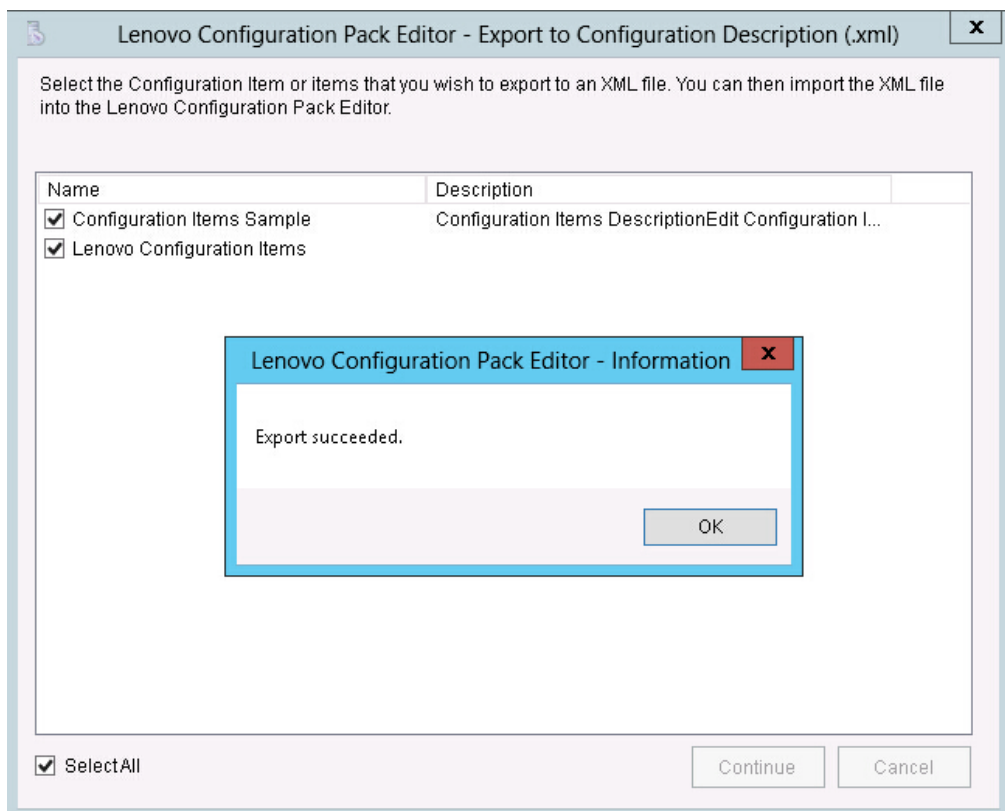


図 39. 「Export Succeeded (エクスポートが正常に完了しました)」メッセージ

4. 「OK」をクリックします。

構成記述 XML ファイルのインポート

以下の手順では、構成記述 XML ファイルのインポート方法について説明しています。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディター のメニューで、「**Import (インポート)**」
> 「**Configuration File (構成ファイル)**」の順にクリックします。

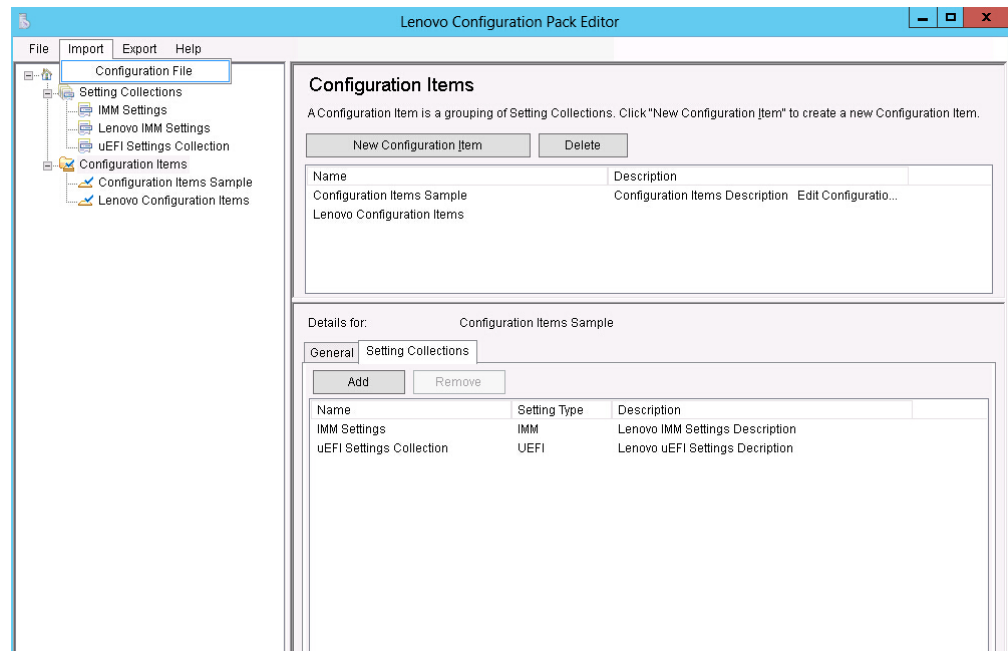


図 40. 「Import Configuration File (構成ファイルのインポート)」メニュー

「構成 XML ファイルのインポート」ウィンドウが開きます。

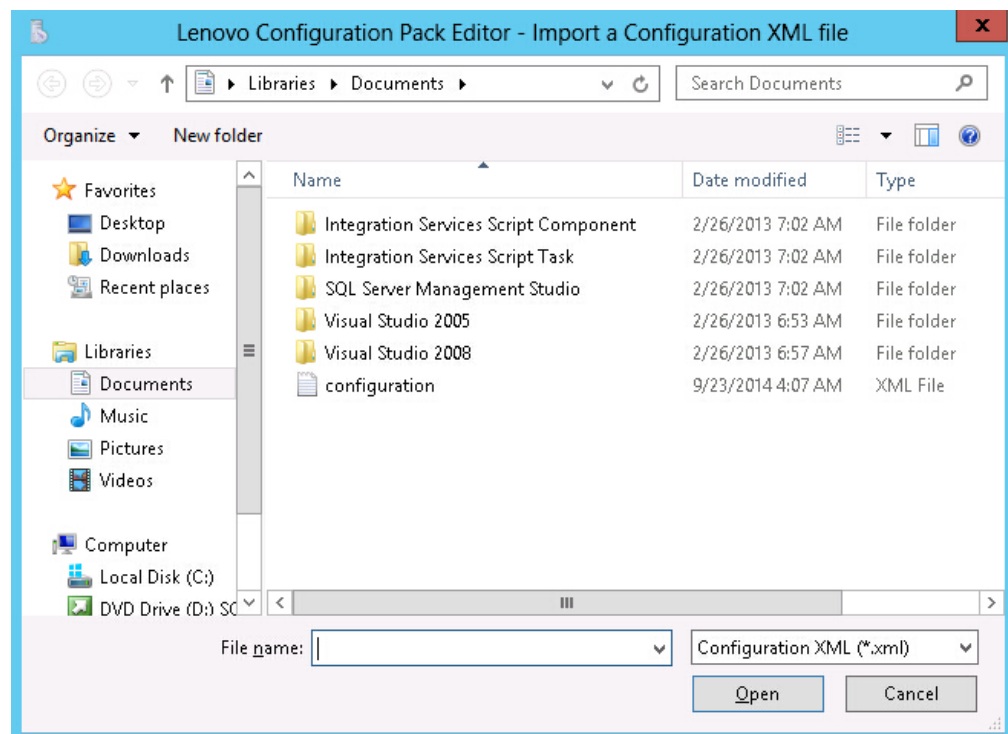


図 41. 「構成 XML ファイルのインポート」ウィンドウ

2. インポートする構成記述 XML (.xml) ファイルを選択して、「**OK (OK)**」をクリックします。「Confirm Replace (置換の確認)」ウィンドウが開きます。

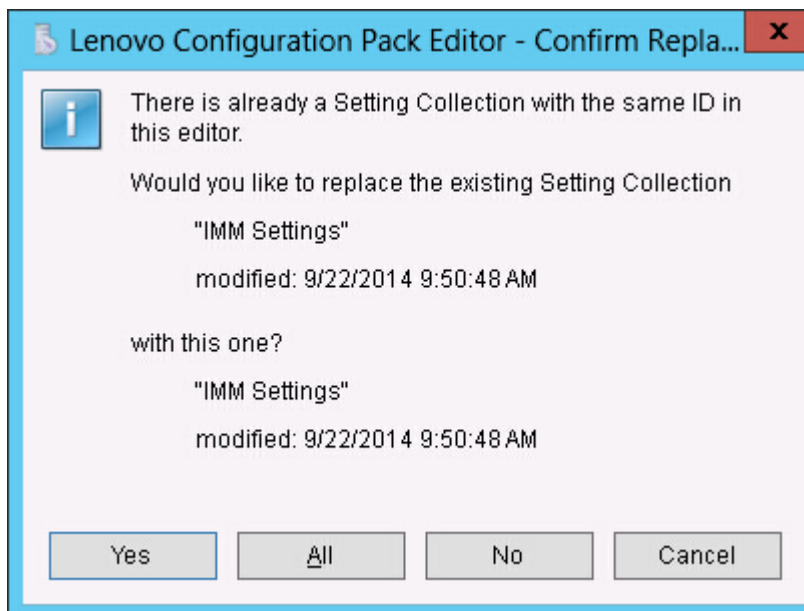


図 42. 設定コレクションの「Confirm Replace」ウィンドウ

Lenovo Configuration Pack エディターでは、すべての設定コレクションおよび構成項目に固有 ID があります。名前が異なっても同じ ID が使用されていると、「Confirm Replace Setting Collection (設定コレクションの置換を確認する)」ウィンドウが開き、既存の構成データを置換することを確認するように要求します。

注: 既存の設定コレクションと同じ ID を持つ設定コレクションを構成項目にインポートした場合、インポートされた設定コレクションによって既存の設定コレクションが置き換えられます。構成項目は、インポートされた設定コレクションを参照するようになります。ただし、その内容が以前の設定コレクションの内容と同じであるかどうかは考慮されません。

ライセンス検証状況の検査

以下の手順は、ライセンス検証状況の検査方法を説明したものです。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディターのメニューで、「**Help (ヘルプ)**」 > 「**License (ライセンス)**」の順にクリックします。

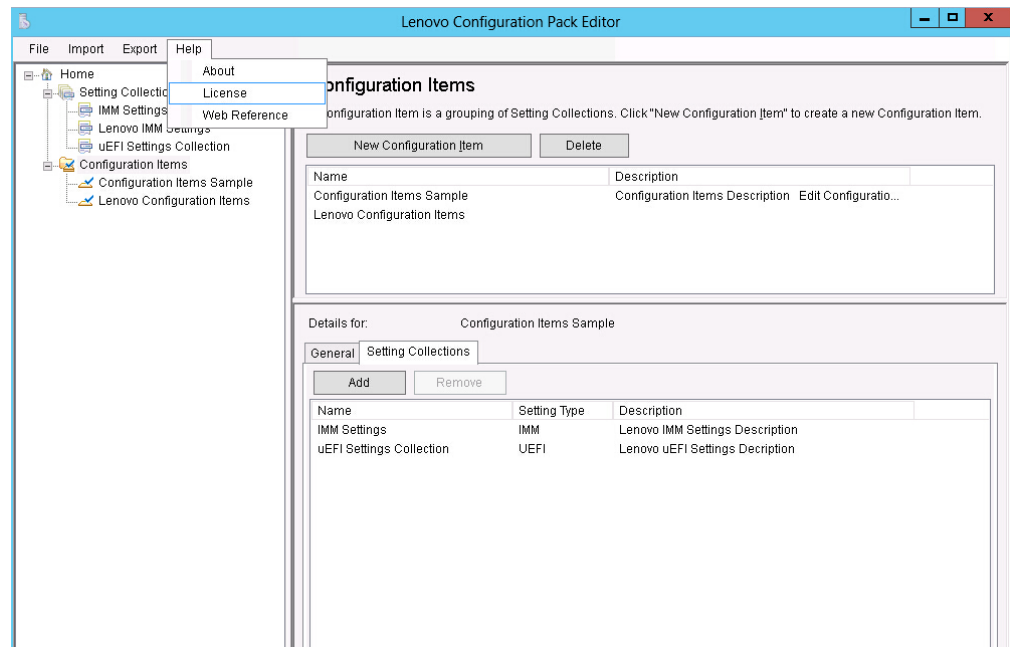


図 43. 「License (ライセンス)」メニュー・オプション

「License Entitlement (ライセンス資格)」ウィンドウが開き、ライセンス検証結果が表示されます。

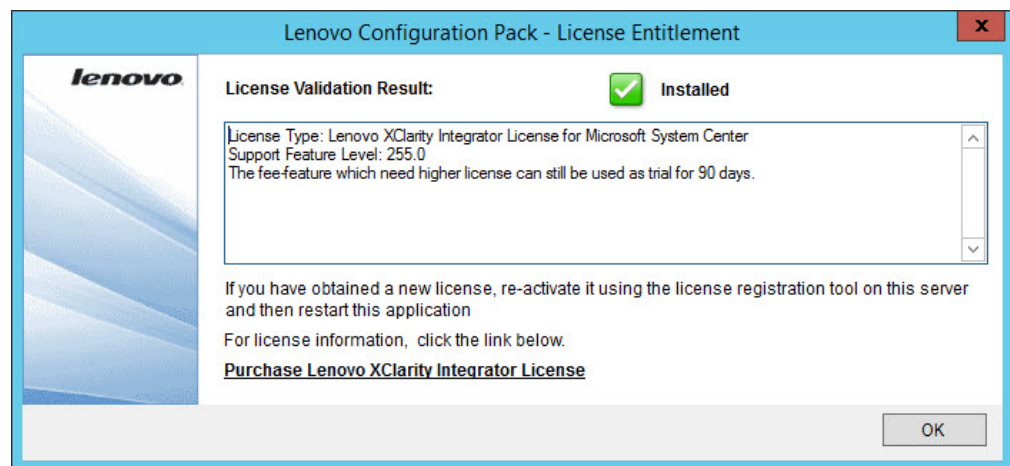


図 44. 「License Entitlement」ウィンドウ

2. 情報を確認し、「OK (OK)」をクリックしてこのページを終了します。
3. オプション: 追加のライセンス情報を表示するには、「**Purchase Lenovo XClarity Integrator License** (Lenovo XClarity Integrator ライセンスを購入してください)」をクリックします。

Lenovo Configuration Pack CAB ファイル

Lenovo Configuration Pack エディター を使用して構成項目を CAB (.cab) ファイルとして保存することにより、エクスポートできます。その後、CAB ファイルを SCCM サーバーにインポートできます。また、構成項目を SCCM クライアントにデプロイして IMM/UEFI 設定を確認することもできます。

以下のリストは、CAB ファイルを作成、インポート、デプロイする方法の概要です。

- Lenovo Configuration Pack エディター を使用して、構成項目を Lenovo Configuration Pack CAB ファイルにエクスポートします。

エクスポート機能によって、複数の構成項目およびその子 (設定コレクション) をエクスポートできます。

- 「Export to Lenovo Configuration Pack GUI configuration items (Lenovo Configuration Pack GUI 構成項目にエクスポート)」リストとその選択ボックスは、エクスポートされた構成項目およびLenovo Configuration Pack CAB ファイルのリンクで構成されています。
- その後、Lenovo Configuration Pack CAB ファイルを SCCM コンソールに DCM Configuration Pack としてインポートできます。

Lenovo Configuration Pack CAB ファイルへの構成項目のエクスポート

以下の手順では、Lenovo Configuration Pack CAB ファイルのエクスポート方法について説明します。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディター メニューから、「**Export (エクスポート)**」 > 「**Export Configuration item to Configuration for SCCM 2007 (構成項目を SCCM 2007 用の構成にエクスポート)**」 または 「**Export Configuration item to Configuration for SCCM 2012 (構成項目を SCCM 2012 用の構成にエクスポート)**」 のいずれか該当する方をクリックします。

「Export to Lenovo Configuration Pack (Lenovo Configuration Pack にエクスポート)」ページが開き、構成項目のリストがバージョン番号と簡単な説明付きで表示されます。

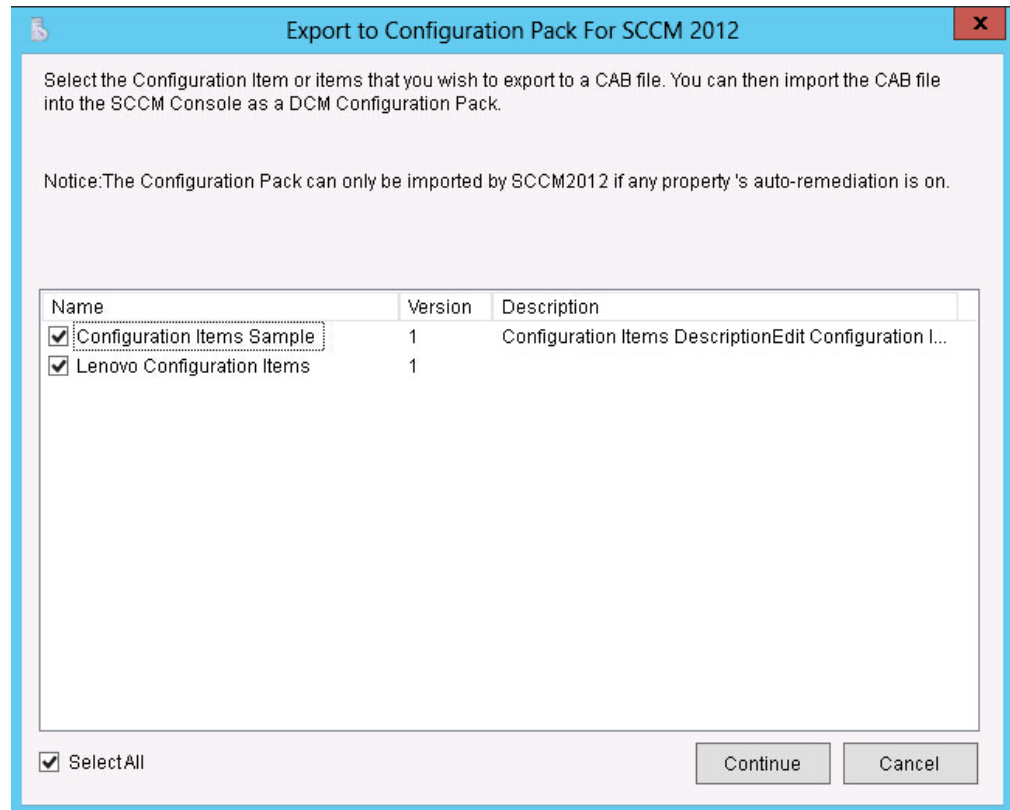


図 45. 「Export to Lenovo Configuration Pack for SCCM 2007 (SCCM 2007 用 Lenovo Configuration Pack にエクスポート)」 ページ

2. エクスポートする構成項目を個別に選択するか、「**Select All** (すべて選択)」をクリックして、「**Continue** (続行する)」をクリックします。

注: 構成項目のバージョンは、直接変更できない内部変数です。SCCM DCM は、このバージョン変数を使用して構成項目のアップグレードが必要かどうかを評価します。Configuration Manager で構成データを更新すると、以前のバージョンは上書きされ、クライアントは最新バージョンを使用して評価するようになります。

「Export to Lenovo Configuration Pack file (Lenovo Configuration Pack ファイルにエクスポート)」ウィンドウが開きます。

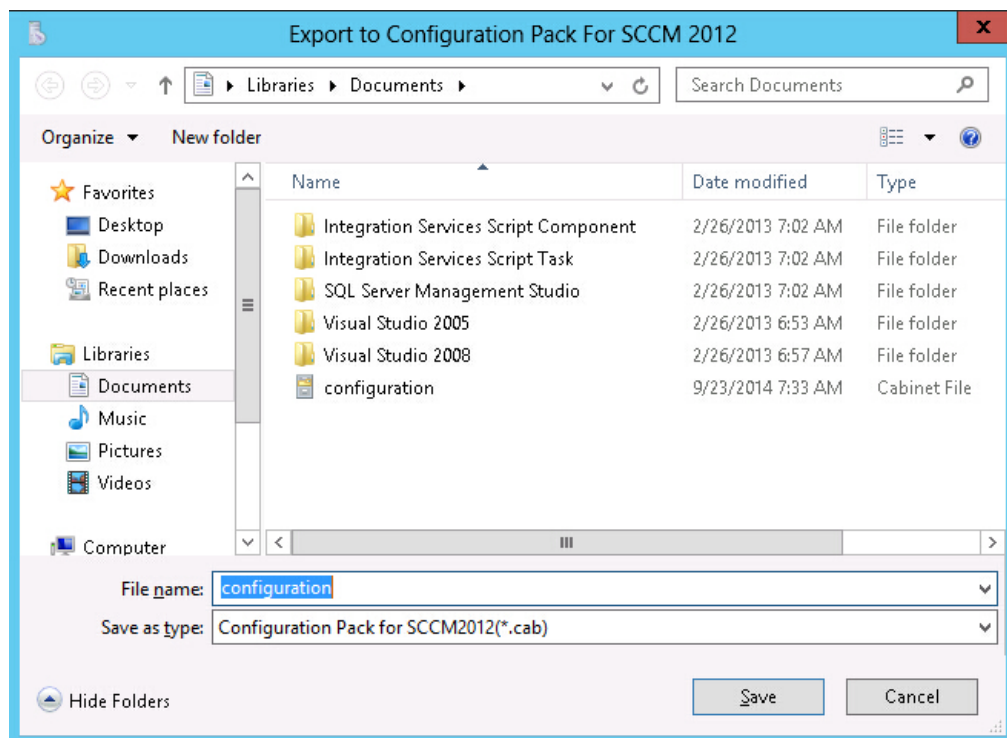


図 46. 「Export to Lenovo Configuration Pack for SCCM 2012 (SCCM 2012 用 Lenovo Configuration Pack にエクスポート)」ウィンドウ

3. 「**File name** (ファイル名)」を入力して「**Save** (保存)」をクリックします。エクスポートに成功したことを示すメッセージが表示されます。

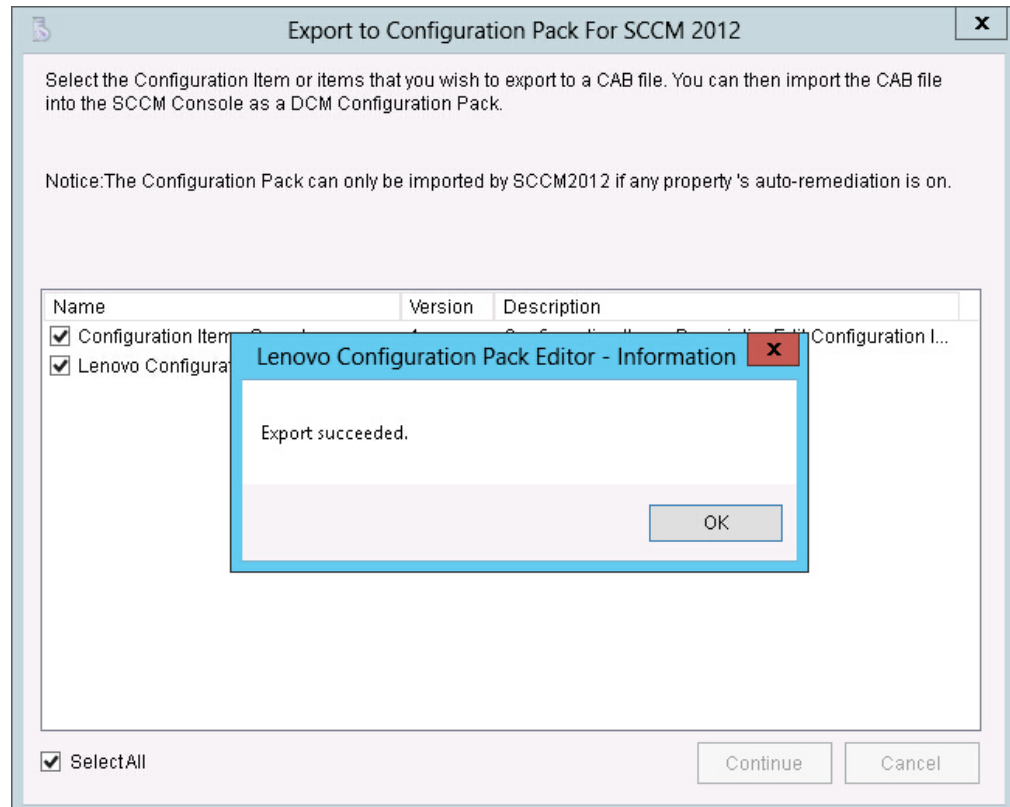


図 47. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ

4. 「OK」をクリックします。

次のタスク

構成項目のバージョンを管理する方法について詳しくは、Web ページ [TechNet ライブラリー: 必要な構成管理のコンテンツ・バージョンについて](#) を参照してください。

SCCM への構成項目のエクスポート

以下の手順は、構成項目を直接 SCCM コンソールにエクスポートする方法を説明したものです。

手順

1. Lenovo Configuration Pack エディター メニューから、「**Export (エクスポート)**」 > 「**Export to SCCM Console (SCCM コンソールにエクスポート)**」を選択します。「Select the Configuration Item (構成項目の選択)」ページが開きます。

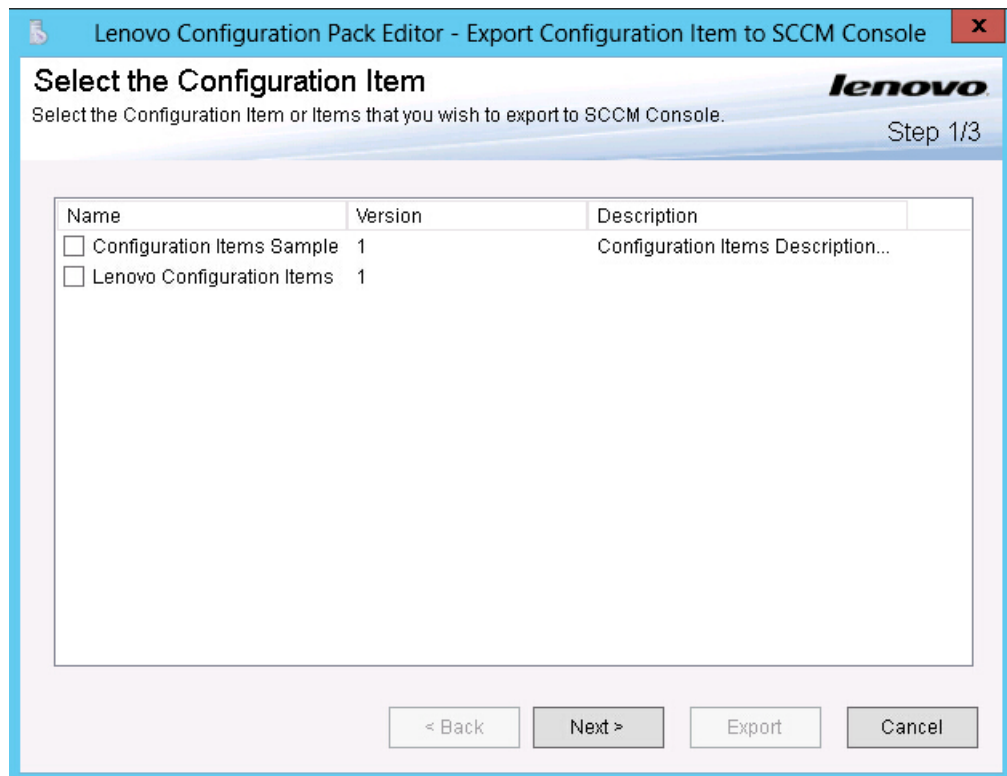


図 48. 「Select the Configuration Item (構成項目の選択)」 ページ

2. エクスポートする構成項目を選択し、「**Next** (次へ)」をクリックします。
「SCCM Console position information (SCCM コンソール位置情報)」 ページが開きます。

Lenovo Configuration Pack Editor - Export Configuration Item to SCCM Console

SCCM Console position information

Please input the machine information that the SCCM Console installed

Step 2/3

☒ The SCCM Console is on the local machine

☐ The SCCM Console is on a remote machine

Machine Name:

User Name:

Password:

< Back Next > Export Cancel

図 49. 「SCCM Console position information (SCCM コンソール位置情報)」 ページ

3. 以下のいずれかのオプションを選択します。
 - **SCCM コンソールはローカル・マシン上にあります**
 - 「**The SCCM Console is on a remote machine** (SCCM コンソールはローカル・マシン上にあります)」で、以下の情報を入力します。
 - マシン名
 - ユーザー名
 - パスワード
4. 「次へ」をクリックします。「Configuration Items Information (構成項目情報)」ページが開きます。

Lenovo Configuration Pack Editor - Export Configuration Item to SCCM Console

Configuration Items Information

Please input the prefix for the Configuration Items and select Configuration Item type. Then click "Export". It may take a while.

Step 3/3

☒ Add a prefix name for the Configuration Items.

New

Please choose the right type for the Configuration Item

☐ For SCCM2007

☒ For SCCM2012

< Back Next > Export Cancel

図 50. 「Configuration Items Information (構成項目情報)」 ページ

5. 以下のステップを実行してください。
 - a. 「**Add a prefix name for the configuration items** (構成項目のプレフィックス名を追加します)」を選択します。
 - b. プレフィックス名を入力します。
 - c. 構成項目の対応する SCCM コンソール・タイプを選択します。
 - SCCM2007 の場合
 - SCCM2012 の場合
6. 「**エクスポート**」をクリックします。「Export succeeded (エクスポートに成功しました)」というメッセージが表示されます。

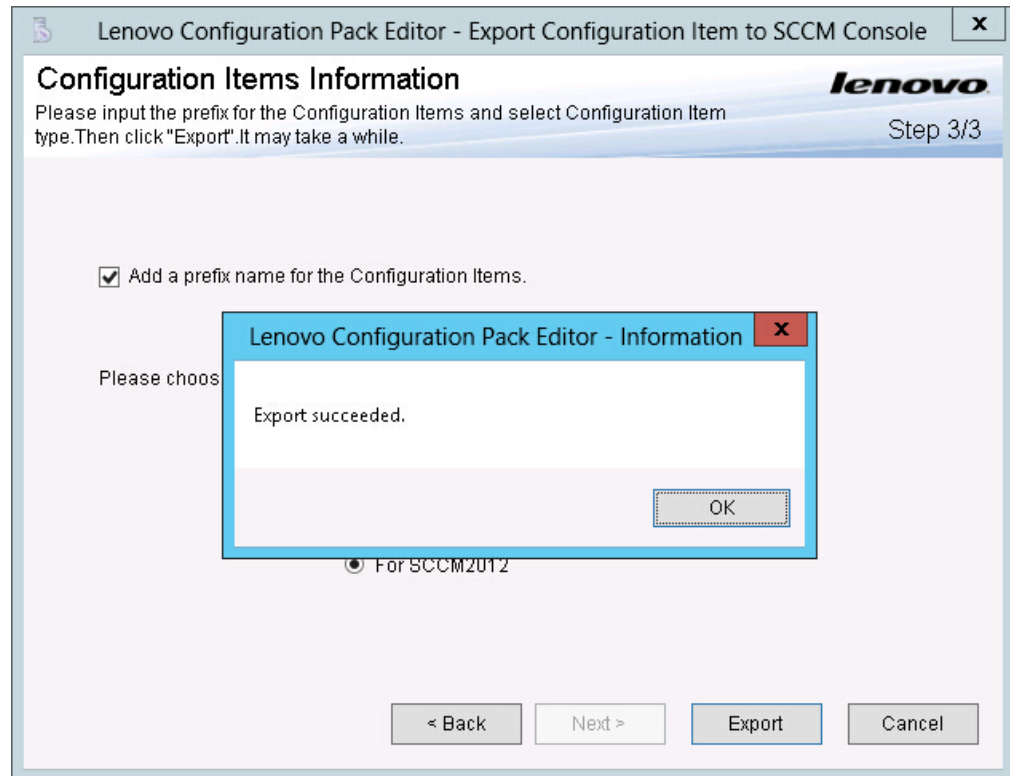


図 51. 「エクスポートが正常に完了しました」ウィンドウ

7. 「OK (OK)」をクリックして「Information (情報)」ウィンドウを閉じます。
8. 「完了」をクリックします。

Microsoft System Center Configuration Manager 2007 コンソールを使用した Lenovo Configuration Pack の適用

このセクションでは、Configuration Manager Console を使用して構成データを Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)サーバーにインポートする方法について説明します。

構成データの DCM へのインポート

以下の手順では、構成データを 必要な構成管理 (DCM) にインストールする方法について説明しています。

手順

1. Configuration Manager Console を開いて「**Desired Configuration Management** (必要な構成管理)」を展開します。

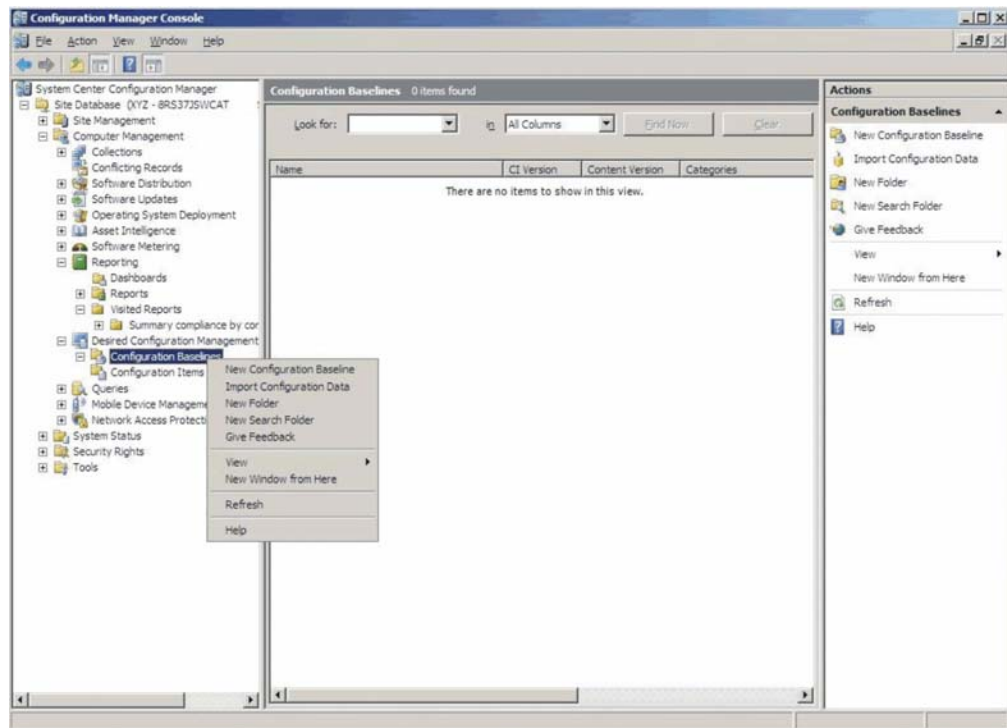


図 52. 「Import Configuration Data (構成データのインポート)」の選択

2. 「**Configuration Baselines** (構成基準)」または「**Configuration Items** (構成項目)」を右クリックして、「**Import Configuration Data** (構成データのインポート)」をクリックします。「Import Configuration Data Wizard (構成データのインポート・ウィザード)」ウィンドウが開きます。

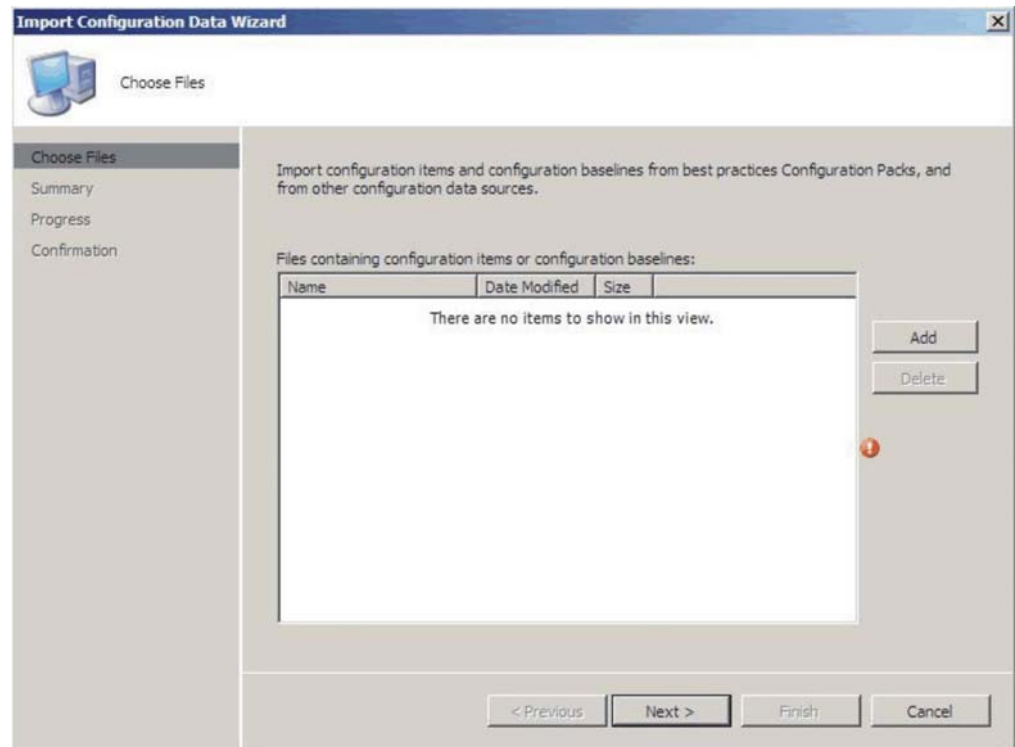


図 53. 構成データのインポート・ウィザード

3. 「追加」をクリックして、エクスポートされた Lenovo Configuration Pack .cab ファイルを選択します。「Open .cab file (.cab ファイルを開く)」ウィンドウが表示されます。

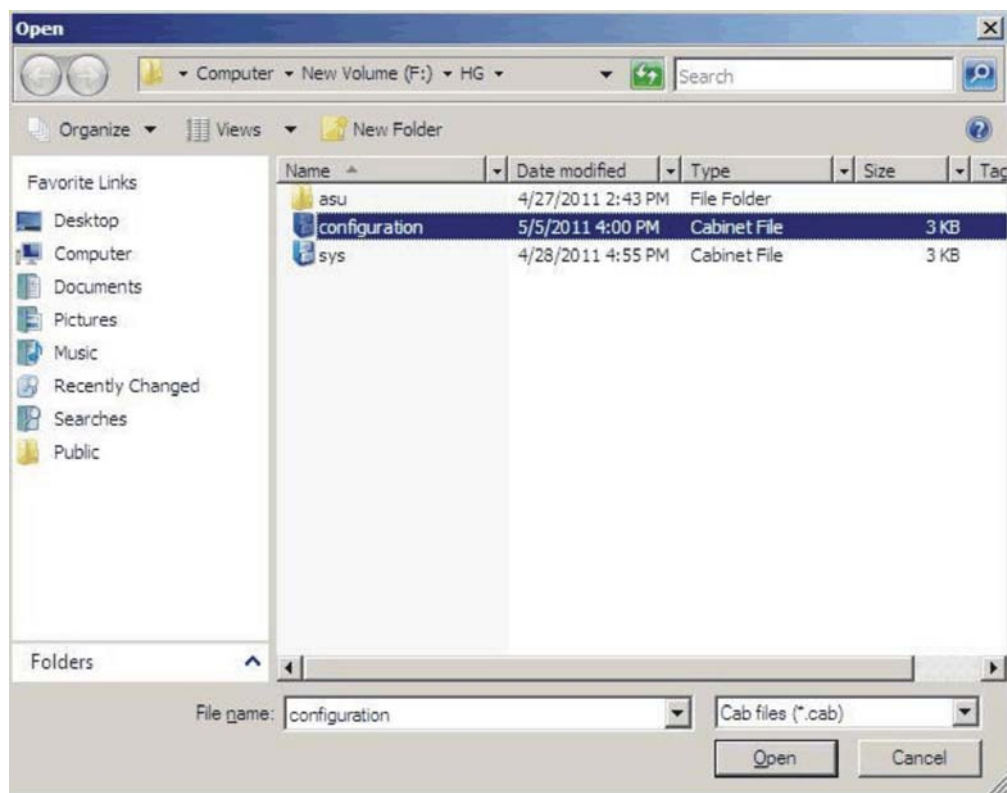


図 54. .cab ファイルの選択

4. 「**configuration.Cabinet File** (configuration.Cabinet ファイル)」をクリックして「**Open** (開く)」をクリックし、ファイルをインポートします。「Authenticode 署名の確認をスキップしますか? (Skip Authenticode signature check?)」ウィンドウが開きます。

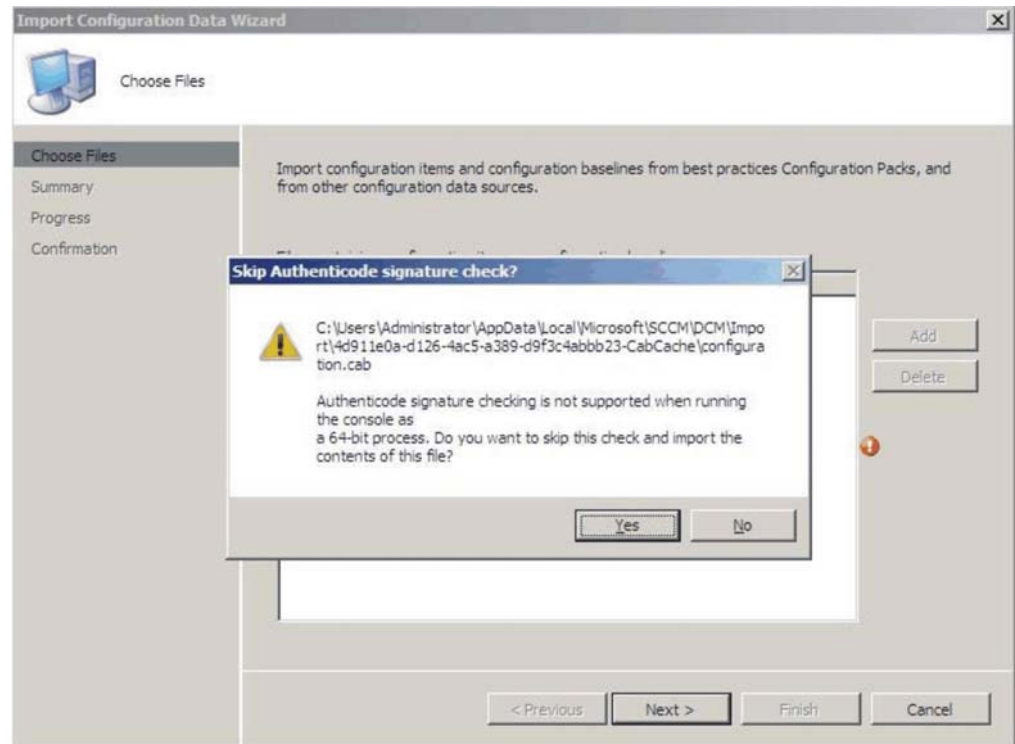


図 55. 「Skip Authenticode Signature Check? (Authenticode 署名の確認をスキップしますか?)」ウィンドウ

5. 「Yes (はい)」をクリックして署名の確認をスキップし、「Choose Files (ファイルの選択)」ページに戻ります。 Configuration.cab ファイルがリストに表示されます。

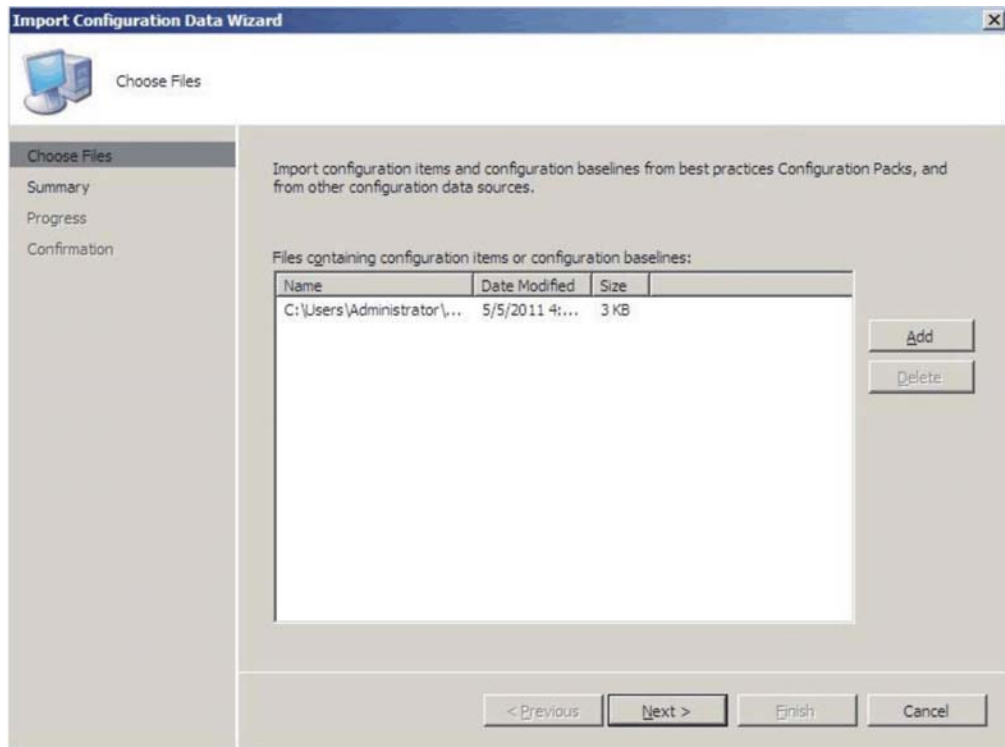


図 56. 選択した .cab ファイルのインポート

6. 「**Next** (次へ)」をクリックして .cab ファイルをインポートします。構成項目が詳細ウィンドウに表示されます。

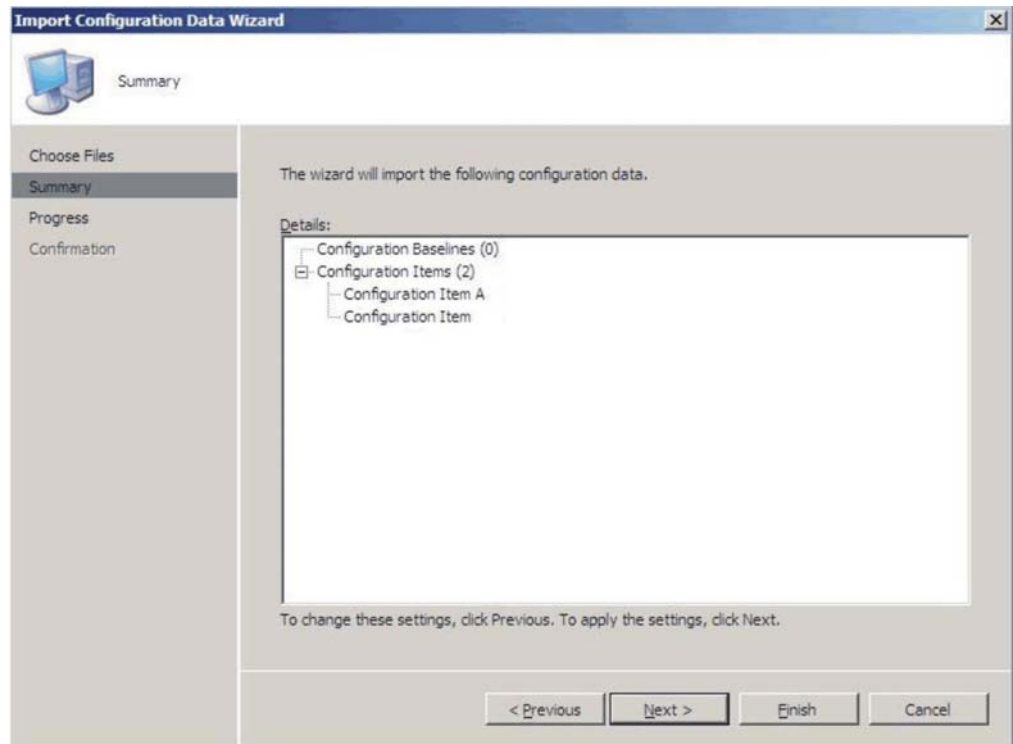


図 57. インポートされた構成項目

7. 「**Next** (次へ)」をクリックして設定を適用します。構成データが正常にインポートされたことを示すメッセージが表示されます。

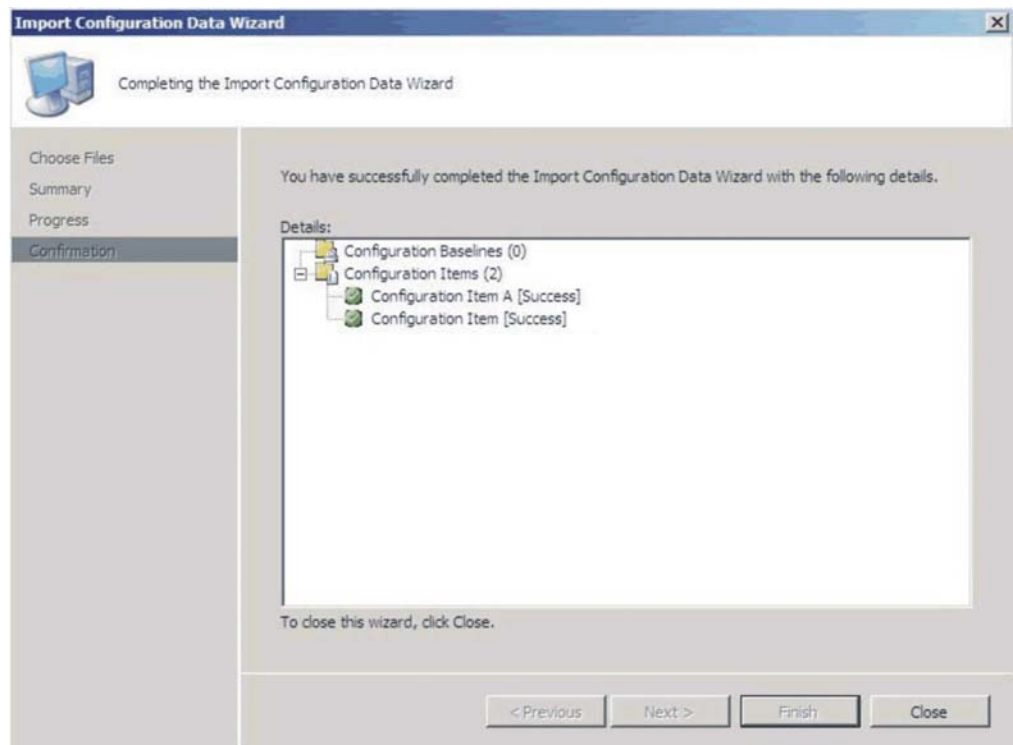


図 58. 正常終了ページ

8. 「**Finish** (完了)」をクリックして「Import Configuration Data Wizard (構成データのインポート・ウィザード)」を終了し、Configuration Manager Consoleに戻ります。
9. ナビゲーション・ペインで「**Configuration Items** (構成項目)」を右クリックして、「**Refresh** (最新の情報に更新)」をクリックします。 インポートされた構成項目が中央ペインに表示されます。

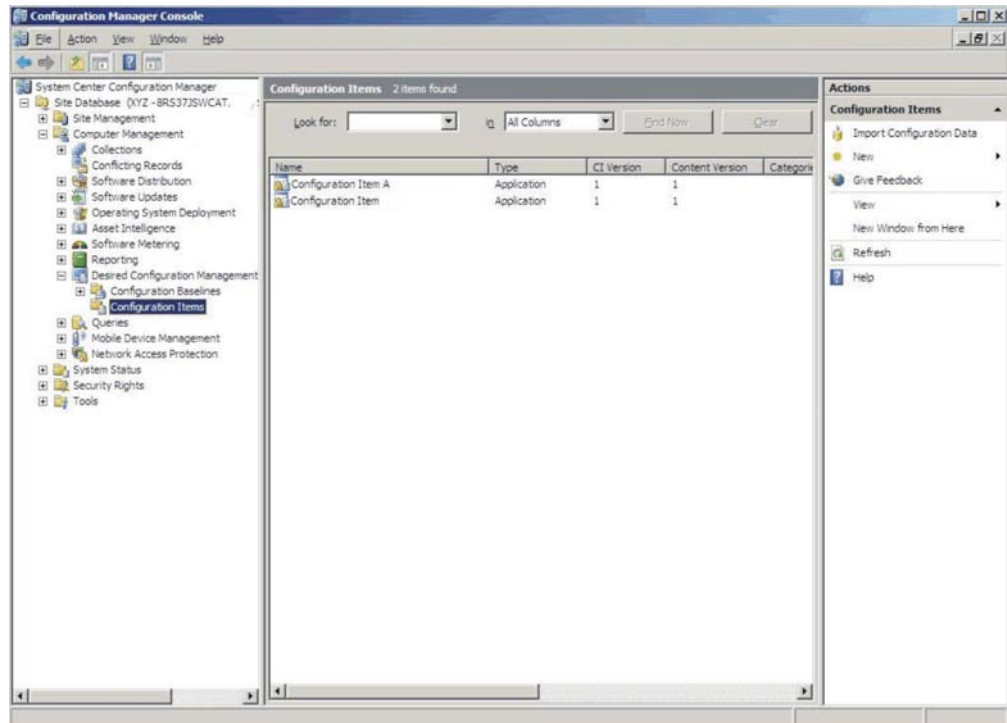


図 59. Configuration Manager Console でのインポートされた構成項目

注: インポートされた構成項目は「Lock (ロック)」状況にある場合があります。状況が「Lock (ロック)」になっている原因は、以下のいずれかです。

- 構成データが読み取り専用である。
- 構成データが SCCM コンソール管理者によって作成されたものではない。

構成項目プロパティの表示

構成項目プロパティの表示および編集方法について以下の手順で説明します。

手順

1. 構成項目のプロパティを表示するには、「Configuration Items (構成項目)」リストから「**configuration item** (構成項目)」をダブルクリックします。「Lenovo Configuration Item Properties (Lenovo 構成項目のプロパティ)」ページが開きます。
2. 「**Settings** (設定)」タブをクリックします。「**Settings** (設定)」タブには、選択した設定項目に関連する設定のリストがあります。

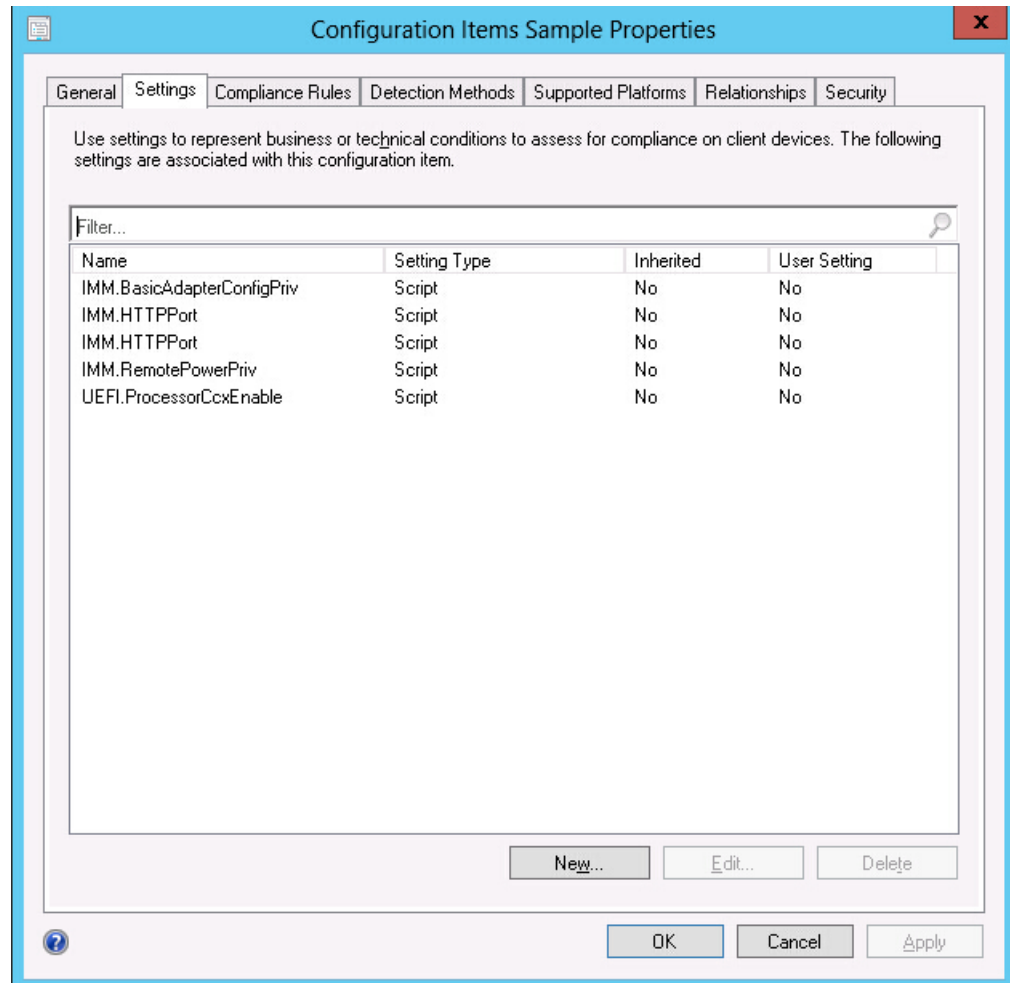


図 60. 「設定」タブ

3. 設定を表示するには、設定をダブルクリックするか、または設定を右クリックして「**Edit** (編集)」をクリックします。
4. 「**Detection Methods** (検出方法)」タブをクリックします。

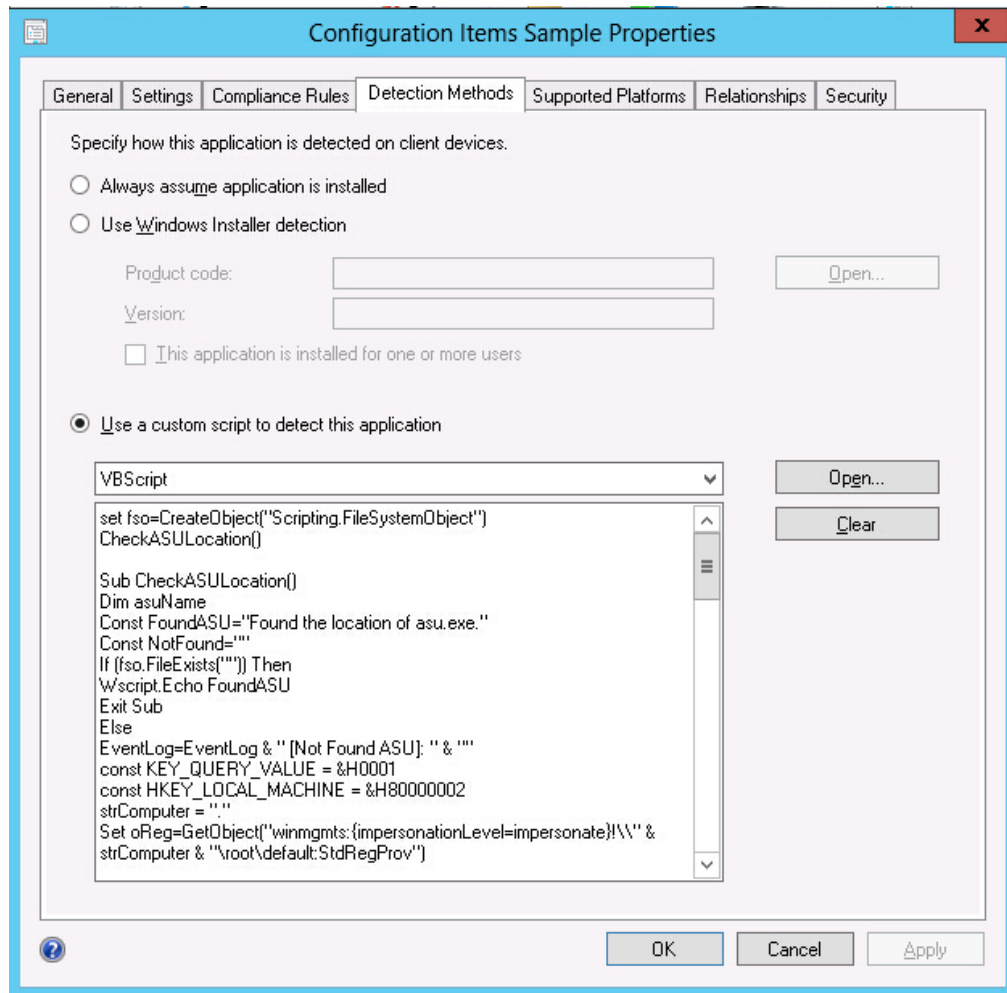


図 61. 「検出方法」タブ

「**Detection Method** (検出方法)」タブでは、構成項目ごとに検出方法をリストしています。「**Detection Methods** (検出方法)」では、エンドポイントに **ASU.exe** ファイルが存在するかどうかを検査されます。**ASU.exe** が存在しない場合は、構成項目は「**Not Detected** (検出されませんでした)」状態を返し、子設定グループの検証は停止します。

5. 構成項目プロパティの表示を終了するときは、「**OK (OK)**」をクリックします。

基準の作成

構成項目は基準を使用してエンドポイントに割り当てられます。次の手順では、エンドポイントで検証するすべての構成項目を含む基準の作成方法を説明します。

手順

1. Configuration Manager Consoleで 必要な構成管理 を展開し、「**Configuration Baselines** (構成基準)」を右クリックして「**New Configuration Baseline** (新しい構成基準)」をクリックします。

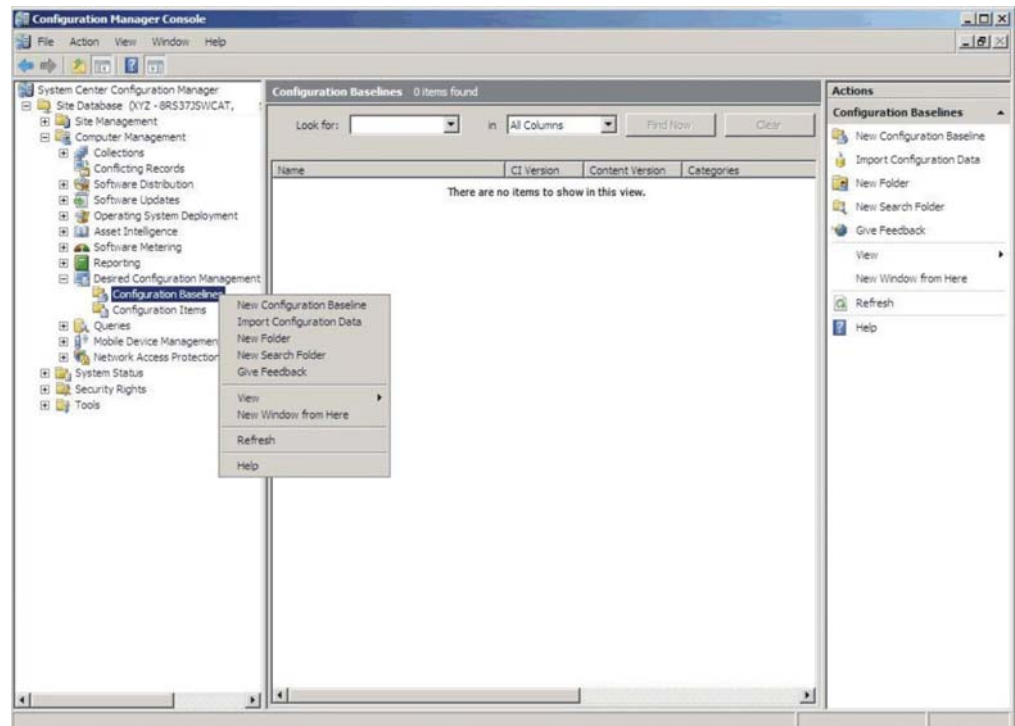


図 62. 新しい構成基準機能

「Create 構成基準 (構成基準の作成)」ウィザードが開きます。

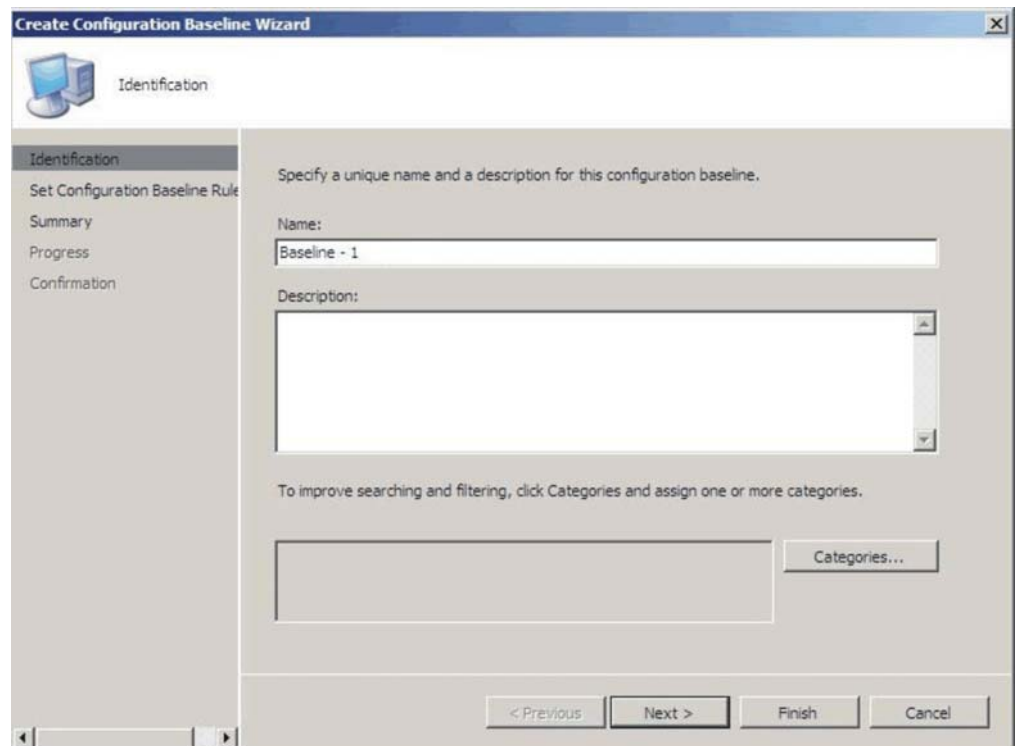


図 63. 「構成基準の作成」ウィザード

2. 基準用の固有の「**Name** (名前)」と「**Description** (説明)」 (オプション) を入力して「**Next** (次へ)」をクリックします。
3. 「**applications and general** (アプリケーションと一般)」リンクをクリックして、検証する構成項目を選択します。

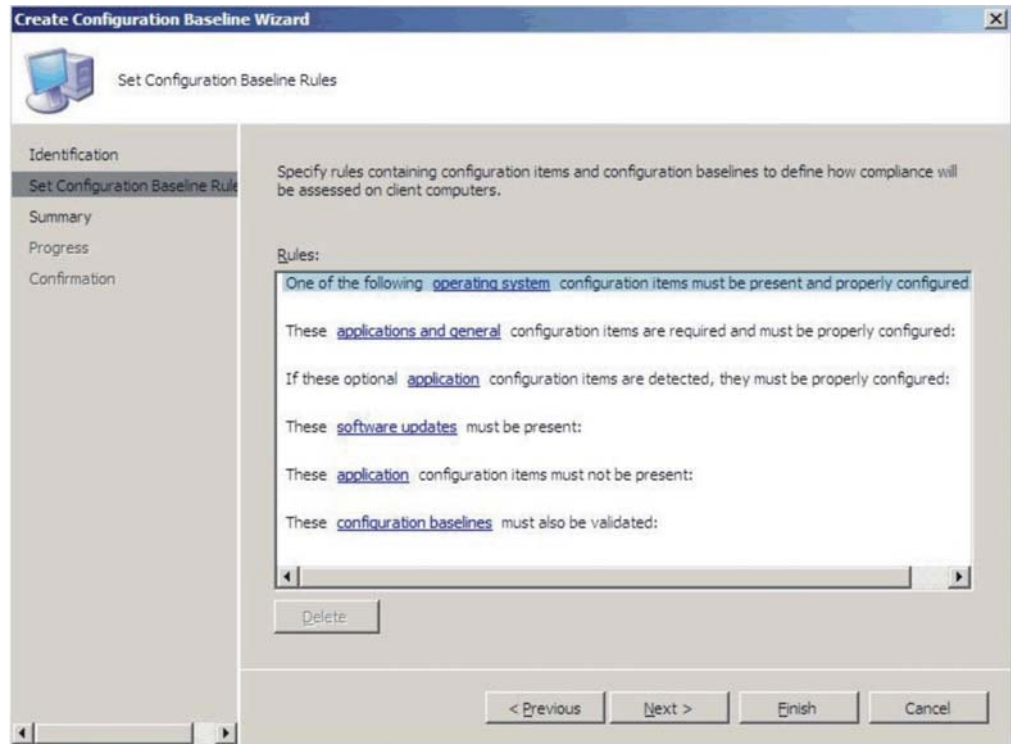


図 64. 「アプリケーションと一般」リンク

「Choose configuration items (構成項目の選択)」ページが開きます。

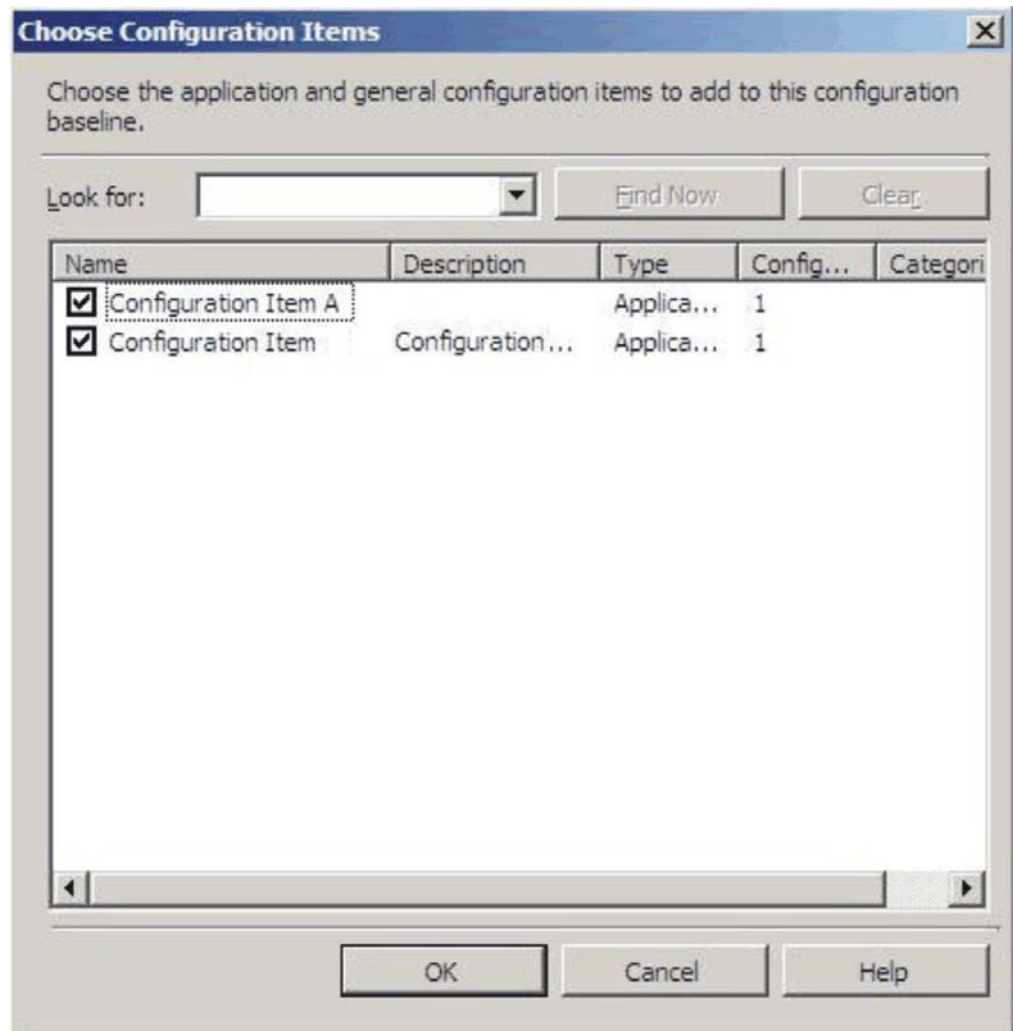


図 65. 「Choose configuration items (構成項目の選択)」 ページ

4. エンドポイントで検証する構成項目を選択して「**OK (OK)**」をクリックします。
選択された構成項目が「**applications and general** (アプリケーションと一般)」リンクの下に表示されます。

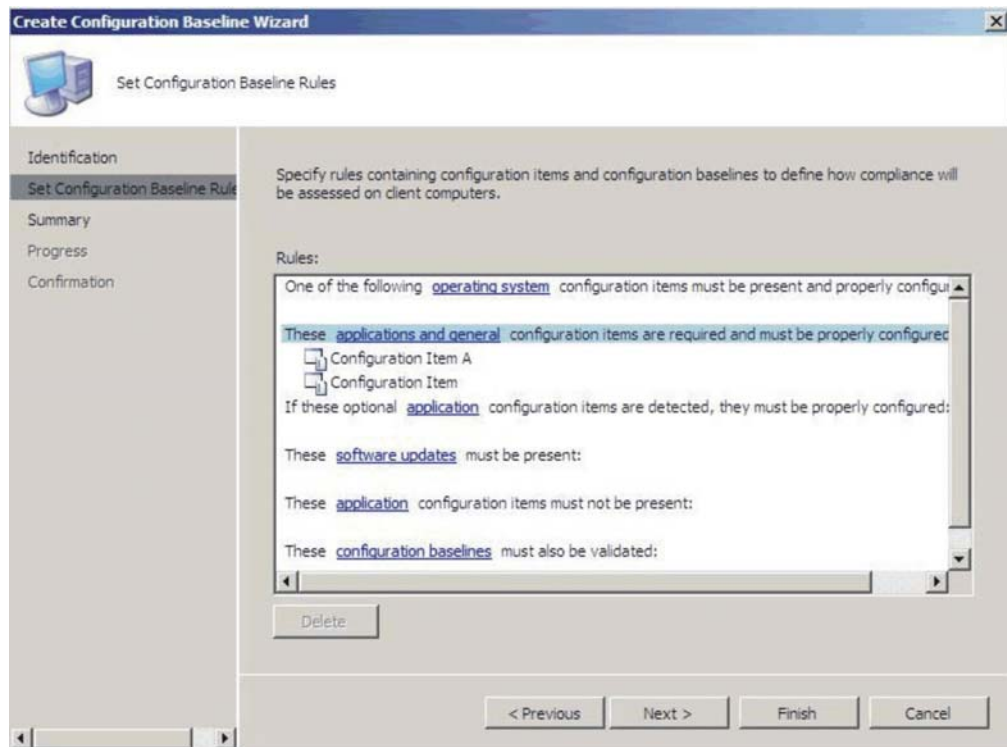


図 66. 「Applications and general (アプリケーションと一般)」 リンクの構成項目

5. 「**Finish** (完了)」をクリックして「Create Configuration Baseline Wizard (構成基準作成ウィザード)」を終了します。

コレクションへの基準の割り当て

基準をコレクションに割り当ててそのコレクションのクライアントの設定を確認できます。以下の手順は、基準を直接コレクションに割り当てる方法を説明したものです。

手順

1. Configuration Manager Consoleで、新しい基準を右クリックして「**Assign to a Collection** (コレクションに割り当てる)」を選択します。

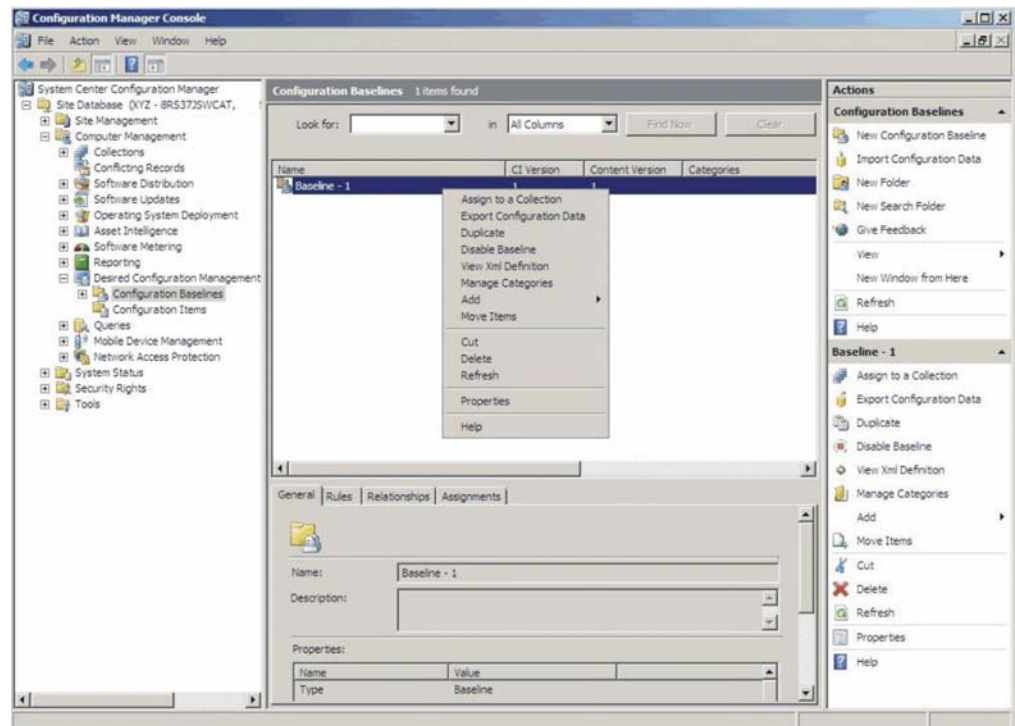


図 67. 「コレクションに割り当てる」機能

「Assign 構成基準 (構成基準の割り当て)」ウィザードの「Choose Collection (コレクションの選択)」ページが開きます。

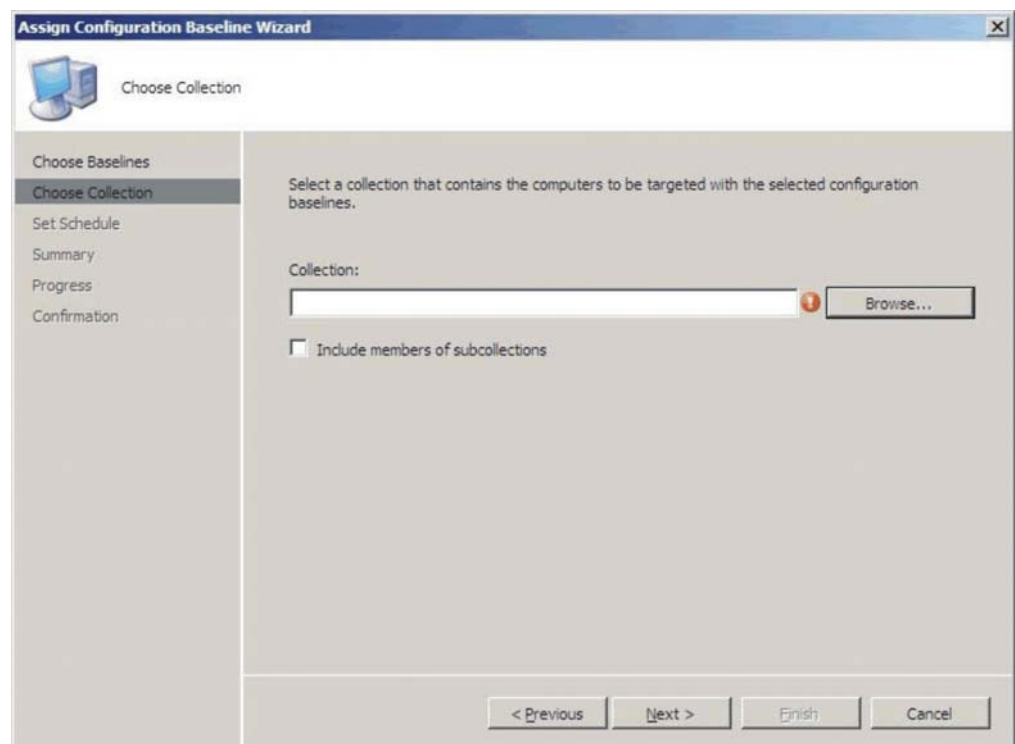


図 68. 「Choose Collection (コレクションの選択)」ページ

2. 「**Browse** (参照)」をクリックしてターゲットのクライアント・コレクションを選択し、「**Next** (次へ)」をクリックします。

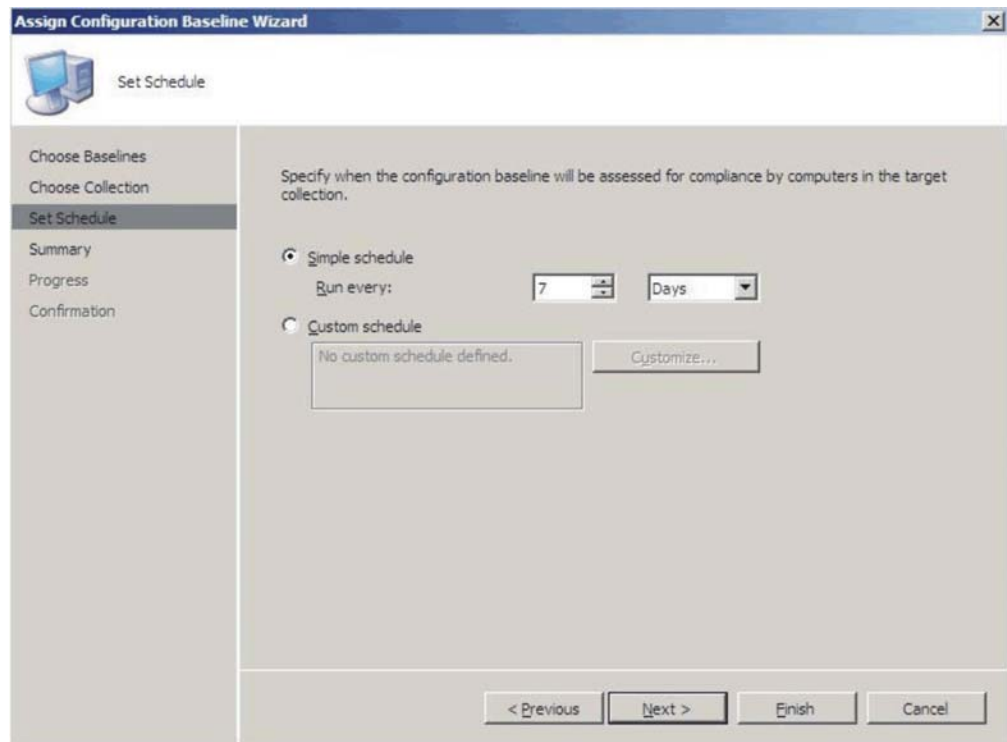


図 69. 「Set Schedule (スケジュールの設定)」 ページ

3. 基準の検証のスケジュールを選択します。
 - 単純なスケジュール
 - カスタム・スケジュール
4. 「**Finish** (終了)」をクリックして「Assign 構成基準 (構成基準の割り当て)」ウィザードを終了します。

エンドポイントの基準の評価

基準とその子構成項目は、作成または選択されたスケジュールに従って自動評価されます (構成項目の設定が検査されます)。次のようにして前倒しで評価もできます。

手順

1. 確実にエンドポイントが SCCM サーバー上で検出され、SCCM クライアント・エージェントがインストールされるように、適切なエンドポイントを選択します。
 - 32 ビット・エンドポイントの場合は、「**Control Panel (コントロール パネル)**」 > 「**Configuration Manager (Configuration Manager)**」 をクリックします。

- 64 ビット・エンドポイントの場合は、「**Control Panel (コントロール パネル)**」 > 「**View 32-bit Control Panel Items (32 ビットのコントロール パネルの項目の表示)**」 > 「**Configuration Manager (Configuration Manager)**」をクリックします。

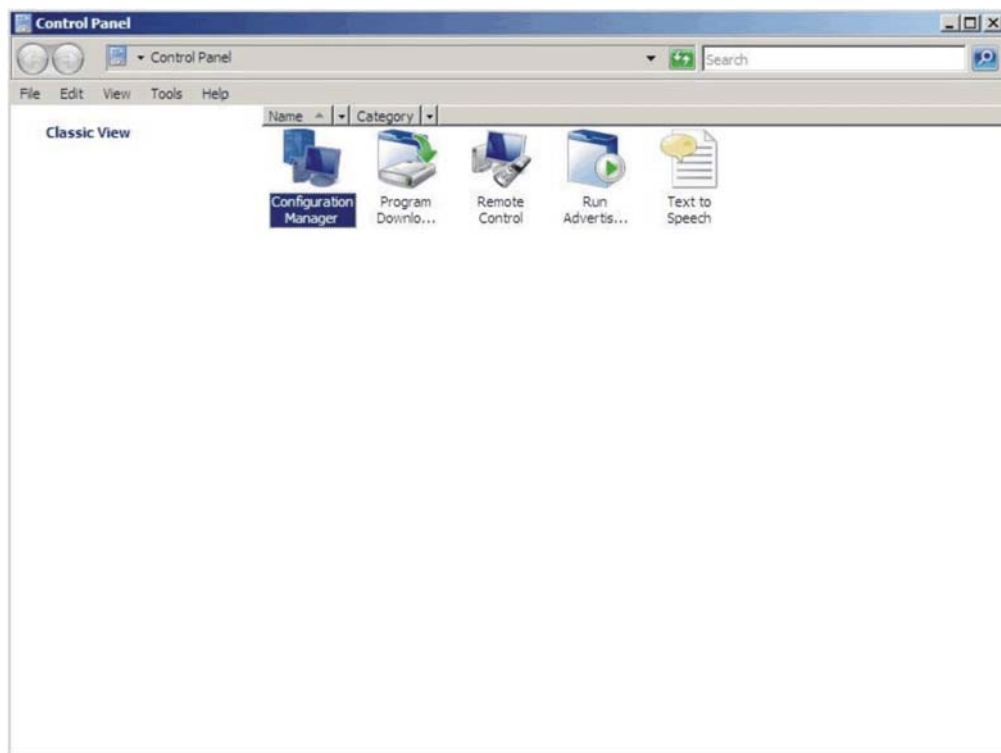


図 70. 「コントロール パネル」フォルダー内の *Configuration Manager*

「Configuration Manager Properties (Configuration Manager のプロパティ)」ウィンドウが開きます。

2. 「**Actions (動作)**」タブで「**Machine Policy Retrieval & Evaluation Cycle (コンピューター ポリシーの取得および評価サイクル)**」を選択して、「**Initiate Action (動作の開始)**」をクリックします。アクションが開始されたことを通知するメッセージが表示されます。

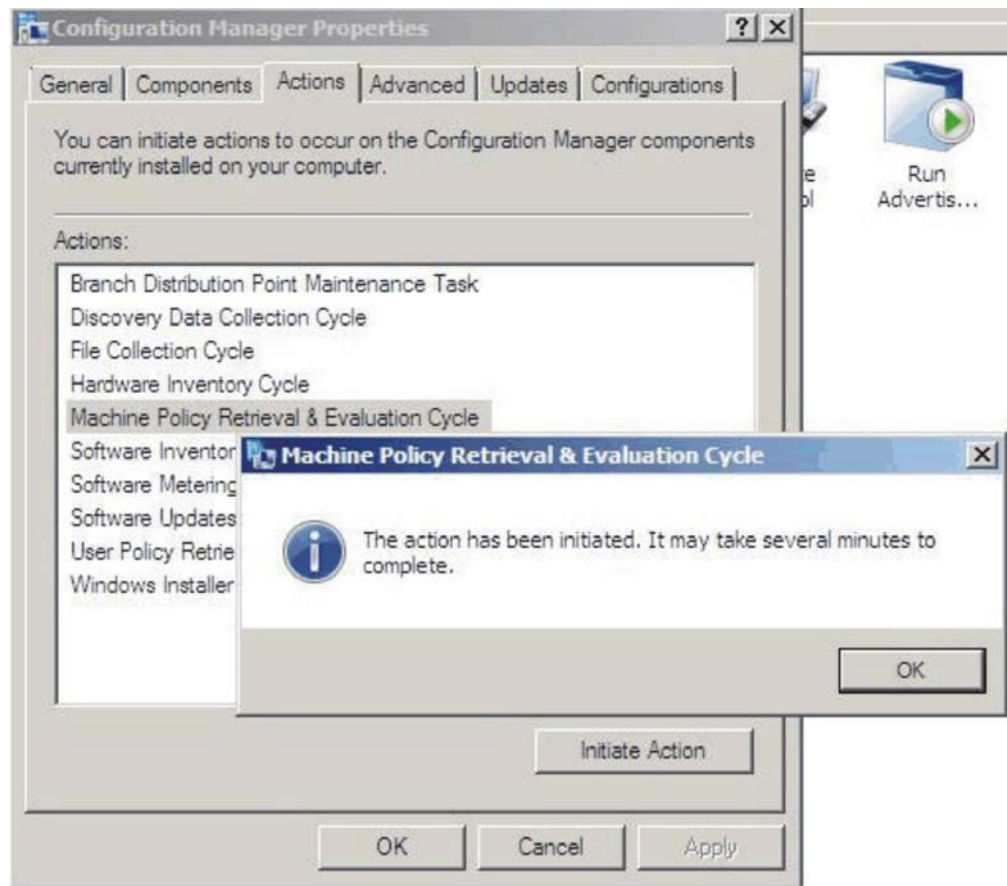


図 71. アクションが開始されたことを示すウィンドウ

3. 「**OK**」をクリックします。数分後、「**Configurations (構成)**」タブの下に基準が表示されます。
4. 基準が表示されない場合は、「**Refresh (最新の情報に更新)**」をクリックします。

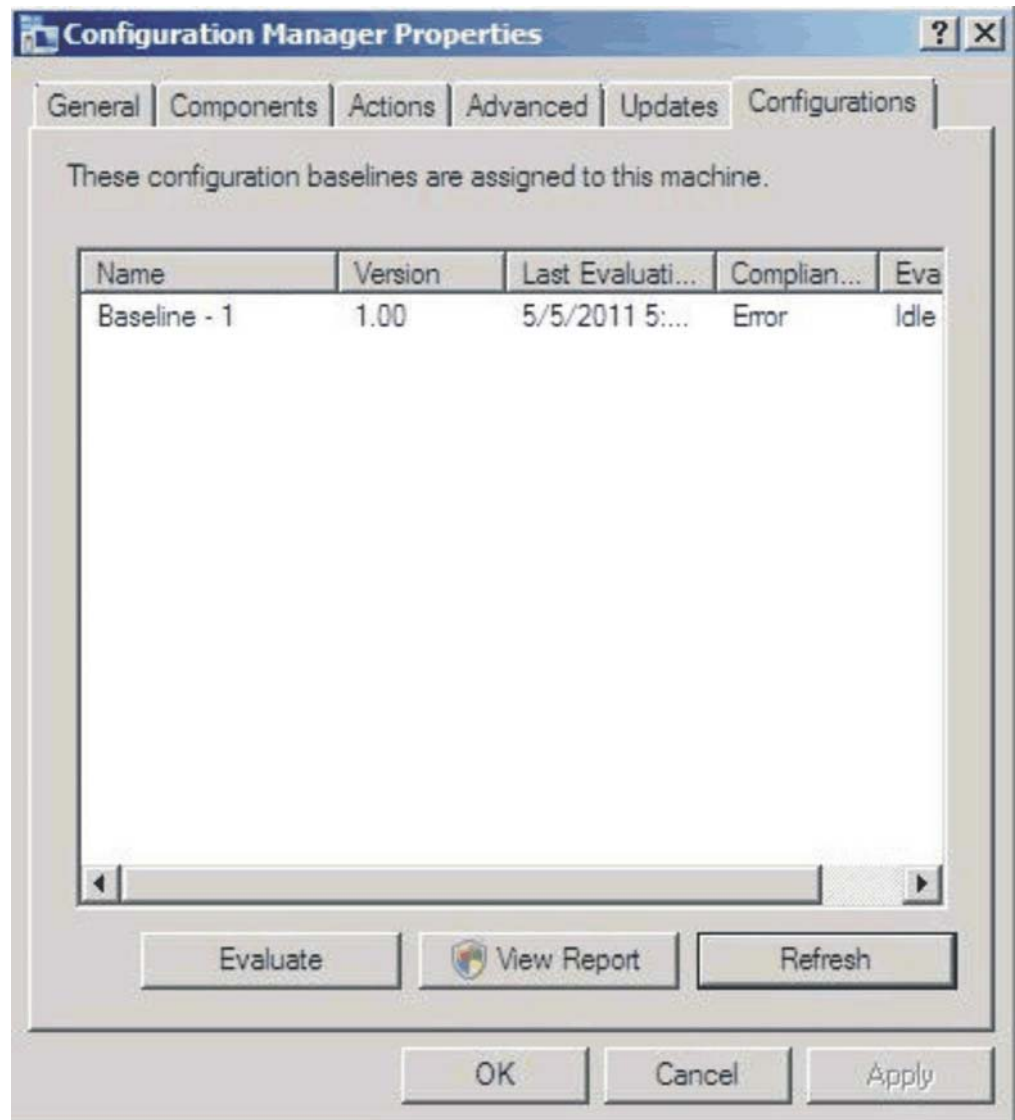


図 72. 「構成」 タブ

注: 「構成基準 (構成基準)」 リスト・ビューに基準がすぐに表示されない場合は、次の図に示すように、SCCM クライアント・エージェントが Configuration Manager Console にあることを確認してください。

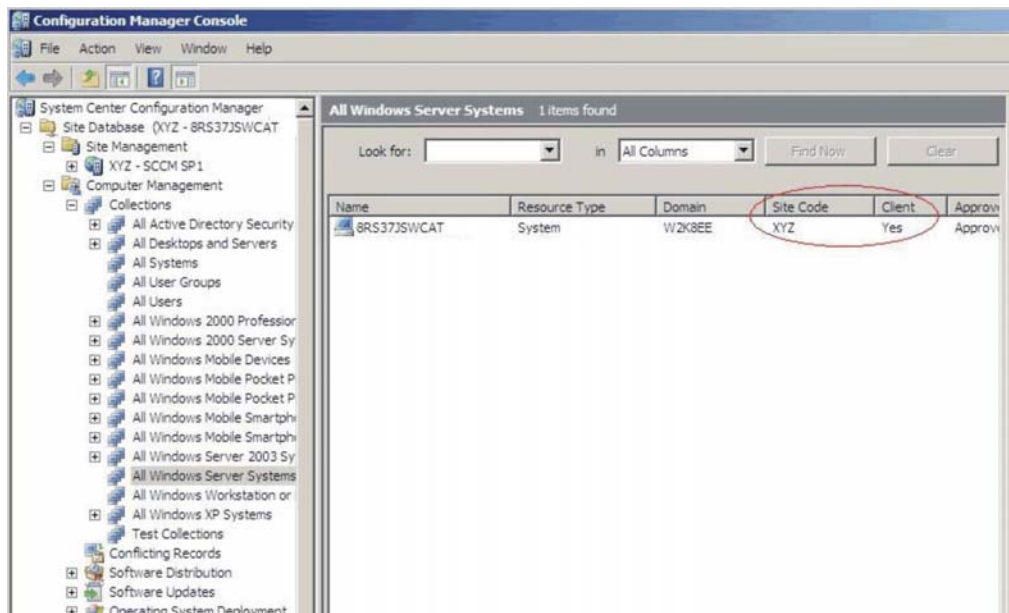


図 73. SCCM クライアント・エージェントの状況

5. 基準を選択して「**Evaluate** (評価)」をクリックします。数分後に「**View Report** (レポートの表示)」ボタンが使用可能になります。

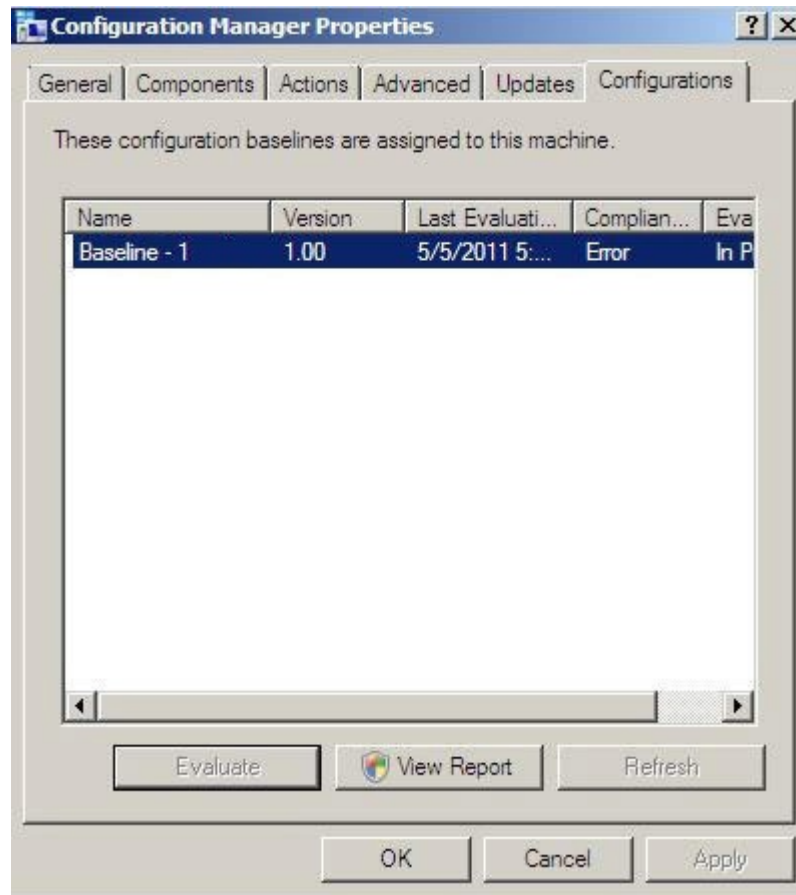


図 74. 「レポートの表示 (View Report)」 ボタンが使用可能になっている「構成」タブ

6. 基準を選択し、「**View Report** (レポートの表示)」をクリックしてレポートを確認します。

評価レポートの表示

選択した基準の評価レポートが生成されます。ただし、状況によっては、評価対象設定 (スクリプト) から値が返されない場合があります。

このような状況が発生する理由はいくつかあります。

- エンドポイントに 統合管理モジュール (IMM) モジュールがない。
- エンドポイントに IMM はあるが、評価対象の設定がエンドポイントで見つからない。
- IMM への接続に、誤ったユーザー ID とパスワードが使用された。
- ASU.exe ファイル・バージョンが v3.60 以降ではない。
- 評価がタイムアウトになった (5 分)。System Center Configuration Manager (SCCM) は時間制限を設定します。

Setting/Object Name	Setting/Object Type	Setting/Object Description	Constraint Name	Constraint Description	Severity	Constraint	Instance Data	Current Value
IMM.CIMOverHTTPPort	Script	Configure the IMM port assignment for "IBM Systems Director over HTTP." min="0" max="65535" default="5988"	Instance count validation	The validation of the number of instances of an object or setting	Information	(number(count (ns_ScopeId_550a3dbb-8f51-47a7-86ac-eeef6929722ab_this:Setting_a006e5d1-83e7-4c9b-bc0c-748ec061f2be))>number(0))		0
IMM.PowerRestorePolicy	Script	mode of operation if a power loss occurs. This setting can also be configured via BIOS F1 setup. Restores system to the same state it was before power failed.	Instance count validation	The validation of the number of instances of an object or setting	Information	(number(count (ns_ScopeId_550a3dbb-8f51-47a7-86ac-eeef6929722ab_this:Setting_afee205-85be-4fa3-9782-8de1bf9d0792))>number(0))		0

図 75. 値を返さない評価対象の設定値

注: 評価対象設定から値が返されない場合、SCCM クライアント・エージェントはその設定がエンドポイント上で非準拠であるとみなし、重大度レベルを「Information (情報)」として評価します。評価レポートが原因を指定しない原因を判別するには、Windows イベント ビューアーのログで詳細を確認する必要があります。次の図に、Windows イベント ビューアーのログを例示します。

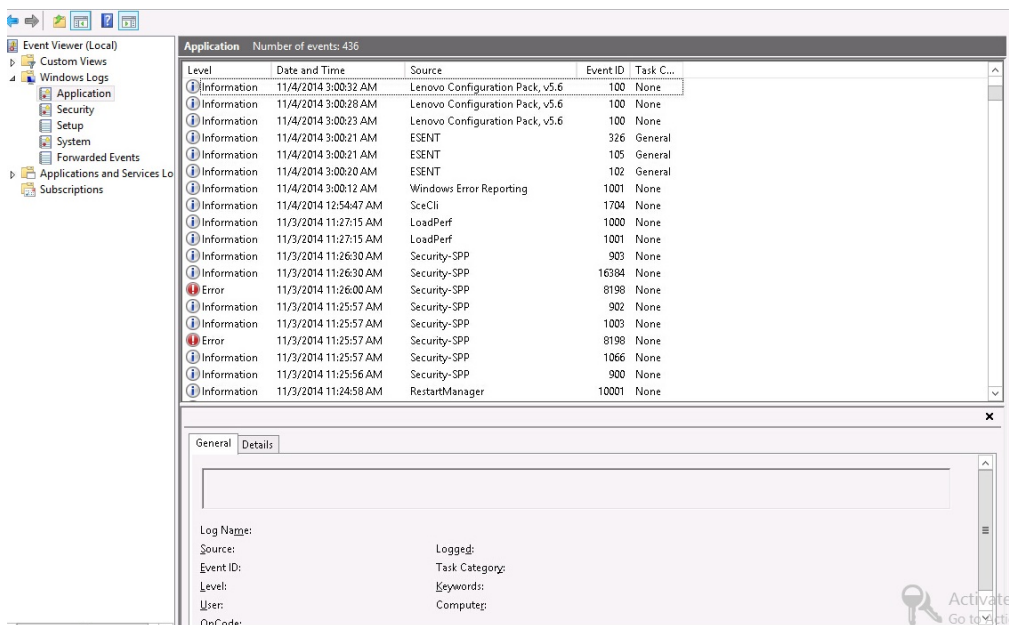


図 76. Windows イベント ビューアーのログ

ホーム・ページの概要作成の実行

「Homepage Summarization (ホーム・ページの概要作成)」によって、各 System Center Configuration Manager (SCCM) クライアントの構成準拠性状況の要約が作成されます。

手順

1. Configuration Manager Consoleで、「**Desired Configuration Management** (必要な構成管理)」を右クリックし、「**Run Homepage Summarization** (ホームページの概要作成の実行)」をクリックします。

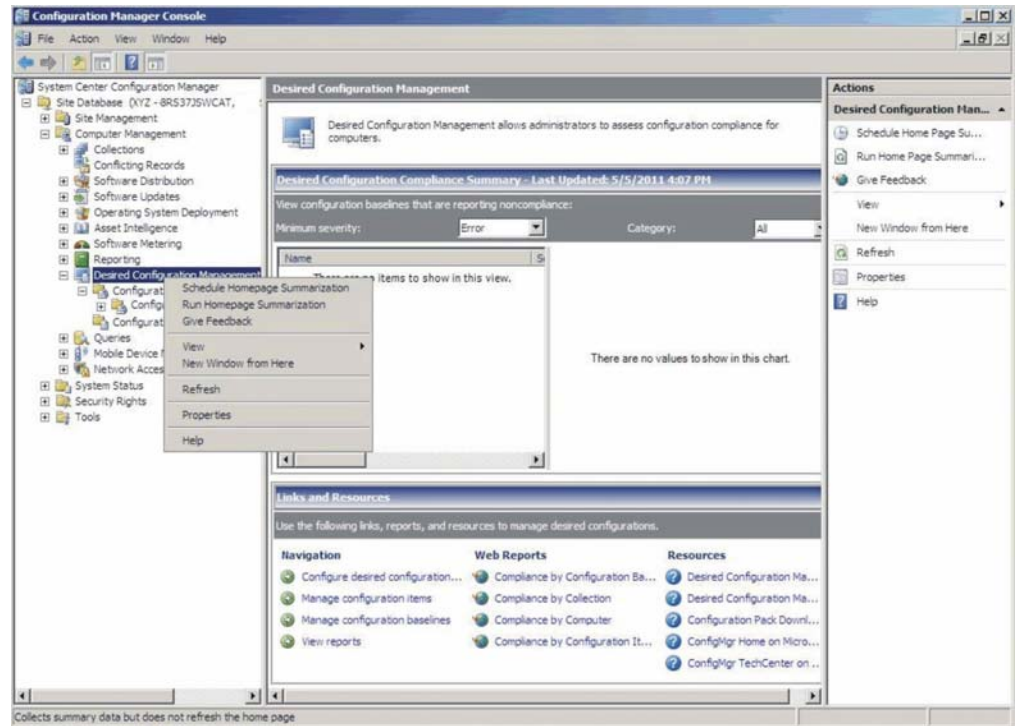


図 77. 「ホームページの概要作成の実行」機能

2. 数分後、再び「**Desired Configuration Management** (必要な構成管理)」を右クリックし、「**Refresh** (最新の情報に更新)」をクリックします。指定された基準レポートが表示されます。

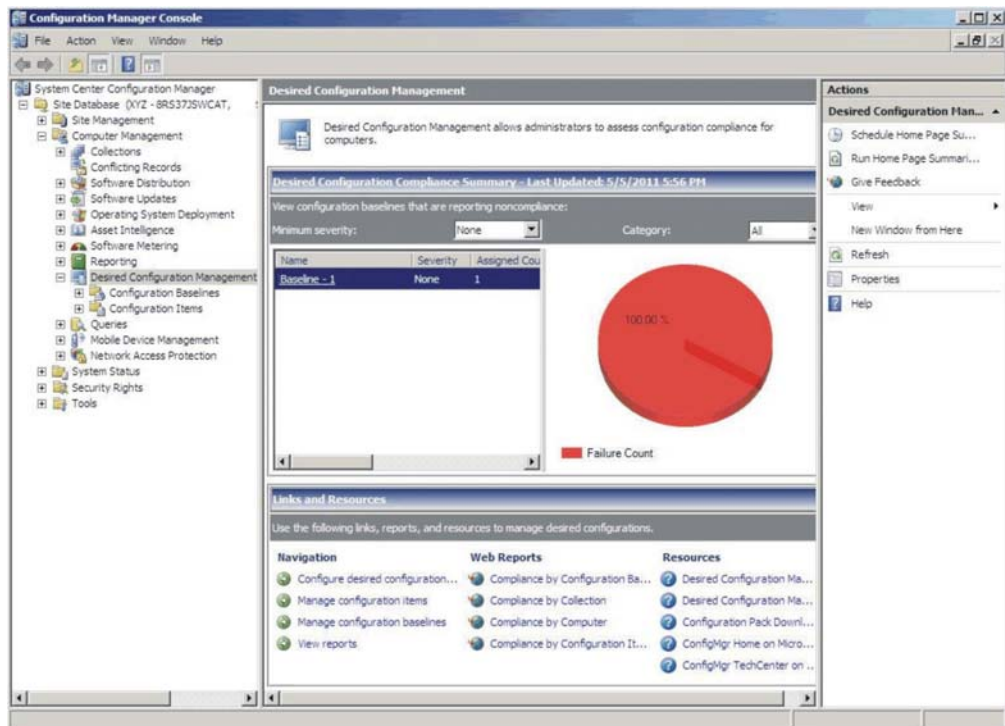


図 78. 基準レポート

- レポートを表示するには、「View configuration baselines that are reporting noncompliance (非準拠とレポートされた構成基準を表示)」ウィンドウで、基準名をクリックします。右側にレポートが表示されます。

注: Configuration Manager Consoleでは、「**Report access** (レポートへのアクセス)」が有効に設定されている必要があります。そうでない場合、コンソールでレポート・ビューを開くことができません。

DCM レポートについて詳しくは、TechNet ライブラリー: 必要な構成管理のレポートについてを参照してください。。

Microsoft System Center Configuration Manager 2012 コンソールを使用した Lenovo Configuration Pack の適用

このセクションでは、Configuration Manager Consoleを使用して構成データを Microsoft System Center Configuration Manager 2012 (SCCM) サーバーにインポートする方法について説明します。

構成データの DCM へのインポート

以下の手順では、構成データを 必要な構成管理 (DCM) にインストールする方法について説明しています。

手順

- Configuration Manager Console を開いて「**Desired Configuration Management** (必要な構成管理)」を展開します。

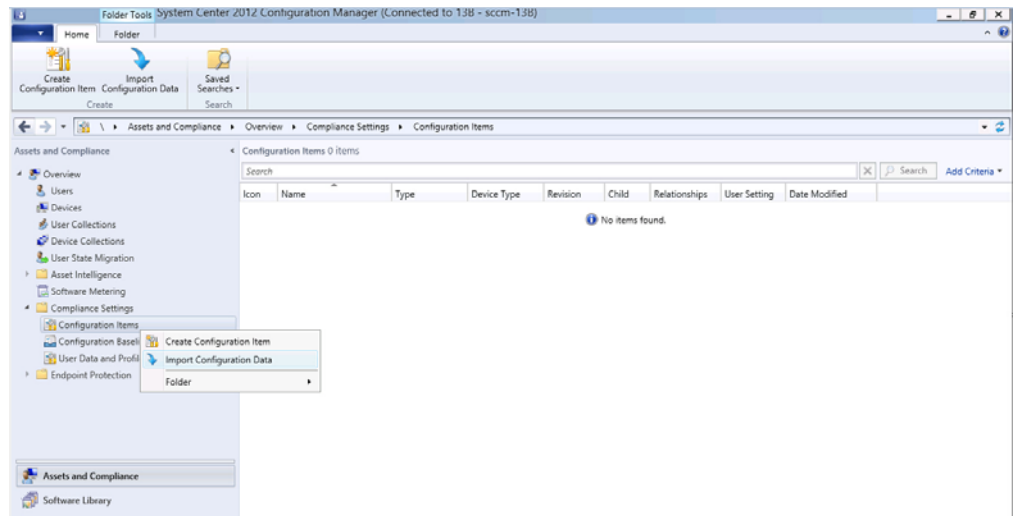


図 79. 「構成データのインポート」機能

2. 「**Configuration Baselines** (構成基準)」または「**Configuration Items** (構成項目)」を右クリックして、「**Import Configuration Data** (構成データのインポート)」をクリックします。「**Import Configuration Data Wizard** (構成データのインポート・ウィザード)」ウィンドウが開きます。

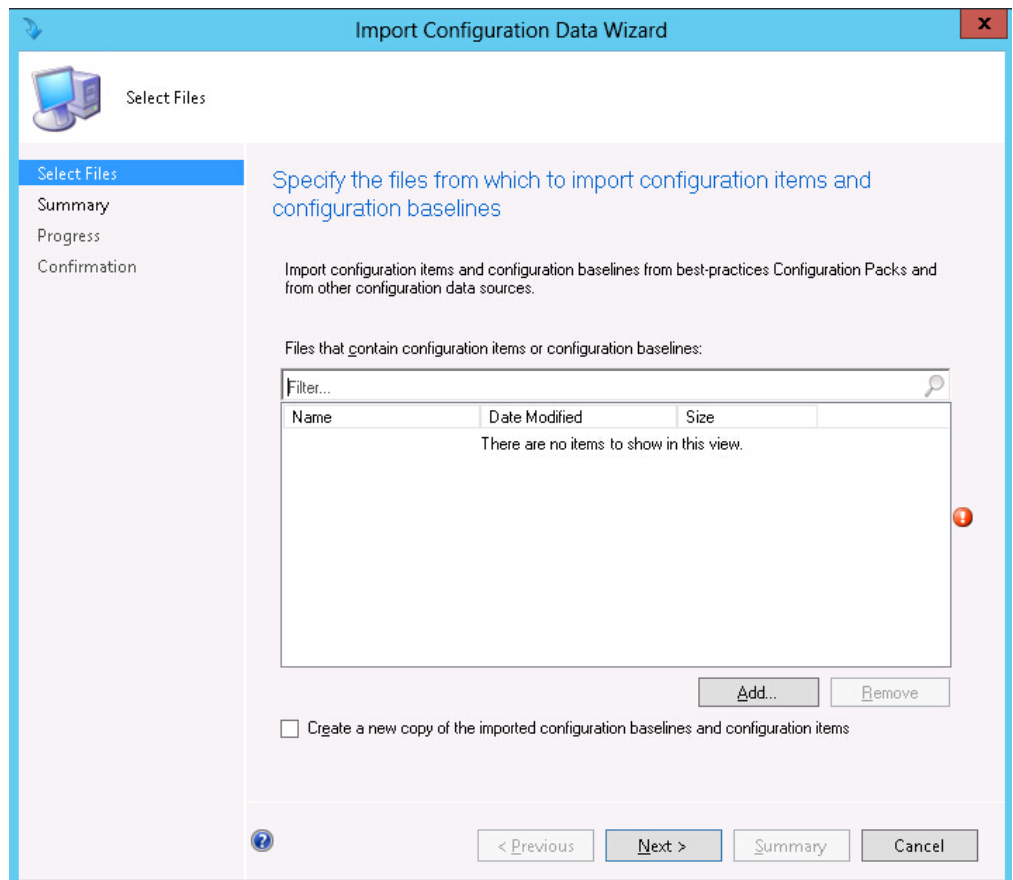


図 80. ファイルの選択機能

3. 「追加」をクリックして、エクスポートされた Lenovo Configuration Pack .cab ファイルを選択します。「Open .cab file (.cab ファイルを開く)」ウィンドウが表示されます。

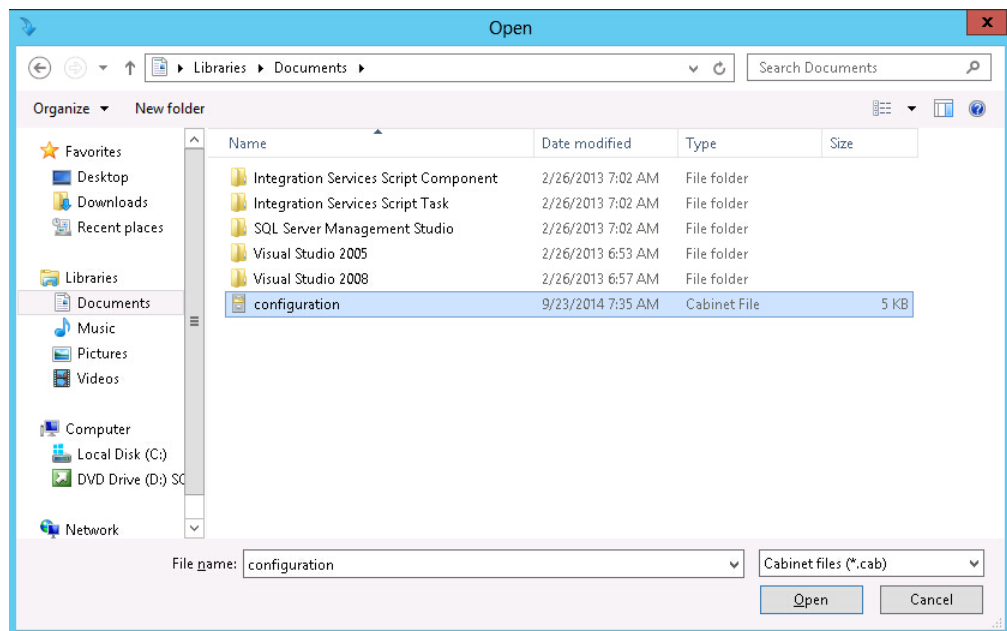


図 81. エクスポートされた .cab ファイルの選択

4. 「**Configuration .cab Cabinet File (構成 .cab キャビネット・ファイル)**」をクリックし、「**Open (開く)**」をクリックしてファイルをインポートします。「**パブリッシャーの検査 (Verify Publisher)**」ウィンドウが開きます。

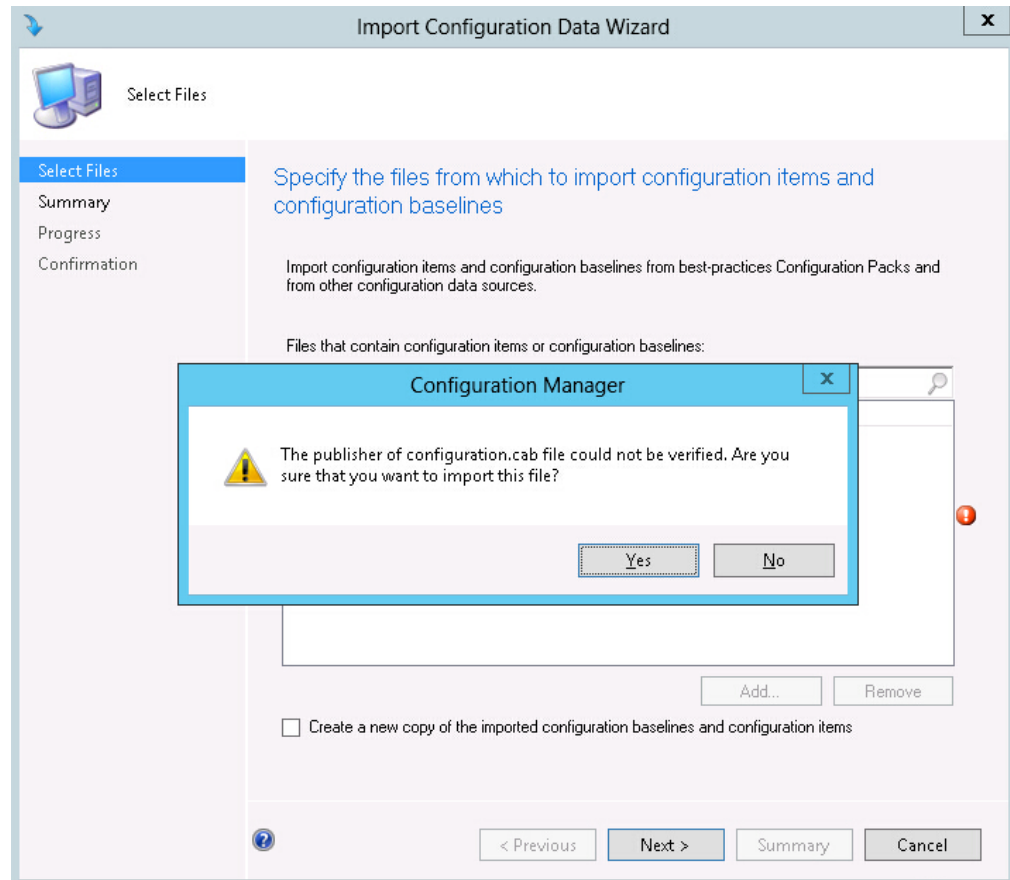


図 82. 「Publisher Check (パブリッシャー検査)」 ウィンドウ

5. 「はい」をクリックして、ファイルをインポートします。 Configuration.cab ファイルがリストに表示されます。

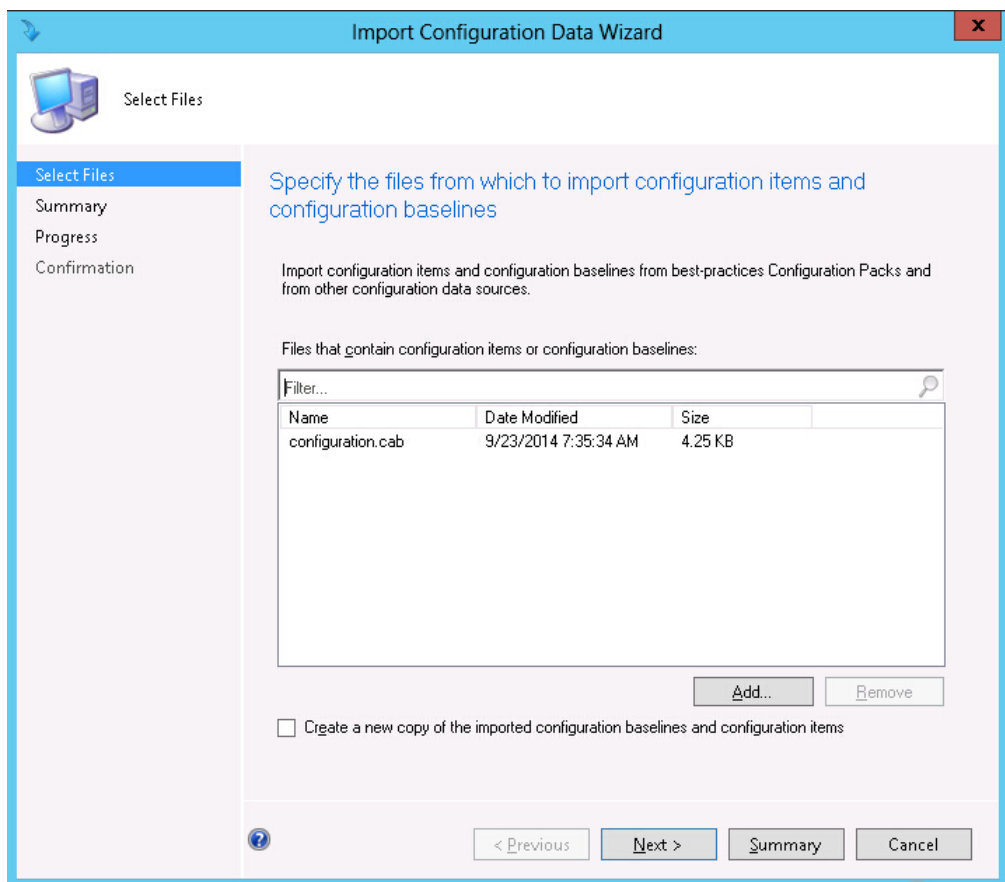


図 83. 選択した .cab ファイルのインポート

6. 「**Next** (次へ)」をクリックして .cab ファイルをインポートします。構成項目が詳細ウィンドウに表示されます。

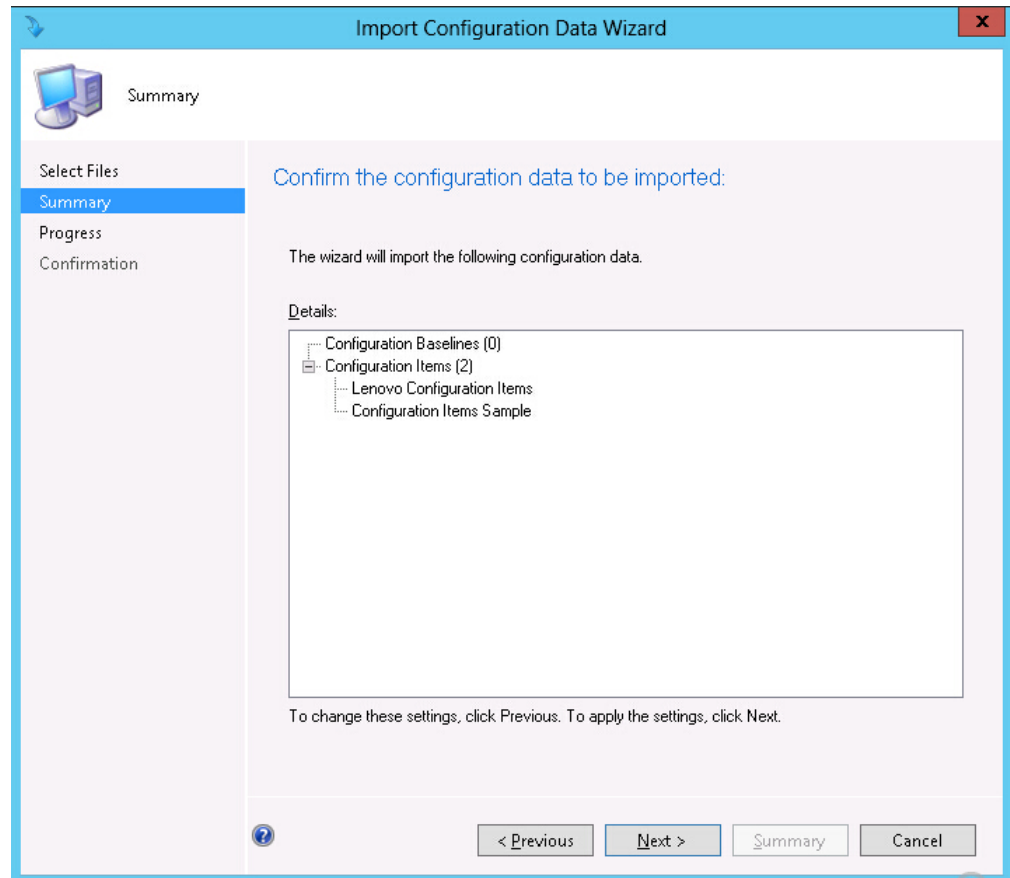


図 84. 構成データの確認

7. 「**Next** (次へ)」をクリックして設定を適用します。「Import Configuration Data (構成データのインポート)」ウィザードが正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。詳細ウィンドウにインポートされた構成項目のリストがあります。

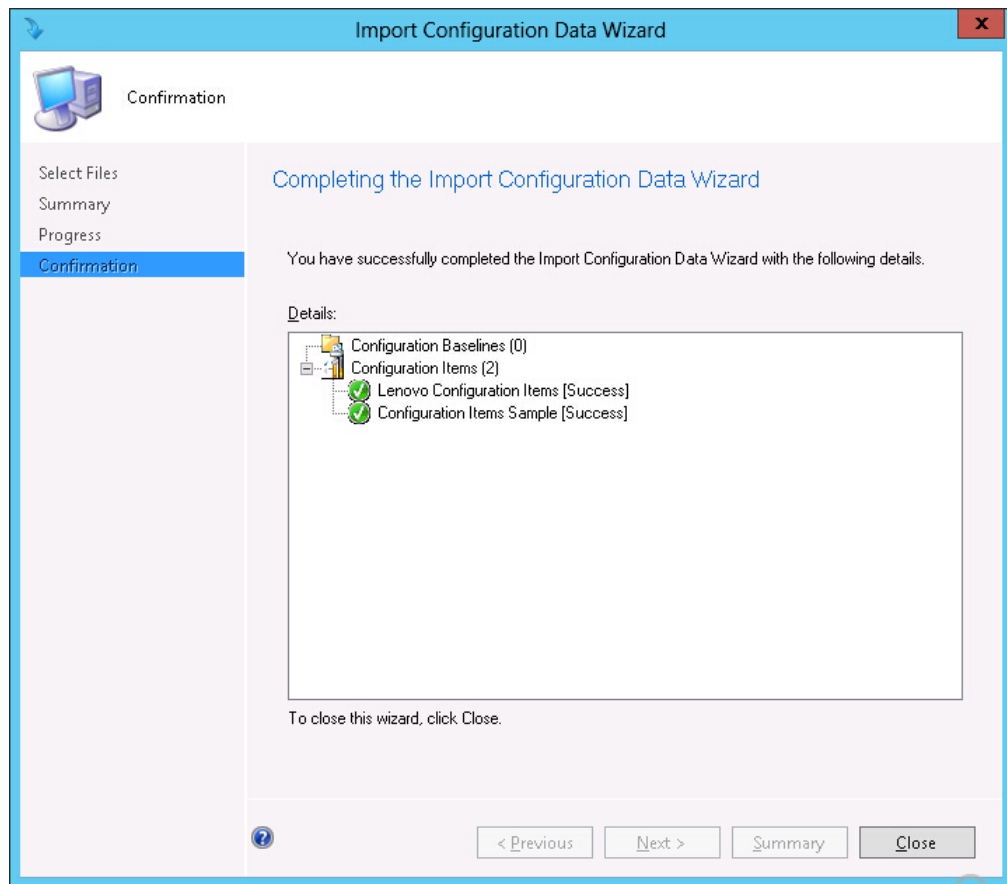


図 85. 正常終了

8. 「**Close** (クローズ)」をクリックして、「Import Configuration Data Wizard (構成データのインポート・ウィザード)」を終了します。
9. 「**Configuration Items** (構成項目)」を右クリックして、「**Refresh** (最新の情報に更新)」をクリックします。 インポートされた構成項目がウィンドウに表示されます。

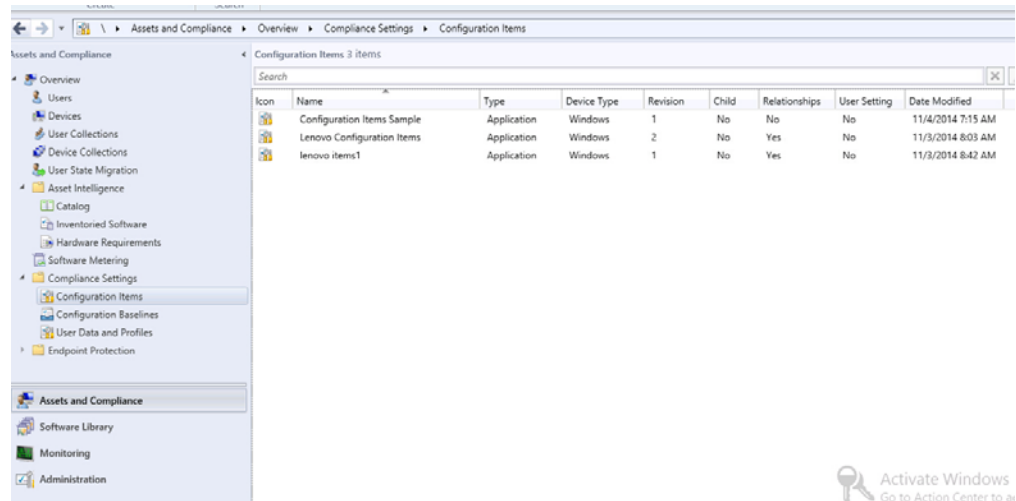


図 86. インポートされた構成項目

注: インポートされた構成項目のステータスが「Lock (ロック)」となっている場合があります。状況が「Lock (ロック)」になっている原因は、以下のいずれかです。

- 構成データが読み取り専用である。
- 構成データが SCCM コンソール管理者によって作成されたものではない。

構成項目プロパティの表示

構成項目プロパティの表示および編集方法について以下の手順で説明します。

手順

1. 構成項目のプロパティを表示するには、「Configuration Items (構成項目)」リストから「**configuration item** (構成項目)」をダブルクリックします。「Lenovo Configuration Item Properties (Lenovo 構成項目のプロパティ)」ページが開きます。
2. 「**Settings** (設定)」タブをクリックします。「**Settings** (設定)」タブには、選択した設定項目に関連する設定のリストがあります。

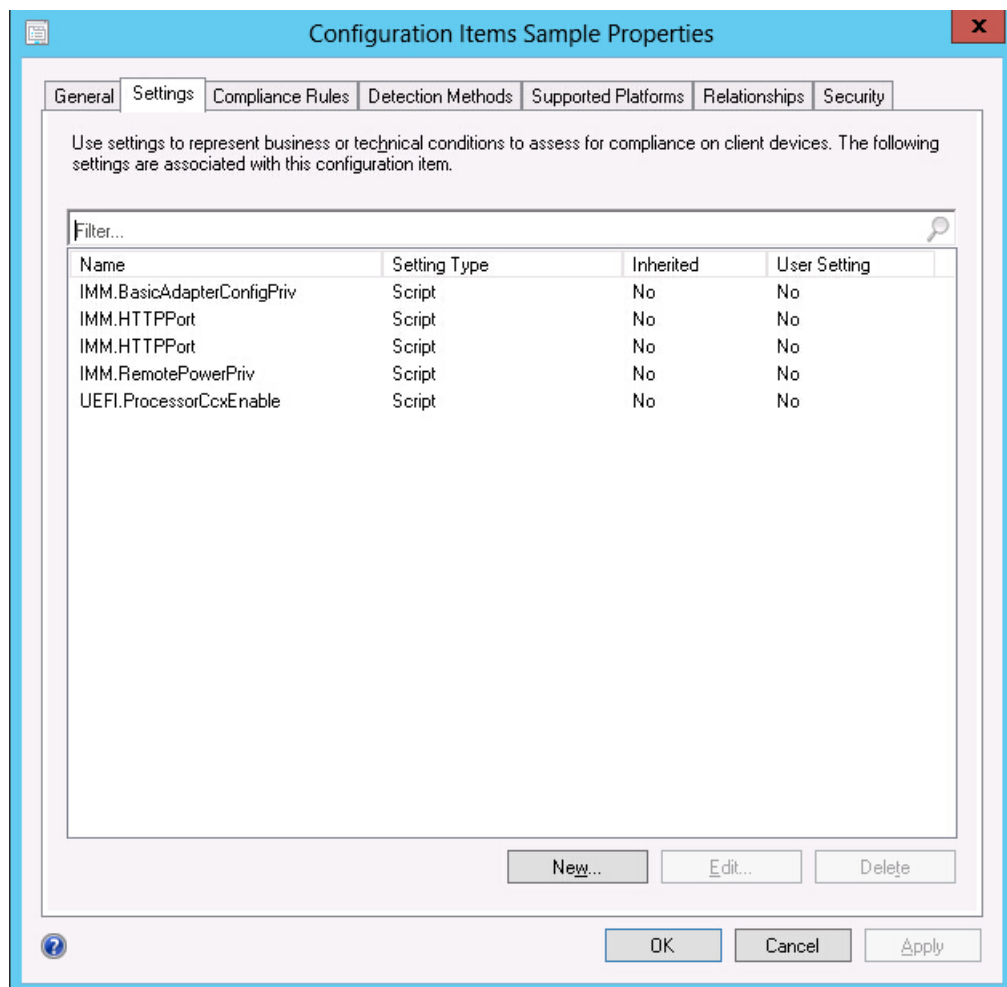


図 87. 「設定」タブ

3. 設定を表示するには、設定をダブルクリックするか、または設定を右クリックして「**Edit** (編集)」をクリックします。
4. 「**Detection Methods** (検出方法)」タブをクリックします。

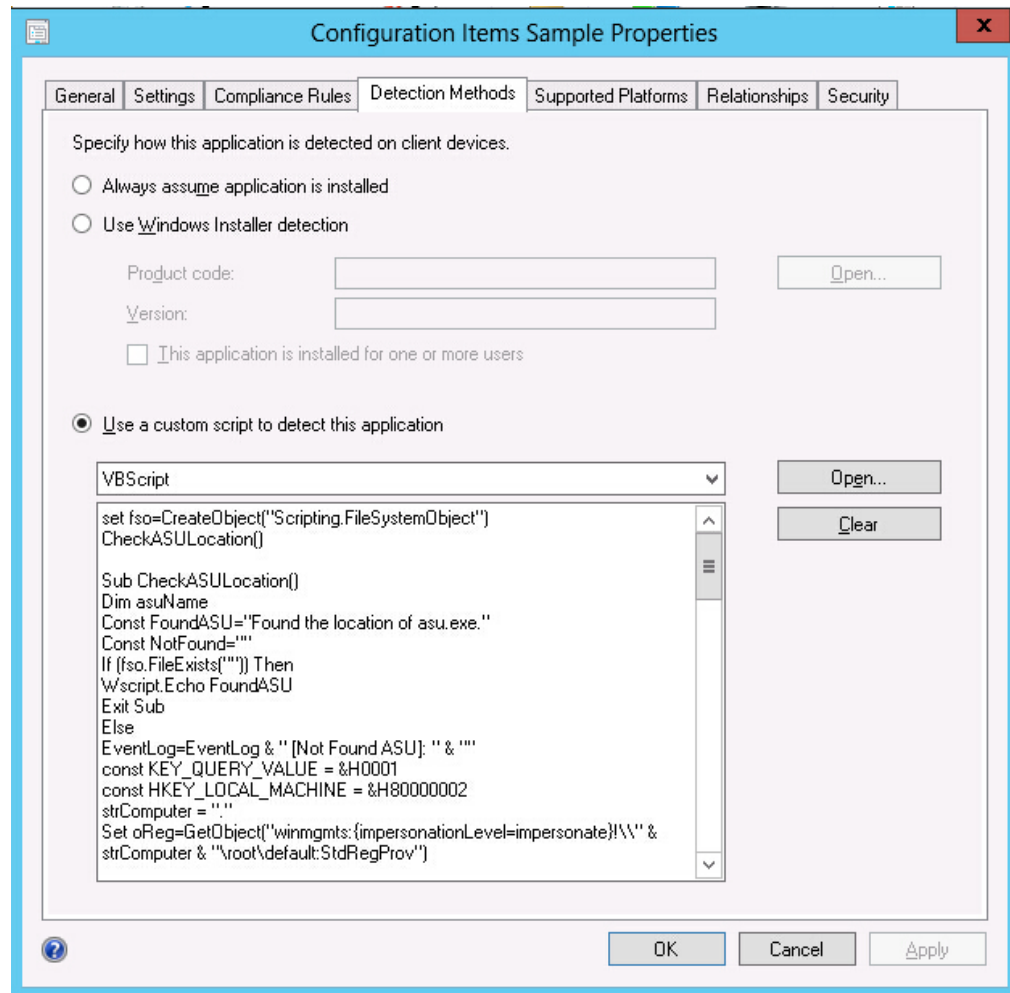


図 88. 「検出方法」タブ

「**Detection Method** (検出方法)」タブでは、構成項目ごとに検出方法をリストしています。「**Detection Methods** (検出方法)」では、エンドポイントに `ASU.exe` ファイルが存在するかどうかを検査されます。`ASU.exe` が存在しない場合は、構成項目は「**Not Detected** (検出されませんでした)」状態を返し、子設定グループの検証は停止します。

5. 構成項目プロパティの表示を終了するときは、「**OK (OK)**」をクリックします。

基準の作成

構成項目は基準を使用してエンドポイントに割り当てられます。次の手順では、エンドポイントで検証するすべての構成項目を含む基準の作成方法を説明します。

手順

1. Configuration Manager Consoleで、必要な構成管理 を展開します。
2. 「**Configuration Baselines** (構成基準)」を右クリックし、「**New Configuration Baseline** (新しい構成基準)」をクリックします。

Specify general information about this configuration baseline

Name: Baseline sample

Description:

Select the configuration data (configuration items, configuration baselines, and software updates) to be evaluated for compliance by this configuration baseline. This configuration baseline will be assessed as compliant if all the items specified are compliant. Optional items are evaluated only if the relevant application is present on the client devices.

Configuration data:

Name	Type	Purpose	Revision
There are no items to show in this view.			

Configuration Items
 Software Updates
 Configuration Baselines

Filter...

Categories...

OK Cancel

図 89. 「Create 構成基準 (構成基準の作成)」 機能

「Create 構成基準 (構成基準の作成)」ウィザードが開きます。

3. 固有の「**Name** (名前)」およびオプションとして基準の「**Description** (説明)」を入力して、「**Add** (追加)」をクリックします。

Specify general information about this configuration baseline

Name: Baseline sample

Description:

Select the configuration data (configuration items, configuration baselines, and software updates) to be evaluated for compliance by this configuration baseline. This configuration baseline will be assessed as compliant if all the items specified are compliant. Optional items are evaluated only if the relevant application is present on the client devices.

Configuration data:

Name	Type	Purpose	Revision
There are no items to show in this view.			

Add Change Purpose Change Revision Remove

Configuration Items
Software Updates
Configuration Baselines

Searching and filtering:

Categories...

OK Cancel

図 90. 構成項目の追加

4. 「**Configuration Items** (構成項目)」リンクをクリックして、検証する構成項目を選択します。

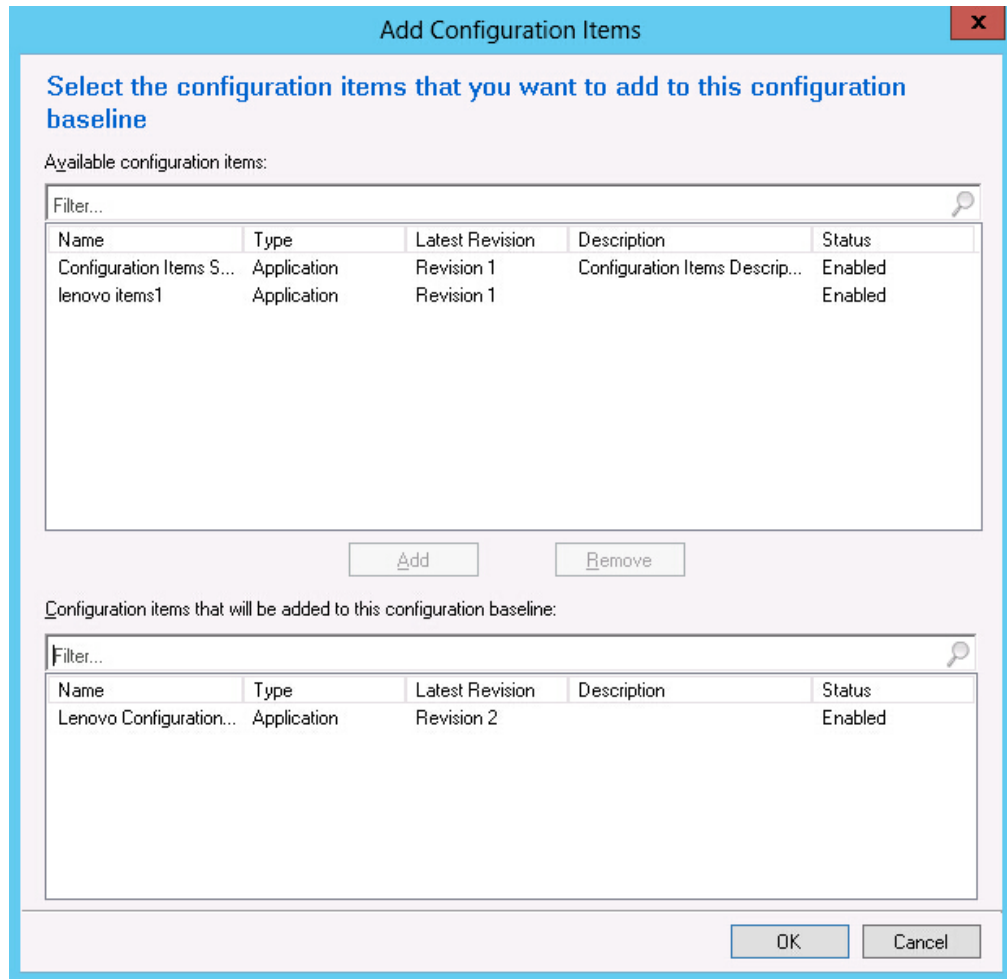


図 91. 構成項目リスト

5. 「OK」をクリックしてウィザードを終了します。

コレクションへの基準の割り当て

基準をコレクションに割り当ててそのコレクションのクライアントの設定を確認できます。以下の手順は、基準を直接コレクションに割り当てる方法を説明したものです。

手順

1. Configuration Manager Console コンソールで、新しい基準を右クリックして「Deploy (デプロイ)」をクリックします。

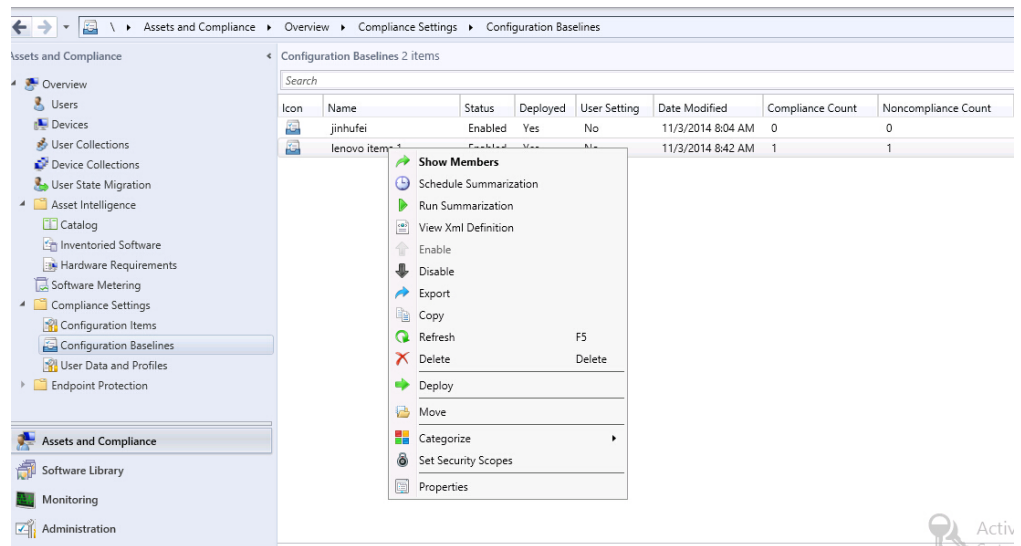


図 92. 「コレクションにデプロイ (Deploy to a Collection)」機能

「Deploy Configuration Baselines (構成基準のデプロイ)」ウィザードが開きます。

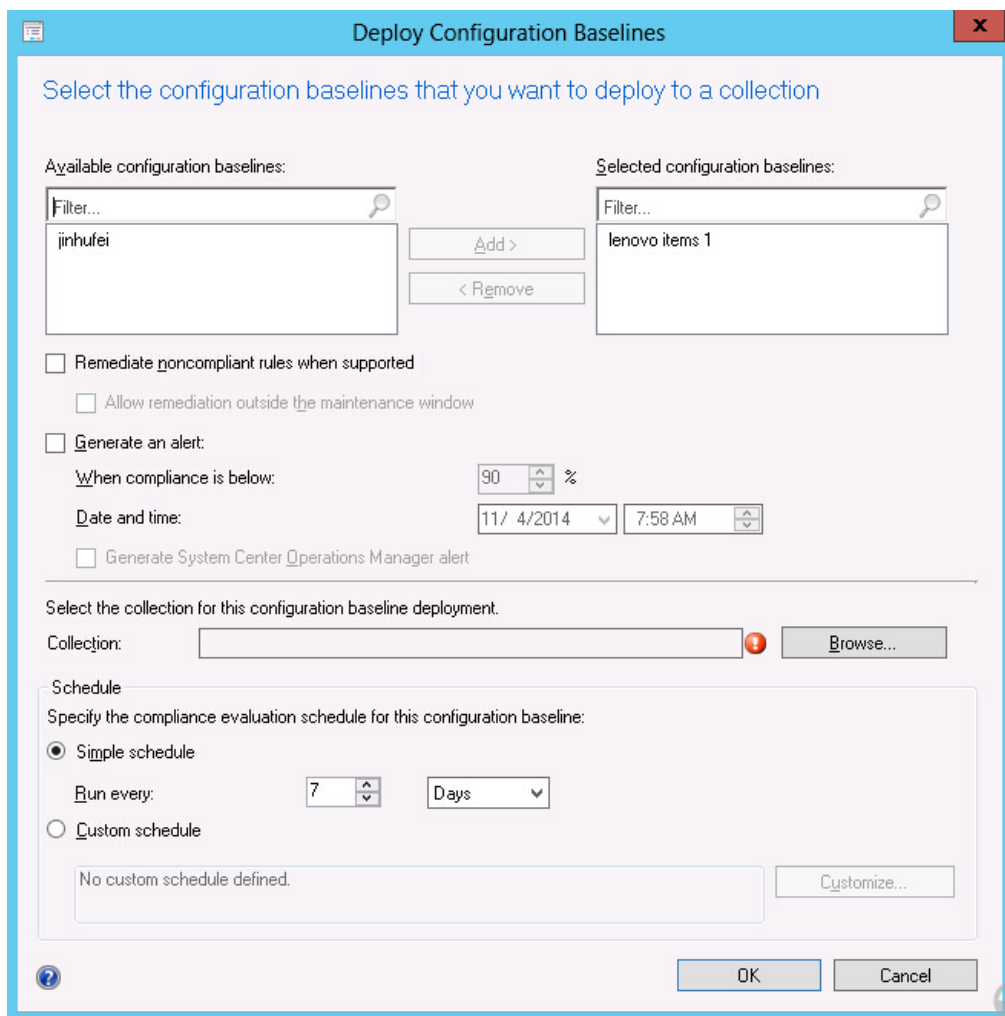


図 93. 「構成ベースラインの割り当て (Assign Configuration Baseline)」機能

注: 非準拠設定を修復する場合は、「**Remediate noncompliant rules when supported** (サポートされている場合は非準拠規則を修復)」をクリックします。このオプションを選択しても、設定が準拠している場合は何も行われません。設定が非準拠の場合、System Center Configuration Manager はその設定を予測値に変更しようとしています。修復オプションは必ずしも正常に行われるとは限りません。

2. この「構成基準のデプロイ」セクションの「コレクションの選択」で、「**Browse** (参照)」をクリックしてターゲットのクライアント・コレクションを選択します。
3. 基準の検証のスケジュールを選択します。
 - 単純なスケジュール
 - カスタム・スケジュール
4. 「**OK**」をクリックします。

エンドポイントの基準の評価

基準とその子構成項目は、作成または選択されたスケジュールに従って自動評価されます (構成項目の設定が検査されます)。次のようにして前倒しで評価もできます。

手順

1. 確実にエンドポイントが SCCM サーバー上で検出され、SCCM クライアント・エージェントがインストールされるように、適切なエンドポイントを選択します。
 - 32 ビット・エンドポイントの場合は、「**Control Panel (コントロール パネル)**」 > 「**Configuration Manager (Configuration Manager)**」 をクリックします。
 - 64 ビット・エンドポイントの場合は、「**Control Panel (コントロール パネル)**」 > 「**View 32-bit Control Panel Items (32 ビットのコントロール パネルの項目の表示)**」 > 「**Configuration Manager (Configuration Manager)**」 をクリックします。

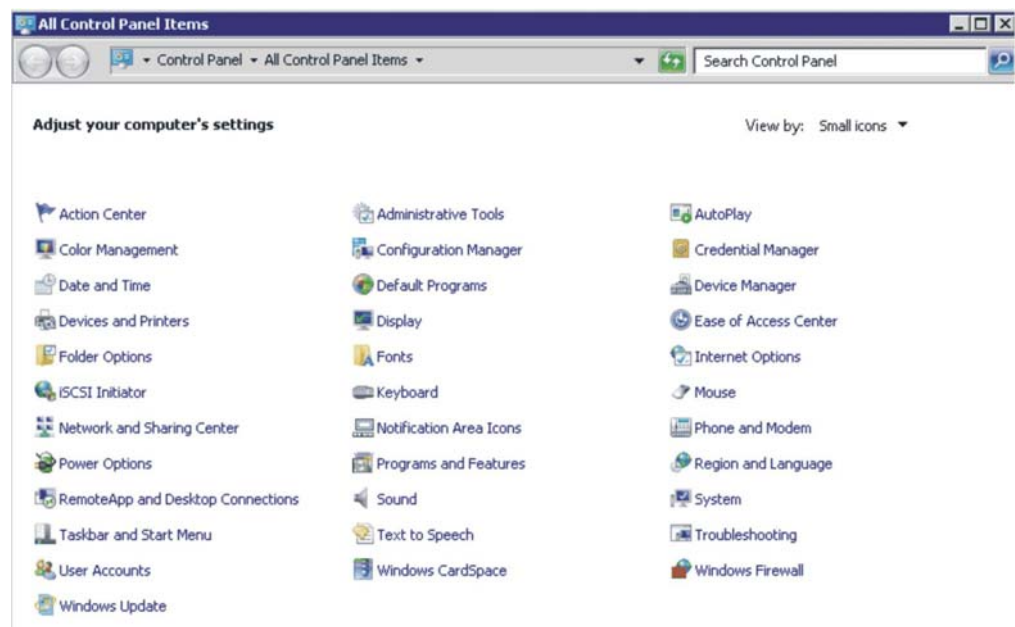


図 94. 「コントロール パネル」フォルダー内の *Configuration Manager*

「Configuration Manager Properties (Configuration Manager のプロパティ)」ウィンドウが開きます。

2. 「**Actions (動作)**」タブで「**Machine Policy Retrieval & Evaluation Cycle (コンピューター ポリシーの取得および評価サイクル)**」を選択して、「**Initiate Action (動作の開始)**」をクリックします。アクションが開始されたことを通知するメッセージが表示されます。

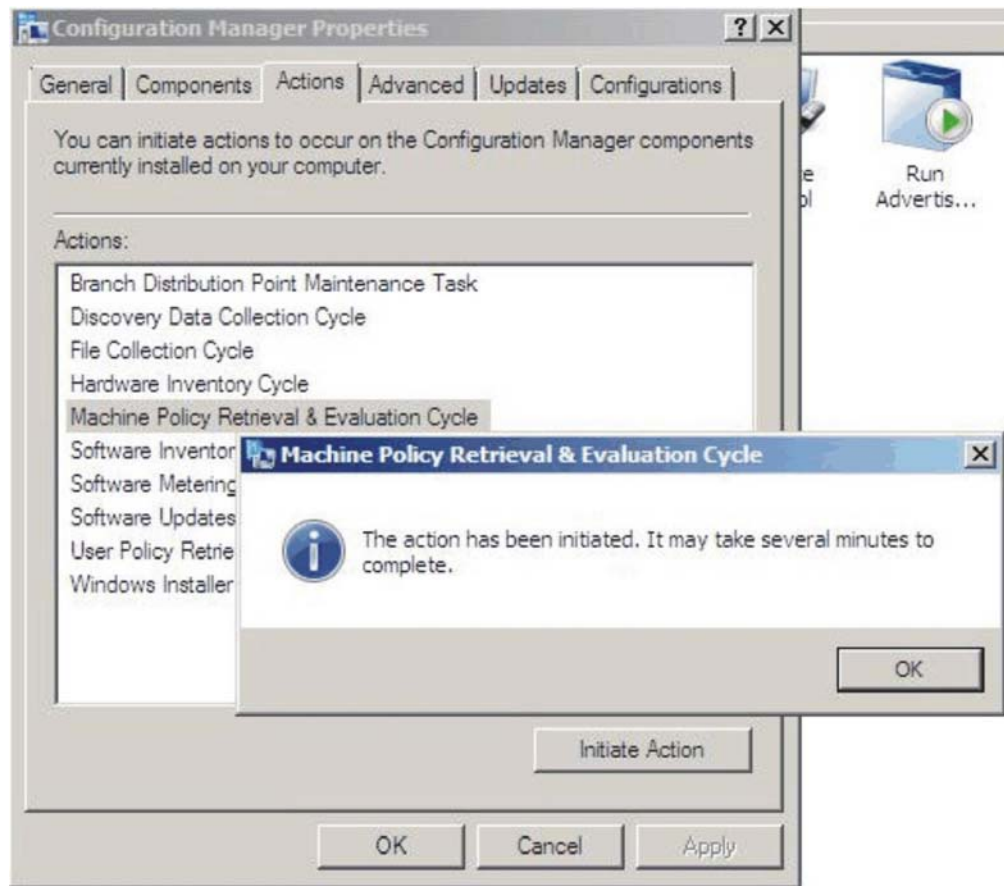


図 95. アクションが開始されたことを示すウィンドウ

3. 「**OK**」をクリックします。数分後、基準が「**Configurations** (構成)」タブに表示されます。
4. 基準が表示されない場合は、「**Refresh** (最新の情報に更新)」をクリックします。

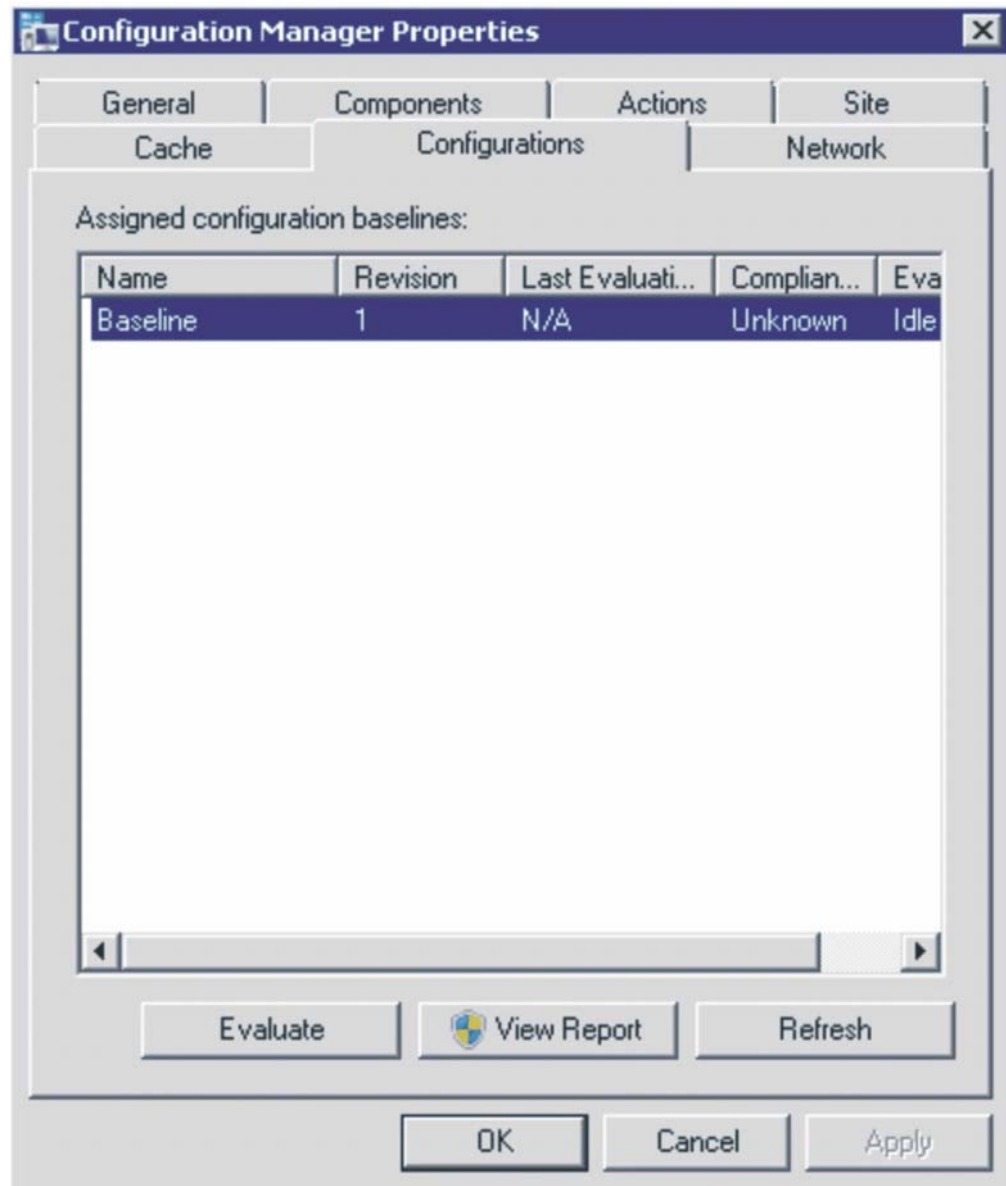


図 96. 「構成」タブ

5. 基準を選択して、「**Evaluate** (評価)」をクリックします。数分後に「**View Report** (レポートの表示)」ボタンが使用可能になります。

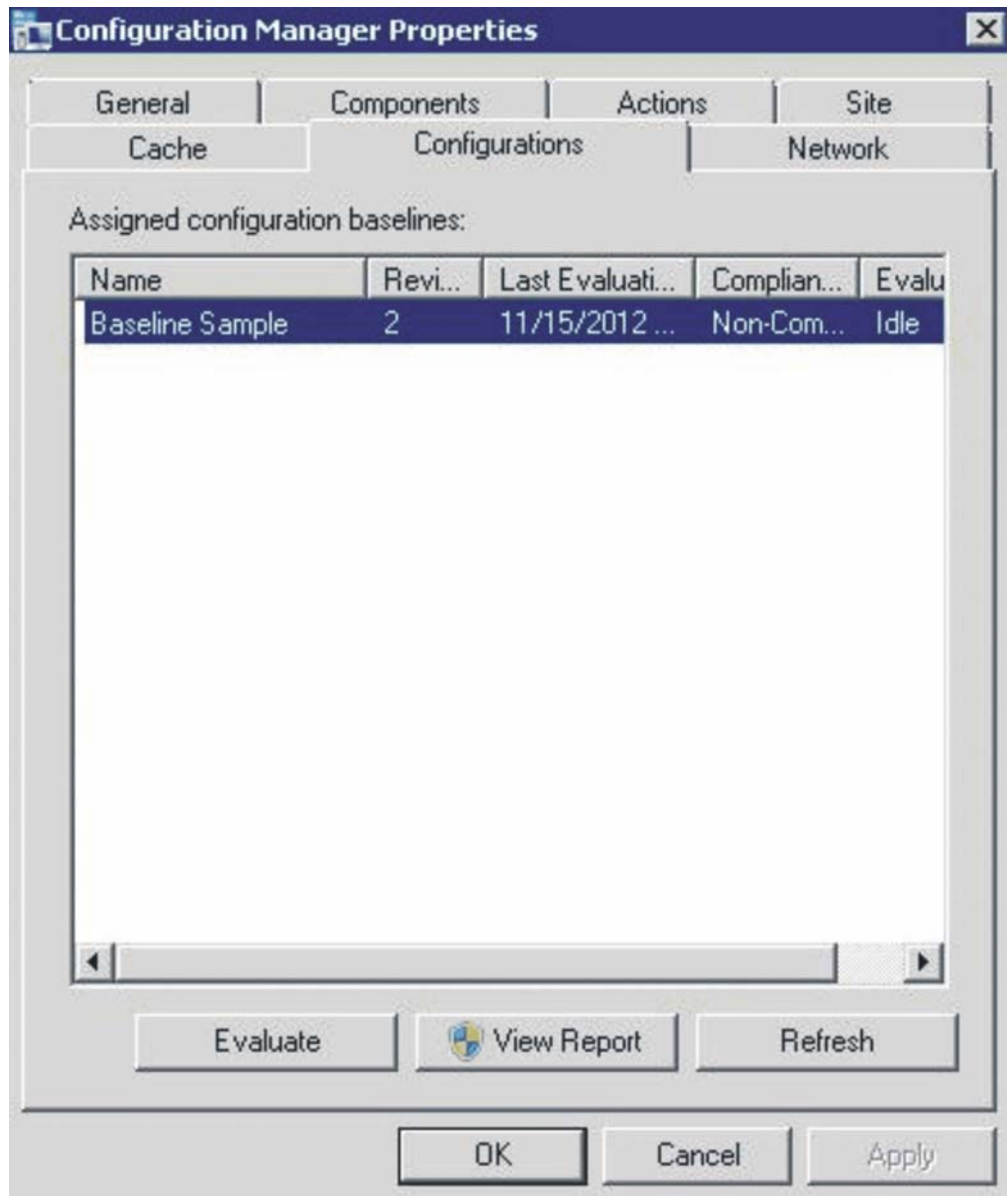


図 97. 「レポートの表示 (View Report)」ボタンが使用可能になっている「構成」タブ

- 基準を選択し、「**View Report** (レポートの表示)」をクリックしてレポートを確認します。

評価レポートの表示

選択した基準の評価レポートが生成されます。ただし、状況によっては、評価対象設定 (スクリプト) から値が返されない場合があります。

このような状況が発生する理由はいくつかあります。

- エンドポイントに 統合管理モジュール (IMM) モジュールがない。
- エンドポイントに IMM はあるが、評価対象の設定がエンドポイントで見つからない。
- IMM への接続に、誤ったユーザー ID とパスワードが使用された。
- ASU.exe ファイル・バージョンが v3.60 以降ではない。

- 評価がタイムアウトになった (5 分)。System Center Configuration Manager (SCCM) は時間制限を設定します。

Summary:

Name	Revision	Type	Baseline Policy	Compliance State	Non-Compliance Severity	Discovery Failures	Non-Compliant Rules	Remediated Rules	Conflicting Rules
Test	1	Baseline		Non-Compliant	Information	0	5	3	0
Test	1	Application Configuration	Required	Non-Compliant	Information	0	5	3	0

図 98. 評価された結果の要約

注: 評価対象設定から値が返されない場合、SCCM クライアント・エージェントはその設定がエンドポイント上で非準拠であるとみなし、重大度レベルを「Information (情報)」として評価します。評価レポートが原因を指定しない原因を確認するには、Windows Event Viewer のログで、詳細を調べてください。次の図に、Windows イベント ビューアーのログを例示します。

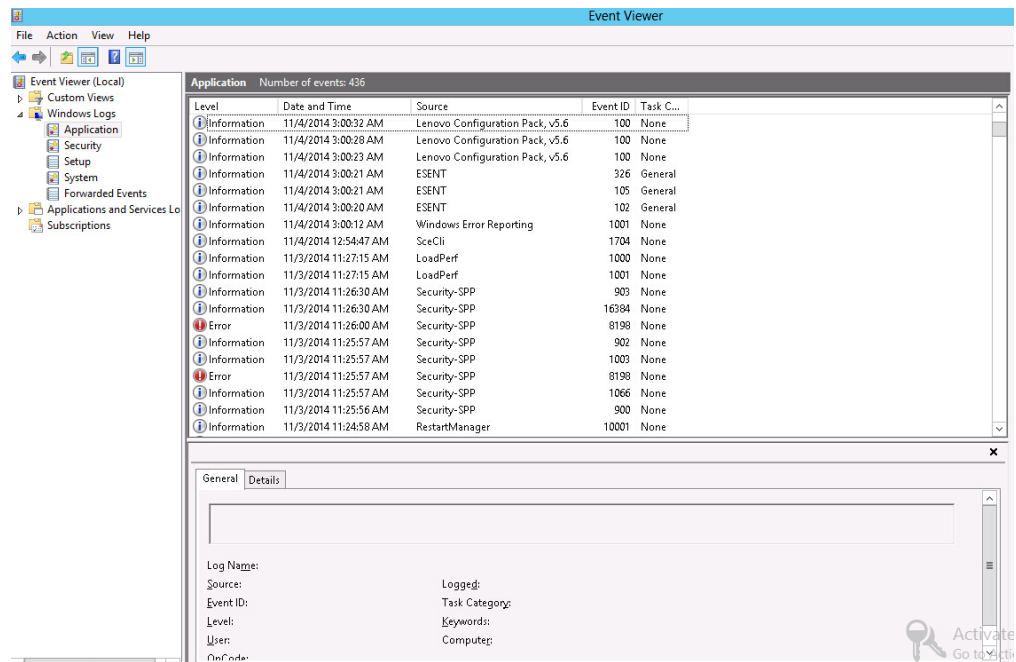


図 99. Windows イベント ビューアーのログ

この図は修復された規則を含む DCM ログの表示を示しています。

Remediated Rules:

Remediated Rule:

Rule Name	Rule Description	Setting Name	Setting Type	Setting Description	Instance Data			
rule	Description	DMM.AccountSecurity	Script	Configure the DMM Global Login Setting "Account security level." Select the authority level associated with this login id.	Expression	Instance Source	Previous Value	Remediated Value
					Equals High security settings	Property is Line[0]	Legacy security settings	High security settings

Remediated Rule:

Rule Name	Rule Description	Setting Name	Setting Type	Setting Description	Instance Data			
rule	Description	DMM.DefaultPasswordExp	Script	Configure the DMM Global Login Setting "Default Password Expired." To configure this setting, "Custom security settings" must be selected as the AccountSecurity level. Specify whether or not the default password is expired on the next login.	Expression	Instance Source	Previous Value	Remediated Value
					Equals Enabled	Property is Line[0]	Disabled	Enabled

図 100. 修復された規則

Lenovo Configuration Capture の実行

Lenovo Configuration Capture 機能は、IMM、Lenovo サーバーから uEFI、および uEFI (Romley プラットフォーム) 設定をキャプチャーし、キャプチャーした設定を構成記述 .xml ファイルにエクスポートします。

このタスクについて

Lenovo Configuration Capture を開始するには、「**Start** (スタート)」メニューから「**Lenovo Configuration Capture** (Lenovo Configuration Capture)」のショートカットをクリックします。Lenovo Configuration Capture は、Lenovo Configuration Pack がインストールされていないコンピューターでも、Lenovo Configuration Pack の .exe ファイルをそれらのコンピューターにコピーすることによって起動できます。

注: Lenovo Configuration Pack .exe ファイルは、ライセンス資格をアクティブ化せずに起動できます。

手順

1. Lenovo Configuration Capture ウィザードを起動します。「Welcome (ようこそ)」ページが開きます。

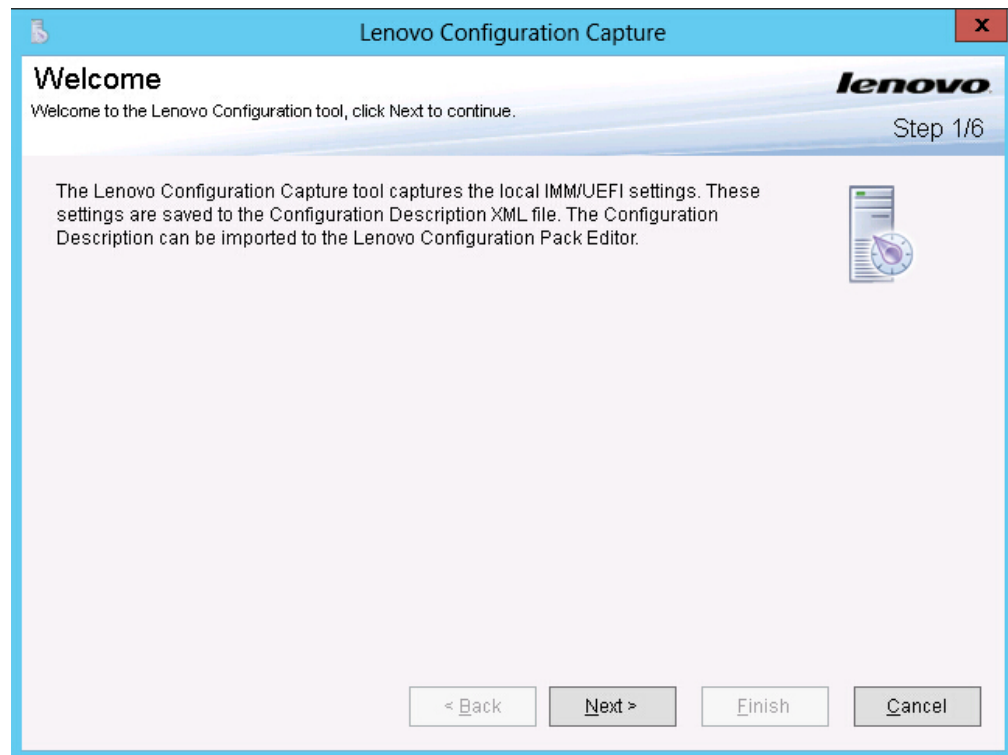


図 101. ウェルカム・ページ

2. 以下のいずれかのオプションを選択して ASU ツールを指定します。
 - 組み込みの ASU ファイルを使用
 - ASU (.exe) ファイルを選択して、「**Browse** (参照)」をクリックしてファイルを選択してください。

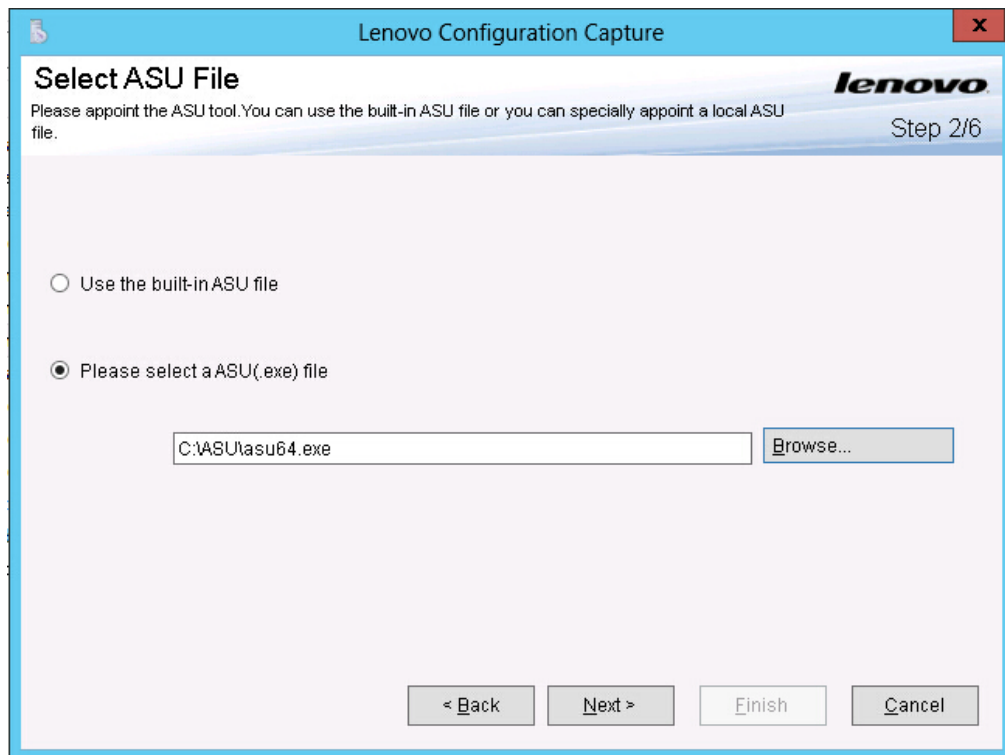


図 102. ASU ファイルの選択

3. 「**Next** (次へ)」 ボタンをクリックして、「General Information (一般情報)」 ページを表示します。 このページには、ローカル・コンピューターから情報が自動収集されます。

Lenovo Configuration Capture

General Information

Enter a name and description for this capture. Click Next to continue.

Step 3/6

Product Name is 03, and Machine Type/Model is IBM System X3250 M5 -[5458AC1]-.

Name:

Description:

< Back Next > Finish Cancel

図 103. 「一般情報」 ページ

4. 「General Information (一般情報)」 ページの「**Next** (次へ)」 ボタンをクリックします。 Lenovo Configuration Capture ウィザードがローカル・コンピューターの IMM/uEFI / uEFI (Romley プラットフォーム) 設定の収集を開始します。

Lenovo Configuration Capture

General Information

Enter a name and description for this capture. Click Next to continue.

Step 3/6

Product Name is 03, and Machine Type/Model is IBM System X3250 M5 -[5458AC1]-.

Name: The captured IBM System X3250 M5 -[5458AC1]- settings

Description:

Collecting information from local computer, please wait...

< Back Next > Finish Cancel

図 104. 情報の収集

数分後、Lenovo Configuration Capture ウィザードによる設定の収集が完了します。「設定の選択」ページが開き、キャプチャーされた設定がリストされます。

5. エクスポートする設定を選択します。

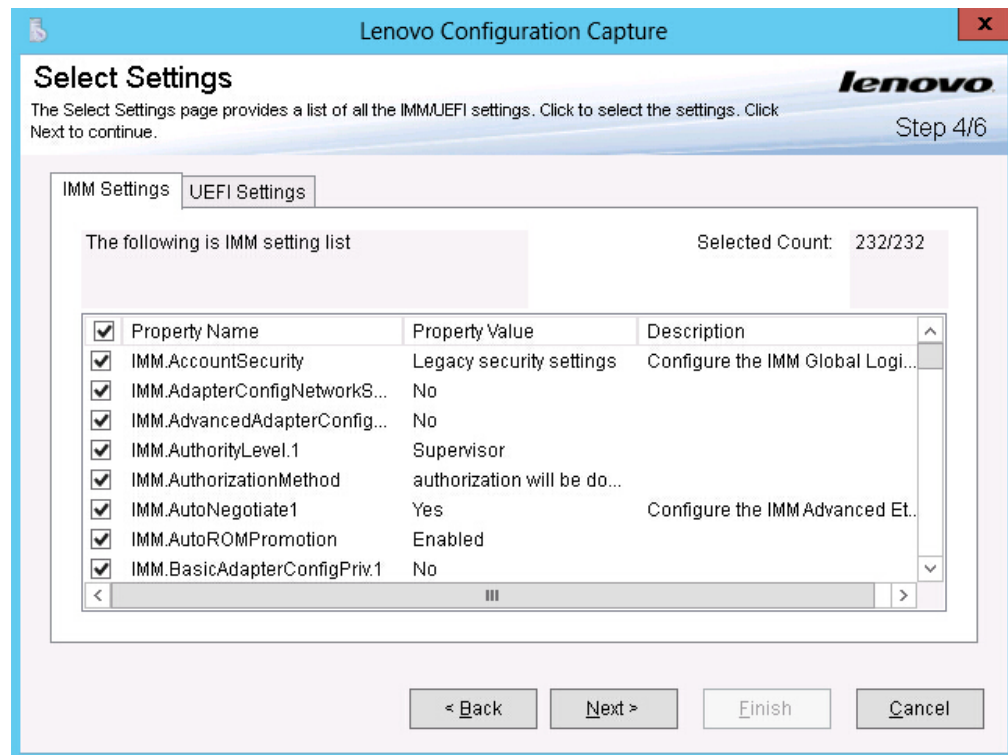


図 105. IMM 設定

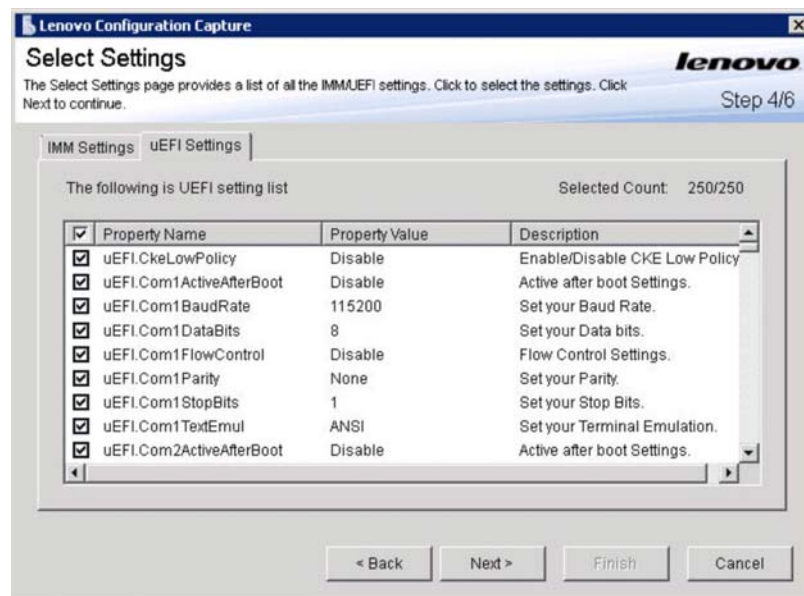


図 106. uEFI 設定

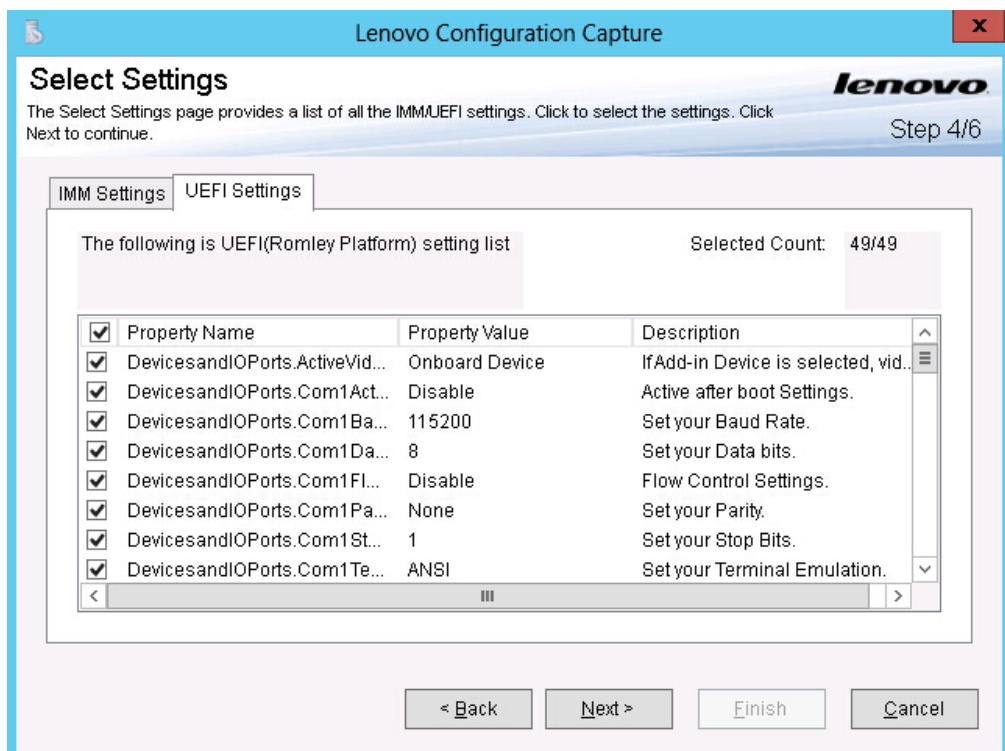


図 107. UEFI (Romley プラットフォーム) 設定値

注: ローカル・コンピューターに IMM、uEFI、または uEFI (Romley プラットフォーム) モジュールがない場合、または IMM アカウント情報が正しくない場合は、キャプチャーが失敗することがあります。キャプチャーが失敗した場合は、「**Information** (情報)」リンクをクリックして詳細情報を表示できます。

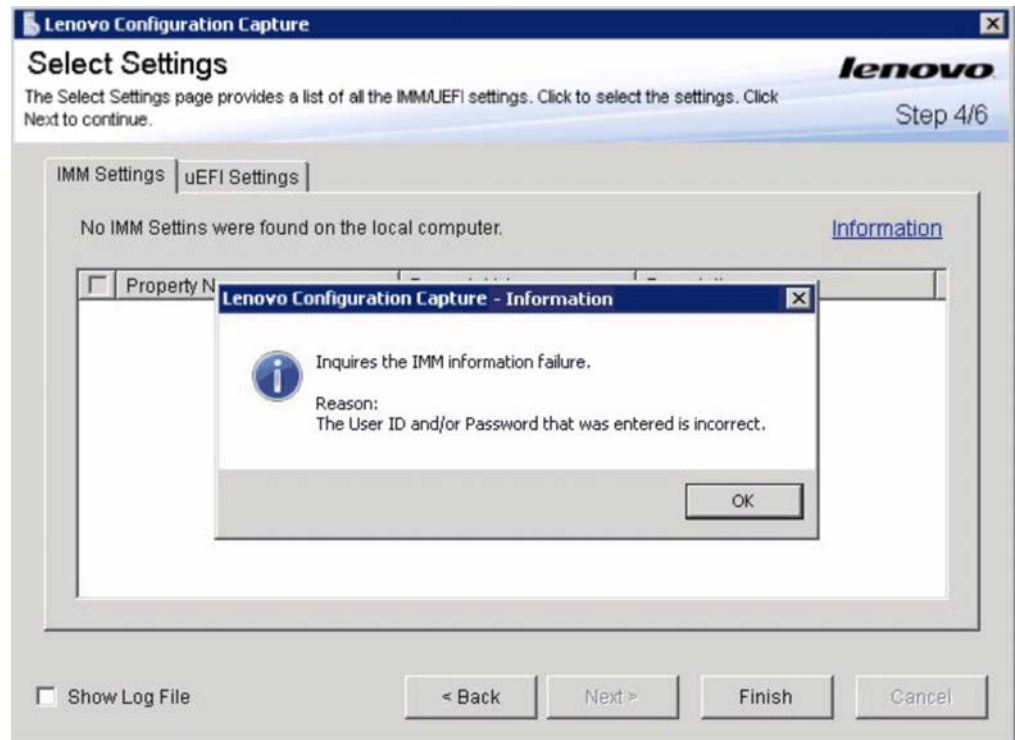


図 108. 「IMM Account」が正しくない

6. 必要な設定を「Select Settings (設定の選択)」ページから選択し、「**Next** (次へ)」をクリックします。構成記述 .xml ファイルにエクスポートできる設定が「エクスポート」ページにリストされます。

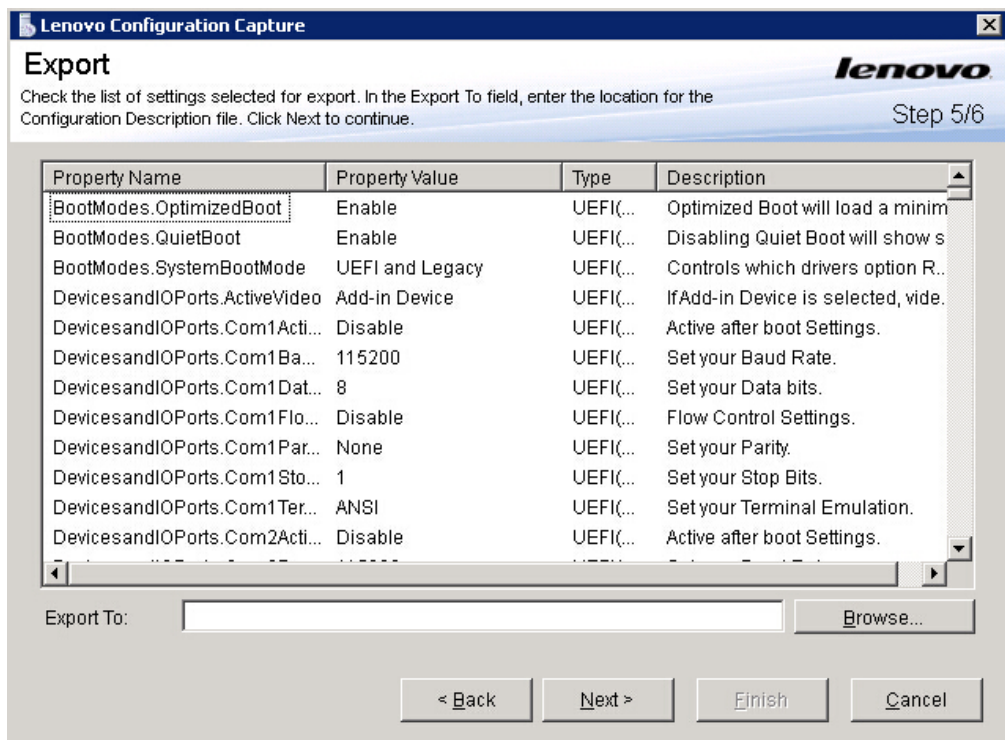


図 109. 「Export」 ページ

7. 「次へ」をクリックします。「Export Successfully Completed (エクスポートが正常に完了しました)」ページが開きます。

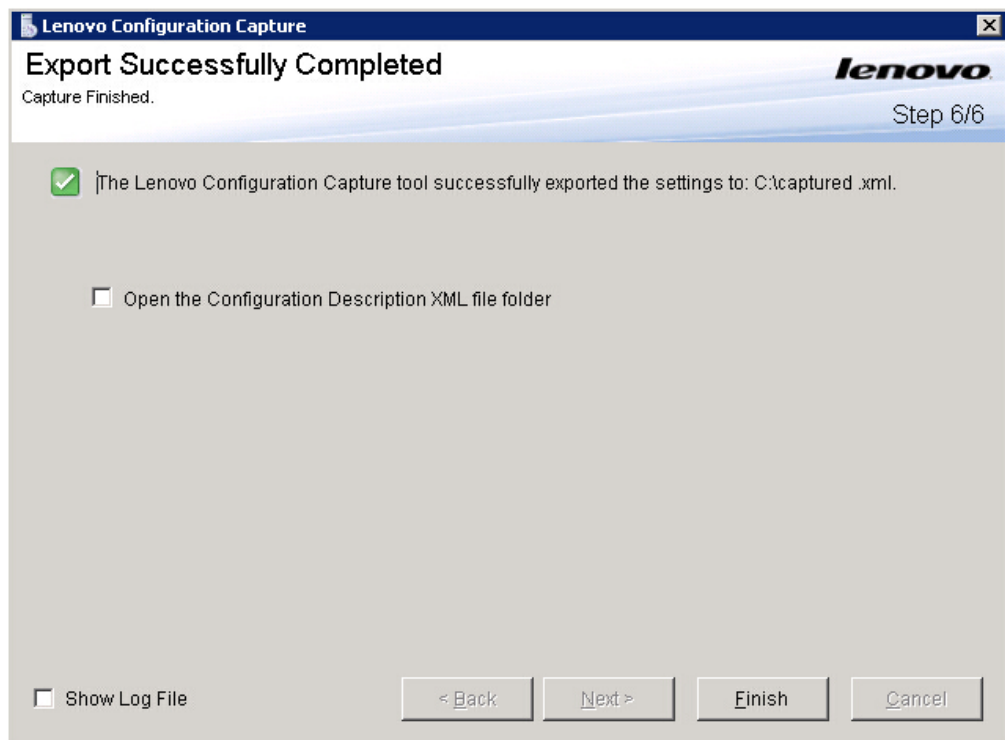


図 110. エクスポートが正常に完了しました

注: キャプチャーした構成記述ファイルを Lenovo Configuration Pack エディター にエクスポートして管理できます。詳しくは、30 ページの『構成項目の作成』を参照してください。

第 4 章 ハードウェアおよびソフトウェアのサポート

このセクションのトピックでは、Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v6.0 でサポートされるハードウェアおよびソフトウェアについて説明します。

サポートされる Microsoft System Center 製品

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v6.0 では、以下の Microsoft System Center 製品がサポートされています。

- Microsoft System Center Configuration Manager 2012
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 R2
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 SP1
- Microsoft System Center Configuration Manager 2007 R2
- Microsoft System Center Configuration Manager 2007 SP2

サポートされるクライアント・システム

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v6.0 は以下のクライアント・システムをサポートしています。

表 2. サポートされている IBM システム

製品ファミリー名	マシン・タイプ
IBM BladeCenter HS22	7870, 1936, 7809, 1910
IBM BladeCenter HS22V	7871, 1949
IBM BladeCenter HS23	7875
IBM BladeCenter HS23E	8038, 8039
IBM Flex System x220 計算ノード	7906, 2585
IBM Flex System x222 Compute Node	7916
IBM Flex System x240 計算ノード	8737
IBM Flex System x280 X6 / x480 X6 / x880 X6 Compute Node	7903
IBM Flex System x440 計算ノード	7917
IBM NeXtScale nx360 M4	5455
IBM System x 3100 M4	2582
IBM System x 3100 M5	5457
IBM System x 3200 M2	4367, 4368
IBM System x 3200 M3	7327,7328
IBM System x 3250 M2	7657, 4190, 4191, 4190
IBM System x 3250 M3	4251, 4252, 4261
IBM System x 3250 M4	2583
IBM System x 3250 M5	5458
IBM System x 3300 M4	7382

表 2. サポートされている IBM システム (続き)

製品ファミリー名	マシン・タイプ
IBM System x 3400 M2	7836, 7837
IBM System x 3400 M3	7378, 7379
IBM System x 3500 M2	7839
IBM System x 3500 M3	7380
IBM System x 3500 M4	7383
IBM System x 3530 M4	7160
IBM System x 3550 M2	7946, 4198
IBM System x 3550 M3	7944, 4254
IBM System x 3550 M4	7914
IBM System x 3620 M3	7376
IBM System x 3630 M3	7377
IBM System x 3630 M4	7158
IBM System x 3650 M2	7947, 4199
IBM System x 3650 M3	7945, 4255, 5454
IBM System x 3650 M4	5466, 7158, 7915
IBM System x 3650 M4 HD	5460
IBM System x 3750 M4	8722, 8733, 8752
IBM System x 3850 X6 / x3950 X6	3837
IBM System x iDataPlex dx360 M2 サーバー	7321, 6380, 7323
IBM System x iDataPlex dx360 M2 サーバー dx360 M3	6391

表 3. サポートされる Lenovo システム

製品ファミリー名	マシン・タイプ
Lenovo System x3550 M5	5463
Lenovo Flex System x240 M5 Compute Node	2591, 9532
Lenovo Flex System x440 コンピュート・ノード	7167, 2590
Lenovo Flex System x280, x480, x880 X6 Compute Node	4258
Lenovo Flex System x240 コンピュート・ノード	7162, 2588
Lenovo NeXtScale nx360 M5	5465
Lenovo NeXtScale nx360 M5 DWC	5467, 5468, 5469
Lenovo System x3650 M5	5462

クライアント・マシンでサポートされるオペレーティング・システム

Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager v6.0 は、以下のオペレーティング・システムをサポートしています。

- Windows Server 2003 SP2/R2

- Windows Server 2003 SP2/R2 x64
- Windows Server 2008 SP1/SP2
- Windows Server 2008 SP1/SP2 x64
- Windows Server 2008 SP1/R2
- Windows Server 2012 R2

第 5 章 トラブルシューティング

このセクションを使用して、Lenovo Configuration Pack for Microsoft System Center Configuration Manager の問題をトラブルシューティングし、解決します。

- Lenovo Configuration Pack エディター の使用中に問題が発生した場合は、InstallationFolder logs フォルダーでログ・ファイル情報を確認できます。このログ・フォルダーは、製品がアンインストールされるときに自動的に削除されます。
- エンドポイント上の Lenovo Configuration Pack の評価ログをエクスポートする場合は、以下の手順に従います。
 1. 評価の後、「イベント ビューアー」を立ち上げます。
 2. 「**Windows Logs** (Windows ログ)」を展開します。
 3. 「**Application** (アプリケーション)」ノードを右クリックし、「**Save Events as** (イベントに名前を付けて保存)」をクリックします。

以下の方法を使用して、プロパティが存在し、IMM アカウントが正しいかどうかを確認することもできます。

- 次のコマンドを入力して特定の IMM/uEFI プロパティを取得します。

```
asu.exe show propertyname
```

たとえば、次のように指定します。 **asu.exe show IMM.HTTPPort**

- 次のコマンドを入力して、特定の IMM/uEFI プロパティをアカウントとともに取得します。

```
asu.exe show propertyname --user UserID --password Password
```

たとえば、次のように指定します。 **asu.exe show IMM.HTTPPort --user admin --password esW2Ad**

- このスクリプトで評価対象設定を取得できない場合は、「Evaluation Report View (評価レポートの表示)」セクションに値は返されず、SCCM クライアント・エージェントはその評価対象設定を非標準とみなします。この評価対象の設定の詳細は、Windows のアプリケーション・ログから取得できます。アプリケーション・ログで使用される用語を以下に示します。

[Not Found ASU]

指定のロケーションに ASU.exe ファイルが見つかりませんでした。

[TargetOS]

現行オペレーティング・システムのバージョン (64 ビットまたは 32 ビット)。

[Found ASU]

ASU.exe ファイルのロケーション。

[Property]

評価対象プロパティの名前。

[Set ACCOUNT]

ユーザーが Lenovo Configuration Pack エディター で IMM アカウントを設定したかどうか反映されます。

[TimeOut]

評価がタイムアウトになったかどうか示されます。

[Return Code]

ASU.exe ファイルの戻りコード。評価対象設定が見つかった場合の戻りコードは 0 です。そうでない場合は、戻りコードは 0 より大きくなります。ASU 戻りコードについて詳しくは、Lenovo x86 サーバー用 Advanced Settings Utility (ASU) サポート・ポータルにアクセスしてください。

[Error Output]

評価対象設定が見つからない場合、このコードは障害の理由を記録します。

[Output]

評価対象設定が見つかった場合、このコードは ASU.exe ファイルの検索結果を記録します。

- Lenovo Configuration Capture は、起動プロセスでシステム・ドライブの Lenovo_Support DCM logs フォルダーにログ・ファイルを記録します。例えば、ご使用のシステム・ドライブが C: の場合、ログ・ファイルは C: Lenovo_Support DCM logs フォルダーの下に記録されます。
- Lenovo Configuration Capture は、すべての IMM/IMM/uEFI/uEFI (Romley プラットフォーム) 設定を Lenovo サーバーからキャプチャーします。ただし、一部のキャプチャー設定が Lenovo Configuration Pack エディター の共通設定リストに含まれない場合があります。Lenovo Configuration Pack エディター はインポート後にこれらの設定の値をリストできません。エディターはこれらの設定のタイプを String タイプと見なします。

Select the property that you wish to monitor for compliance. If the property list does not include the desired property, type it in the Property Name field.

Property Name:

Description:

mode of operation if a power loss occurs. This setting can also be configured via BIOS F1 setup.
Restore: Restores system to the same state it was before power failed.

Comparator: Value:

Severity:

☐ Remediate noncompliant IMM/UEFI setting values on client automatically. The remediation action may be failed if the target setting is readonly.

Expected Value:

i When the property "IMM.PowerRestorePolicy" "Equals" "Restore", the property is compliant on the endpoint. Otherwise, the property is non-compliant and returns a severity of "Information".

OK Cancel Apply

図 111. Lenovo Configuration Pack エディター - 「Setting Editor (設定エディター)」 ページ

図 111 では、**IMM.DuplexAutoDisable** プロパティは Lenovo Configuration Pack エディター の共通設定リストにないため、「**Description** (詳細)」フィールドおよび「**Expected Value** (予測値)」フィールドは空になります。Lenovo Configuration Pack エディター は **IMM.DuplexAutoDisable** プロパティのタイプを String と見なします。各種の型について詳しくは、20 ページの表 1 を参照してください。

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の 製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、 改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、 自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System™、System x®、および NeXtScale® System は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

Intel および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft グループの商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります。ユーザー・マニュアル またはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アンインストール
 Lenovo Configuration Pack 11
インストール
 Configuration Pack v6.0 5
インポート
 構成記述ファイル 46
 構成データ 80
 DCM へ 57
エクスポート
 構成項目
 CAB ファイルへ 50
 SCCM コンソールに 53

[カ行]

概要 1
基準
 エンドポイントの評価 95
 コレクションへの割り当て 70, 92
 作成 66
 レポート 79
検証
 ライセンス状況 48
構成記述ファイル 43, 100
 インポート 46
構成項目 29
 削除 42
 作成 30
 表示 35
 複製 41
 プロパティ 64, 87
 変更 37
 SCCM コンソールにエクスポート 53
構成データ 13
 インポート 80
 エクスポート 43
 共有 43
 DCM にインポート 57
構成データのエクスポート 13
構成データのキャプチャー 13
構成データの作成 13
構成データの割り当てと評価 13
コンパレーター 16

[サ行]

削除
 構成項目 42
作成
 基準 66
 構成項目 30
 設定コレクション 16
サポート
 Lenovo システムの場合 2
事項、重要 120
重要事項 120
試用版ライセンス・サポート 1
商標 119, 120
試用ライセンス 14
設定コレクション 16
 作成 16
 表示 25
 複製 28
 変更 26
設定コレクションの表示 25
設定のエクスポート 100

[タ行]

特記事項 119
トラブルシューティング 115

[ハ行]

評価
 基準 95
 評価対象の設定 77
 評価対象の設定値 98
 評価レポート・ビュー 98
 評価ログ 115
表示
 構成項目 35
複製
 構成項目 41
 設定コレクション 28
フリー・フィーチャー
 プレミアム 1
プロパティ 64, 87
プロパティしきい値 26
ベースライン 72
米国で提供されるサービス 119
変更
 構成項目 37
 設定コレクション 26
ホーム・ページの概要作成 79

[マ行]

戻りの型 16

[ラ行]

ライセンス検証 48
ログ 115

[ワ行]

割り当て
 基準 70
値が返らない 77

A

Adobe Acrobat Reader xi
Advanced Settings Utility 2
ASU 2

C

CAB ファイル 80
 インポート 50
 エクスポート 50
Configuration Capture 100
Configuration Pack
 CAB ファイル 50, 57
 SCCM 2007 コンソールに適用 57

L

Lenovo Configuration Pack 50
Lenovo Configuration Pack Editor 14
Lenovo Configuration Pack での使用 13

M

Microsoft Configuration Manager 2007 13
Microsoft Configuration Manager 2012 13

P

PDF ファイル xi
PDF ファイルの保存 xi



Printed in Japan